

## ⑨ーイ みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業

担当課：みどり共生推進課

基本方針：①災害に強い森林づくり ②県民全体で森林を支える社会づくり  
対策区分：5つの対策全て

### 1 事業の目的

森林行政の第一線にあり、森林所有者や事業者、森林づくりに取り組む団体等と主体的に接点を持ちながらパートナーシップを築き、地域の森林づくりのリード役となる市町が、地域の実情に応じて創意工夫した森林づくりの施策を展開します。

### 2 事業の必要性

市町においては、交付金を活用したさまざまな事業が実施されており、県民税の趣旨に沿った取組の推進に大きく貢献しています。引き続き、市町が地域の実情に応じ、創意工夫して森林づくりの施策を展開できるよう、交付金を交付する必要があります。

### 3 事業の概要

1市町あたり500万円の均等配分と、森林面積配分、人口配分の3つの配分方法を組み合わせた「基本枠交付金」を交付します。（森林面積が100ha未満または森林率が10%未満である市町には、要望に基づき、5年間で900万円を上限に加算することができます。）

市町は、この交付金を財源に、県民税を活用した事業を行ううえでの3原則を満たし、森林環境譲与税と用途を棲み分けしたうえで、地域の実情に応じた森林づくりなどに取り組みます。また、第3期の期間に実施する事業の財源に充てるための基金積立も交付の対象とします。

### 令和6年度事業実績

対策区分	市町数	事業数	当年度交付額(円)	基金活用額(円)
1	3	3	32,696,200	0
2	21	31	112,528,078	0
3	19	31	29,982,626	0
4	17	28	75,314,967	0
5	13	19	67,885,640	42,618,122
計		112	318,407,511	42,618,122
基金積立	3		10,485,000	0
合計		112	328,892,511	42,618,122

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 対策区分別一覧

【対策区分1】土砂や流木による被害を出さない森林づくり

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
津市	1	津市林地残材搬出促進事業	27,705,800		事業者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援
度会町	1	流倒木撤去事業	990,000		町が実施する、溪流沿いの流倒木の伐採・除去
大紀町	1	溪流倒木等処理事業	4,000,400		町が実施する、山間部溪流沿い等の倒木や流木の除去
対策区分1計			32,696,200	0	3市町、3事業

【対策区分2】暮らしに身近な森林づくり

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
四日市市	2	危険木等除去支援事業	151,000		自治会等が実施する、道路沿いの危険木の伐採等に対する支援
四日市市	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,129,000		活動団体等が実施する、里山や竹林の整備に対する支援
鈴鹿市	2	森林・竹林環境保全促進事業	2,357,860		市が実施する、樹木・竹をチップ化する機材の購入と貸出
鈴鹿市	2	暮らしを守る森林保全事業	3,446,958		市が実施する、海岸林や人家周辺の病害虫被害木の伐採と病害虫の防除
いなべ市	2	危険木の除去事業	3,479,748		自治会等が実施する、通学路や人家裏における危険木伐採への支援
いなべ市	2	里山竹林環境保全支援事業	4,297,160		活動団体等が実施する、里山や竹林整備への支援
東員町	2	危険木伐倒等業務	2,293,000		町が実施する、人家裏や通学路沿いの危険木の伐採等
菰野町	2	病虫害被害木伐採搬出事業	159,000		土地所有者等が実施する、病虫害による被害木の伐採等への支援
朝日町	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	450,000		活動団体が実施する、里山や竹林整備への支援
松阪市	2	里山の森林安全安心対策事業	15,268,000		市が実施する、集落や公共施設周辺の危険木の伐採等
明和町	2	松林整備事業	1,394,000		町が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採等
大台町	2	集落周辺等危険木伐採事業	12,080,000		町が実施する、集落周辺や人家裏の危険木の伐採等
伊勢市	2	森林整備事業	13,489,200		市が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採、地上散布、樹幹注入等
鳥羽市	2	危険木伐採業務	1,585,000		市が実施する、市民生活に支障をきたす恐れがある危険木の伐採
鳥羽市	2	危険木伐採事業費補助金事業	5,994,000		自治会等が実施する、危険木伐採への支援
志摩市	2	樹木伐採事業	4,000,000		市が実施する、道路沿いの危険木の伐採
志摩市	2	松くい虫防除事業	3,482,702		市が実施する、海岸沿いの松林における病害虫被害木の伐採等
大紀町	2	生活環境林整備事業	3,999,600		町が実施する、公共施設や通学路沿い等の危険木の伐採
南伊勢町	2	危険木除去事業	3,616,000		町が実施する、公共施設周辺等の危険木除去
名張市	2	危険木伐採事業	4,409,500		市が実施する、公共施設周辺及び通学路等の危険木の伐採
名張市	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	180,150		森林所有者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援
名張市	2	人家裏危険木伐採事業	1,350,000		地域住民等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
伊賀市	2	みんなの里山整備活動推進事業	7,417,002		自治会等が実施する、集落周辺の里山や竹林の整備に対する支援
伊賀市	2	未利用間伐材バイオマス利用推進事業	2,410,560		森林所有者等が実施する、未利用間伐材の搬出に対する支援
伊賀市	2	危険木伐採事業	891,000		市が実施する、道路沿いの危険木の伐採
尾鷲市	2	人家裏危険木伐採事業	753,600		自治会等が実施する、人家裏の危険木伐採に対する支援
紀北町	2	危険木伐採事業	5,401,000		自治会等が実施する、人家裏の危険木の伐採に対する支援
紀北町	2	集落周辺森林（里山）整備事業	200,000		活動団体等が実施する、集落周辺等の荒廃した森林の整備や歩道整備に対する支援
熊野市	2	小・中学校危険木伐採・枝切事業	275,000		市が実施する、学校敷地内において倒木のおそれのある危険木の伐採等
御浜町	2	町道危険木伐採事業	872,000		町が実施する、道路沿いの危険木の伐採等
紀宝町	2	生活環境林整備事業	5,696,038		町が実施する、公共施設の周辺や生活道路沿いにおける危険木の伐採等
対策区分2計			112,528,078	0	21市町、31事業

### 【対策区分3】森を育む人づくり

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
鈴鹿市	3	里山保全ボランティア育成事業	335,857		市が実施する、里山保全を担う人材の育成
鈴鹿市	3	森と緑の生涯学習講座	790,335		活動団体等が実施する、公民館での「森と緑の生涯学習講座」の開催への支援
鈴鹿市	3	緑に親しむ記念樹配布事業	522,608		市が実施する、植木まつり会場での記念樹・木製プレート配布とアンケート調査
亀山市	3	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）	1,000,000		協議会が実施する、イベントや講座の開催に対する支援
亀山市	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	498,300		市が実施する、森の講座の開催
亀山市	3	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）	4,840,000		市が実施する、竹を活用した展示製作やワークショップの開催
いなべ市	3	中学校卒業記念品配布事業	914,650		市が実施する、市産材で作成した記念品（箸）の中学校卒業生への配布
いなべ市	3	自然環境保全事業	2,216,442		市が実施する、森林や川を活用した体験活動の実施
東員町	3	森林教育授業	273,000		町が実施する、小学生や町民を対象とした森林教育
朝日町	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	47,000		町が実施する、竹を活用したさまざまなイベントの開催
川越町	3	小中学校自然教室	1,368,000		町が実施する、小中学生を対象とした自然教室の実施
津市	3	夏休み森と緑の親子塾開催事業	257,180		市が実施する、親子（小学生）を対象とした木工体験や林業体験
津市	3	パートナーシップ協定に基づく森林環境教育事業	169,544		パートナーシップ協定者が実施する、市民を対象とした丸太切り体験、木工教室等
津市	3	美里水源の森「林業体験」事業	242,000		協議会が実施する、美里水源の森における林業体験への支援
松阪市	3	松阪の木魅力発信活動事業	13,000		活動団体が実施する、イベントにおける森林教育と木工製品作製への支援
多気町	3	木とふれあう教育支援事業	100,000		町が実施する、小学校における木工体験と森林教育
大台町	3	森林環境教育事業①	490,000		町が実施する、地元高校生によるキノコ栽培の体験学習や森林教育

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
大台町	3	森林環境教育事業②	230,000		町が実施する、小学生を対象とした木工体験と森林教育
志摩市	3	森と緑ふれあい事業	949,298		市が実施する、森林体験学習
玉城町	3	森林環境教育・木育事業	528,179		町が実施する、保育所や小学校における森林教育
玉城町	3	森林環境教育事業（森林教育イベント）	2,970,000		町が実施する、森林をテーマとしたパネルディスカッションやイベントの開催
度会町	3	森林環境教育推進事業	863,000		町が実施する、保育所や小中学校における森林教育
南伊勢町	3	森林環境教育事業	1,520,000		町が実施する、小中学校における森林教育
名張市	3	森林環境教育推進事業	100,000		地域協議会が実施する、小学校における森林教育に対する支援
伊賀市	3	伊賀の森っこ育成推進事業	4,169,574		実行委員会が実施する、小中学校における森林教育に対する支援
伊賀市	3	地域の森と緑のつながり支援事業	147,558		自治会等が実施する、森林・林業・環境学習・木工のイベントや学習活動への支援
伊賀市	3	森のやすらぎ空間整備事業（伊賀の木活用人材育成）	500,000		活動団体等が実施する、地元高校生と協力して行う地域材を活用した木製品開発への支援
伊賀市	3	木づかい木育推進事業	1,978,934		市が実施する、出生児及び小学5年生を対象とした木製フォトフレームや地域材の手作り箸キットの配布
尾鷲市	3	尾鷲ヒノキを活用した保育園児等への山育事業	181,531		市が実施する、保育園児等を対象とした苗木の栽培と植林体験
紀北町	3	森林環境教育活動事業	766,636		町が実施する、中学生を対象とした森林教育
紀宝町	3	森と緑の環境教育事業	1,000,000		町が実施する、森や緑に関する講演会やワークショップの実施
対策区分3計			29,982,626	0	19市町、31事業

#### 【対策区分4】森と人をつなぐ学びの場づくり

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
四日市市	4	一般備品整備事業(小学校)	9,398,400		市が実施する、小学校図書室への木製備品（机、椅子）の導入
四日市市	4	一般備品整備事業(中学校)	8,619,600		市が実施する、中学校図書室への木製備品（机、椅子）の導入
鈴鹿市	4	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業	4,765,857		市が実施する、中学校図書室への木製備品（机、椅子）の導入
亀山市	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	305,470		市が実施する、森林公園の八橋の補修
亀山市	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）	938,322		市が実施する、鈴鹿峠自然の家における木製備品（机）の導入
亀山市	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）	1,298,000		市が実施する、総合保健福祉センターにおける木製備品（机・椅子）の導入
亀山市	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）	803,000		市が実施する、こども園における木製キッズハウスの設置
東員町	4	公共施設等の備品等購入	3,269,000		町が実施する、木製備品の導入と市有施設における木製備品の導入
菰野町	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	1,890,337		町が実施する、幼保園等における木製遊具等の導入
菰野町	4	保育所等木製遊具購入補助事業	2,400,000		私立保育所が実施する、木製遊具等の導入への支援
川越町	4	川越南小学校 図工室机・椅子購入	1,610,000		町が実施する、川越南小学校の図工室への木製備品（机・椅子）の導入
川越町	4	川越北小学校多目的用木製机整備事業	539,000		町が実施する、川越北小学校への木製備品（多目的用机）の導入

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
川越町	4	川越幼稚園屋外用木製机整備事業	550,000		町が実施する、川越幼稚園への木製備品（屋外机）の導入
津市	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	449,900		市が実施する、子育て支援施設における木製遊具等の導入
松阪市	4	森林環境学習事業	2,992,000		市が実施する、小学校の一部木質化と森林教育
松阪市	4	保育園木育推進事業	2,000,000		市が実施する、こども園における木製備品の導入と木育絵本の読み聞かせ
多気町	4	木とふれあう環境づくり事業	7,634,000		町が実施する、小学校や保育園などへの木製備品の導入
明和町	4	学校木製備品購入事業	5,000,000		町が実施する、小学校における木製机・椅子の導入
伊勢市	4	絆の森整備事業	1,284,800		市が実施する、絆の森におけるウッドデッキの再整備
志摩市	4	磯部ふれあい公園東屋設置工事	1,800,000		市が実施する、磯部ふれあい公園における東屋の設置
度会町	4	木材とふれあう場づくり推進事業	4,151,000		町が実施する、保育所等における木製遊具の導入
南伊勢町	4	保育園木製備品購入事業	6,290,000		町が実施する、保育園への木製備品の導入
名張市	4	学校林整備事業	400,000		活動団体が実施する、学校林における広場等の整備に対する支援
伊賀市	4	幼児教育・保育施設木製遊具整備事業	796,950		市が実施する、保育所や幼稚園への木製遊具の導入
尾鷲市	4	クップを用いた地元産材に触れ合う場の創出事業	951,191		市が実施する、クップ体験を通じた県産材とふれあう機会の創出
尾鷲市	4	尾鷲中学校学習机・椅子整備事業	4,787,640		市が実施する、中学校への市産材を活用した机・椅子の導入
尾鷲市	4	木とふれあう学校環境づくり事業	99,000		市が実施する、過去に市町交付金事業で導入した机・椅子の維持修繕と森林教育
尾鷲市	4	木とふれあう保育環境づくり事業	291,500		市が実施する、保育園への木製玩具の導入と森林教育
対策区分4計			75,314,967	0	17市町、28事業

#### 【対策区分5】地域の身近な水や緑の環境づくり

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
桑名市	5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000		市が実施する、里山の散策路整備等
桑名市	5	竹林環境整備事業	5,695,000		活動団体が実施する、竹林の整備や竹の活用推進に対する支援
桑名市	5	多度山ハイキングコース安全性・快適性向上事業	0	27,862,959	市が実施する、多度山ハイキングコースの整備
鈴鹿市	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	2,375,857		木の所有者が実施する、地域のシンボルとなっている樹木の診断及び治療等に対する支援
鈴鹿市	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	1,295,857		市が実施する、地域のシンボルツリーである長太の大楠の治療等
木曽岬町	5	暮らしを守る緑保全事業	7,000,000		町が実施する、クビアカツヤカミキリによる被害から桜並木を保全するための取組
朝日町	5	教育文化施設ビオトープ再生整備事業	14,536,000		町が実施する、教育文化施設内におけるビオトープの再生整備
松阪市	5	都市公園整備事業	4,500,000		市が実施する、都市公園内への東屋の設置
明和町	5	木造施設等設置事業	300,000		町が実施する、齋宮きらの森における木製遊具の整備
大紀町	5	大平つつじ山整備事業	3,000,000	14,755,163	町が実施する、大平山つつじ山における環境整備（下刈、遊歩道整備）

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
名張市	5	森林公園等環境活用整備事業	300,000		地域協議会等が実施する、森林公園等の整備に対する支援
名張市	5	桜並木保全管理事業	400,000		活動団体が実施する、桜並木保全活動に対する支援
名張市	5	国定公園環境整備事業	1,035,000		活動団体が実施する、赤目四十八滝渓谷内の流木の整理や遊歩道の整備
尾鷲市	5	森と野鳥の学びの場づくり事業	407,000		市が実施する、野鳥の小径ふれあい広場の東屋修繕と自然観察会の実施
尾鷲市	5	中村山公園ほか整備事業	1,481,700		市が実施する、森林公園の整備
紀北町	5	緑の植樹活動事業	4,604,364		町が実施する、地域住民等と連携した植樹活動
熊野市	5	森とふれあいの場拠点づくり事業	13,440,900		市が実施する、森や緑とふれあえる公園等の整備
御浜町	5	森林公園等環境整備事業	6,105,000		町が実施する、森や緑とふれあえる公園等の整備
紀宝町	5	木質整備事業	874,962		町が実施する、森や緑とふれあえる公園内の水車修繕
対策区分5計			67,885,640	42,618,122	13市町、19事業

【基金積立】

市町名	対策区分	事業名	当年度交付額 (円)	基金活用額 (円)	事業内容
桑名市	—	基金積立	6,735,000		
鳥羽市	—	基金積立	750,000		
名張市	—	基金積立	3,000,000		
基金積立計			10,485,000	0	3市

# 四 日 市 市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

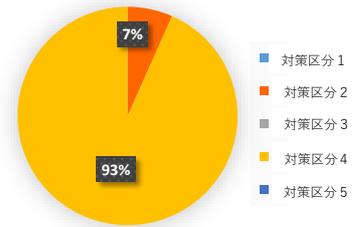
市町名	四日市市	三重県
人口（人）	300,342	1,716,617
年少人口割合（%）*1	11.8%	11.4%
森林面積(ha)	2,805.64	371,680.22
民有林面積(ha)*2	2,497.56	348,212.01
森林率(%)	14%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	10.3	10.7

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木等除去支援事業	233,000	151,000		151,000				
2	2	里山・竹林環境保全支援事業	1,506,293	1,129,000		1,129,000				
3	4	一般備品整備事業(小学校)	9,398,400	9,398,400				9,398,400		
4	4	一般備品整備事業(中学校)	8,619,600	8,619,600				8,619,600		
計			19,757,293	19,298,000	0	1,280,000	0	18,018,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量（ha・m）	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	267本	10,365,300	5,182,650	電力会社等のライフライン事業者、三重県及び本市の三者が協定を締結し、ライフライン事業者が事前に行った調査結果に基づき、本市が森林所有者の承諾を得て、台風等の倒木被害により停電が発生し得るおそれのある危険木の伐採を行う。
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本市は、東側に伊勢湾、西側に鈴鹿山脈に接し伊勢湾沿いには石油化学工業等の発達した中核都市です。四日市市総合計画の基本構想で「環境・防災先進都市」を将来都市像の一つに位置付けており、公害の歴史と教訓から、豊かな環境を基本とした都市整備と、防災力強化を両軸に、快適性と安全・安心が高い水準で保たれたまちづくりを目指しています。</p> <p>みえ森と緑の県民税市町交付金を活用することにより、都市公園や地域の里山や竹林を整備し、緑にふれあう環境を整えるとともに、公共施設等での県産材の利用を進めることにより、森への関心、木材利用の意義への理解を深め、緑を身近に感じ大切にしていけることのできる社会づくりを推進します。</p>
事業実施により期待される効果	<p>森林整備を行ったことにより、地域住民の生活の安全性が確保された。木製品を導入したことにより、森林や木材について学び、ふれあう場を提供することができた。</p>
情報発信への取組	<p>みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図るためHPの掲載や、導入した木製品へロゴマークのプレートをつけた。</p>

第10号様式（その1）（参考資料）

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税(千円)
1	⑩ 基金積立（木材利用等）	40,222	40,222
2			
3			
4			
5			
	合計	40,222	40,222

令和 6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木等除去支援事業					
事業費	233,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			151,000		82,000	

1. 事業の目的

地域において緑豊かで安全な生活環境を保全するため、土地所有者等に代わって自治会等が実施する道路沿いの危険木等の伐採作業に対して支援する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

自治会等が実施する危険木等の伐採作業に対して、事業費の一部を支援する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

自治会等の地域団体

【実施個所及び箇所数】

西山町地内及び泊山崎町地内の計2ヶ所

【事業量】

危険木3本伐採  
（西山町 2本 泊山崎町 1本）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

地域の安全性が確保される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

市広報誌（6月下旬）及びホームページにて周知を図る。

【新たな対策・視点及び改善点】

市民への事業のPR

令和 6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木等除去支援事業					
事業費	233,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			151,000		82,000	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	3/4以内	100,000	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
公募による実施				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	地域住民			
期待する波及効果	西山町：約 5 6 7 名 泊山崎町：約 8 5 5 名			
【公的関与の必要性】				
通行の支障になりうる危険木を除去することで地域の安全性を確保することができる。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
当該地の転用規制等は困難であるが、適正利用について確認済みである。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図る。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
・通行の支障となっていた、危険木が除去されたことにより安心して通行できるようになった。				

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
------	-----------------	-----	------

事業名	危険木等除去支援事業
-----	------------

主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
	事業費補助(泊町自治会)	件	1	68,000	68,000	交付額 (51,000)
	事業費補助(西山町自治会)	件	1	165,000	165,000	交付額 (100,000)
			合計		233,000	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木等除去支援事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1  
伐採前



写真2  
伐採後



写真3  
伐採前



写真4  
伐採後



写真5



写真6

令和 6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	里山・竹林環境保全支援事業					
事業費	1,506,293 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,129,000		377,293	

1. 事業の目的	
<p>市内の里山保全活動団体等が地域住民の憩いの場としての利用や安全性の確保を目的として、自主的に里山や竹林を整備する取組みを支援して、持続的な活動に資することを目的とする。</p>	
2. 事業実績概要	
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>市内の地域団体が自主的に里山や竹林を整備する取組みに対して、事業費の一部を支援する。</p> <p><b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b></p> <p>市内の里山保全活動団体等</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>3箇所</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>&lt;Book Of Nature Club&gt; 事業費：641,595円 うち補助金：481,000円          &lt;遊パークすいざわ・田んぼの楽校&gt; 事業費：337,406円 うち補助金：253,000円          &lt;一般社団法人ネクストステップ研究会&gt; 事業費：527,292円 うち補助金：395,000円</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>荒廃した里山や竹林が再生され、憩いの場や安全性が確保されるとともに、生物多様性の保全に資することが期待できる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>ホームページにて周知を図る。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>・市民への事業のPR</p>	

令和 6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	里山・竹林環境保全支援事業					
事業費	1,506,293 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,129,000		377,293	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	3/4以内	500,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

公募による実施

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	小古曾五丁目及び六丁目：約1242名 平尾町：約641名 水沢町：約1,745名
期待する波及効果	倒竹除去により下草刈りが可能、道路の見通しがよくなる等

【公的関与の必要性】

荒廃した里山や竹林を再生させることで市民生活の安全性や生物多様性を確保することができる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

当該地の転用規制等は困難であるが、適正利用について確認済みである。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後（今秋）	みえ森と緑の県民税を活用した取組として、ホームページに掲載する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

- ・「スッキリしてきれいになった。」
- ・「景観が良くなった。」

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市
------	-----------------	-----	------

事業名	里山・竹林環境保全支援事業
-----	---------------

主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
事業費補助(Book Of Nature Club)		件	1			
	機械代				264,848	
	燃料費				17,834	
	作業備品				164,569	
	機械備品				144,060	
	安全対策費				45,028	
	保険				4,290	
	事務費				966	
				合計	641,595	交付額 (481,000)
事業費補助(遊パークすいざわ・田んぼの楽校)		件	1			
	機械代				143,800	
	備品				112,480	
	燃料費				21,126	
	レンタル				60,000	
				合計	337,406	交付額 (253,000)
事業費補助(一般社団法人ネクストステップ研究会)		件	1			
	機械購入費				118,734	
	機械借上費				140,000	
	燃料費				28,750	
	消耗品費				226,333	
	修理費				13,475	
				合計	527,292	交付額 (395,000)
				合計	1,506,293	

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	------	---------	----

事業名	里山・竹林環境保全支援事業
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1  
Book Of Nature Club 活動前



写真2  
Book Of Nature Club 活動後



写真3  
一般社団法人ネクストステップ研究会 活動風景



写真4  
遊パークすいざわ・田んぼの楽校 活動風景



写真5

写真5



写真6

写真6

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	一般備品整備事業（小学校）				
事業費	9,398,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			9,398,400		

1. 事業の目的					
<p>市内小学校に、三重県材を用いた図書室の机と椅子を導入することにより、児童が木にふれあい、森林や木材について学ぶことのできる場を提供する。</p> <p>本市小学校では、森林と環境保全の関係についての学習や自然教室において里山保全活動や創作活動を実施するなど、森林教育を行っている。実際に三重県材を用いた図書室の机と椅子に触れることや、それらを活用し、調べ学習を行い、学習内容、体験活動等との関係性をより実感させることにより、森林教育としての効果を高める。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
市内2校の小学校の図書室に三重県材を用いた机及び椅子を導入することにより、学習内容、体験活動との関係性をより実感させることにより、森林教育としての効果を高める。					
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】					
木工製造業者（補助事業ではない）					
【実施個所及び箇所数】					
内部小学校 桜台小学校 計2校					
【事業量】					
内部小学校 図書室 机 12台 椅子 48脚					
桜台小学校 図書室 机 12台 椅子 48脚					
合計 机24台 椅子96脚					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めろうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
<p>三重県材を活用した備品を配置することにより、児童が森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森や木への理解を深めることが期待できる。</p> <p>実際に三重県材を用いた図書室の机と椅子に触れることや、それらを活用し、調べ学習を行い、学習内容、体験活動等との関係性をより実感させることにより、森林教育としての効果を高めることが期待できる。</p>					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
学校ホームページや学校だより等で紹介することにより、保護者や地域住民等への情報発信を行う。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
三重県材を活用した備品を配置し、実際に触れることや、それらを活用し、調べ学習を行い、学習内容、体験活動等との関係性をより実感させることにより、森林教育としての効果を高めていく。					

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	一般備品整備事業（小学校）				
事業費	9,398,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			9,398,400		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

購入先の決定は、指名競争入札による。

三重県産木材におけるひのき材の備品選定理由について

三重県産木材で、公共施設における机、椅子等の備品に用いられるものとしては、ひのきと杉が代表的なものとなっている。

ひのきと杉の特性を考察した場合、

- ひのきは、杉と比較して、強度が高く、耐久性に優れている。一方、杉は傷がつきやすく、反りやすく、われやすい面がある。
- ひのきは木目がきれいであり、色は白か淡いピンクの為、色味を合わせやすい。一方、杉は木目が粗く、色味が白・赤・黒等ばらつきがある。
- 杉の場合は、傷のつきやすさや色味のばらつき等の欠点をクリアするためには、材料の選木や強度を出すための前処理等、家具の組立前にかかる工程が多いなど、コスト増につながる。

以上のことから、ひのき製品を採用した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	内部小学校 全児童 393名	桜台小学校 全児童 269名
期待する波及効果	三重県材を活用した備品を配置することにより、児童が森林や木材について学び、触れ合う機会を提供し、森や木への理解を深めることが期待できる。	

【公的関与の必要性】

公立小学校へ導入のため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したプレートを取り付けており、公有財産として適正に管理を行う。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	一般備品整備事業（小学校）				
事業費	9,398,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			9,398,400		

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シル・プレート等)	実施前	机、椅子作成時にみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したプレートを取り付け、児童の関心を深めるきっかけとする。
HP掲載	実施後	実施後に学校ホームページで紹介する。
学校だより等掲載	実施後	実施後に学校だよりで紹介する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

児童からも「木のいい香りがする」「触り心地がいい」「木目や色が明るくきれい」といった感想が聞かれ、木のぬくもりを感じながら落ち着いた雰囲気での読書、学習環境の向上につながっている。  
また、児童だけでなく職員やPTA、地域の方が参加するコミュニティースクール等の会議でも活用され、児童同様に大変好評である。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市
------	-------------------	-----	------

事業名	一般備品整備事業（小学校）
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
内部小学校	図書机	台	12	180,000	2,160,000	県産材使用
	椅子	脚	48	44,000	2,112,000	県産材使用
桜台小学校	図書机	台	12	180,000	2,160,000	県産材使用
	椅子	脚	48	44,000	2,112,000	県産材使用
		小計			8,544,000	
		消費税及び地方税相当額			854,400	10%
		合計			9,398,400	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業（小学校）
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1  
図書室 机・椅子



写真2  
図書室 机・椅子



写真3  
「木」の紹介書籍コーナー

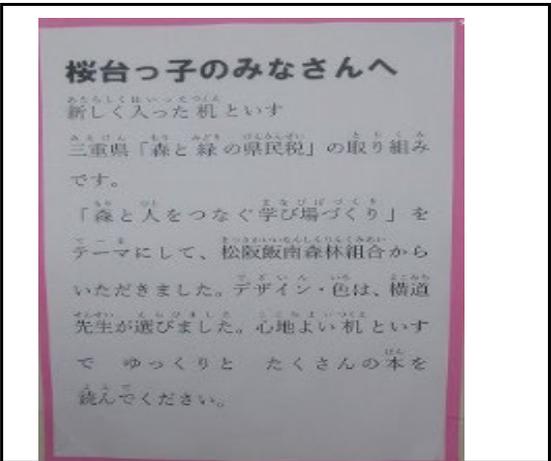


写真4  
児童への机・椅子の紹介



写真5  
「森林教育」に関する書籍コーナー（図書室）の設置

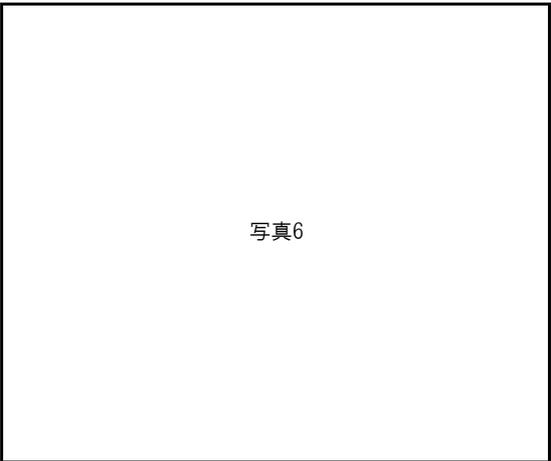


写真6

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業（小学校）
-----	---------------

7の（2）. その他資料

■ 2025/04/11<sup>NEW</sup> ■ 木のいい香り

| by 内部小学校長

子どもたちが森林や木、木材に親しみを持ち、自ら考え判断して行動できる人を育てることを目的とした「みえ森林教育プログラム」の一環として、昨年度末、図書室に机24台と椅子48脚を寄贈していただきました。図書室に入ると、とてもよい木の香りがします。図書館司書さんにも「森林教育」に関する書籍コーナーも設置してもらいました。きれいになった机と椅子で、静かに読書ができる時間が素敵ですね。ぜひ、たくさん本を読みに来てくださいね。



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	一般備品整備事業（中学校）				
事業費	8,619,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,619,600		

<b>1. 事業の目的</b>					
<p>市内中学校に、三重県材を用いた図書室の机と椅子を導入することにより、生徒が木にふれあい、森林や木材について学ぶことのできる場を提供する。</p> <p>本市中学校では、森林と環境保全の関係についての学習や自然教室において里山保全活動や創作活動を実施するなど、森林教育を行っている。実際に三重県材を用いた図書室の机と椅子に触れることや、それらを活用し、調べ学習を行い、学習内容、体験活動等との関係性をより実感させることにより、森林教育としての効果を高める。</p>					
<b>2. 事業実績概要</b>					
<b>【事業内容】</b>					
<p>市内2校の中学校の図書室に三重県材を用いた机及び椅子を導入することにより、学習内容、体験活動との関係性をより実感させることにより、森林教育としての効果を高める。</p>					
<b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b>					
木工製造業者（補助事業ではない）					
<b>【実施個所及び箇所数】</b>					
三滝中学校 内部中学校 計2校					
<b>【事業量】</b>					
三滝中学校 図書室 机 12台 椅子 40脚					
内部中学校 図書室 机 11台 椅子 44脚					
合計 机23台 椅子84脚					
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>					
<b>【事業実施により期待される効果】</b>					
<p>三重県材を活用した備品を配置することにより、生徒が森林や木材について学び、ふれあう機会を提供し、森や木への理解を深めることが期待できる。</p> <p>実際に三重県材を用いた図書室の机と椅子に触れることや、それらを活用し、調べ学習を行い、学習内容、体験活動等との関係性をより実感させることにより、森林教育としての効果を高めることが期待できる。</p>					
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>					
学校ホームページや学校だより等で紹介することにより、保護者や地域住民等への情報発信を行う。					
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>					
三重県材を活用した備品を配置し、実際に触れることや、それらを活用し、調べ学習を行い、学習内容、体験活動等との関係性をより実感させることにより、森林教育としての効果を高めていく。					

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	一般備品整備事業（中学校）				
事業費	8,619,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,619,600		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

購入先の決定は、指名競争入札による。

三重県産木材におけるひのき材の備品選定理由について

三重県産木材で、公共施設における机、椅子等の備品に用いられるものとしては、ひのきと杉が代表的なものとなっている。

ひのきと杉の特性を考察した場合、

- ひのきは、杉と比較して、強度が高く、耐久性に優れている。一方、杉は傷がつきやすく、反りやすく、われやすい面がある。
- ひのきは木目がきれいであり、色は白か淡いピンクの為、色味を合わせやすい。一方、杉は木目が粗く、色味が白・赤・黒等ばらつきがある。
- 杉の場合は、傷のつきやすさや色味のばらつき等の欠点をクリアするためには、材料の選木や強度を出すための前処理等、家具の組立前にかかる工程が多いなど、コスト増につながる。

以上のことから、ひのき製品を採用した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	三滝中学校 全生徒 386名	内部中学校 全生徒 497名
期待する波及効果	三重県材を活用した備品を配置することにより、生徒が森林や木材について学び、触れ合う機会を提供し、森や木への理解を深めることが期待できる。	

【公的関与の必要性】

公立中学校へ導入のため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したプレートを取り付けており、公有財産として適正に管理を行う。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	一般備品整備事業（中学校）				
事業費	8,619,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			8,619,600		

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施前	机、椅子作成時にみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したプレートを取り付け、生徒の関心を深めるきっかけとする。
HP掲載	実施後	実施後に学校ホームページで紹介する。
学校だより等掲載	実施後	実施後に学校だよりで紹介する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

生徒からも「木のいい香りがする」「触り心地がいい」「木目や色が明るくきれい」といった感想が聞かれ、木のぬくもりを感じながら落ち着いた雰囲気での読書、学習環境の向上につながっている。  
また、生徒だけでなく職員やPTA、地域の方が参加するコミュニティースクール等の会議でも活用され、生徒同様に大変好評である。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市
------	-------------------	-----	------

事業名	一般備品整備事業（中学校）
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
三滝中学校	図書机	台	12	180,000	2,160,000	県産材使用
	椅子	脚	40	44,000	1,760,000	県産材使用
内部中学校	図書机	台	11	180,000	1,980,000	県産材使用
	椅子	脚	44	44,000	1,936,000	県産材使用
			小計		7,836,000	
			消費税及び地方税相当額		783,600	10%
			合計		8,619,600	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業（中学校）
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1  
図書室 机・椅子

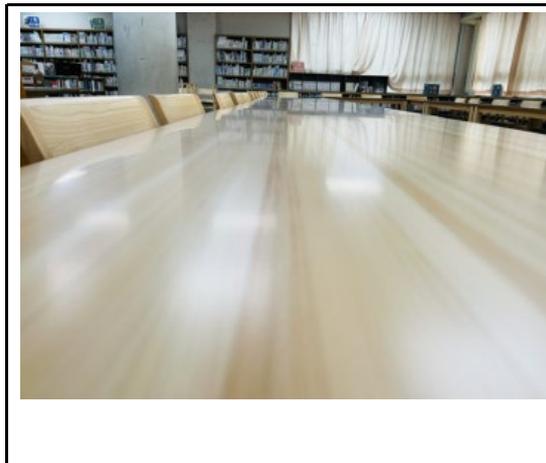


写真2  
図書室 机



写真3

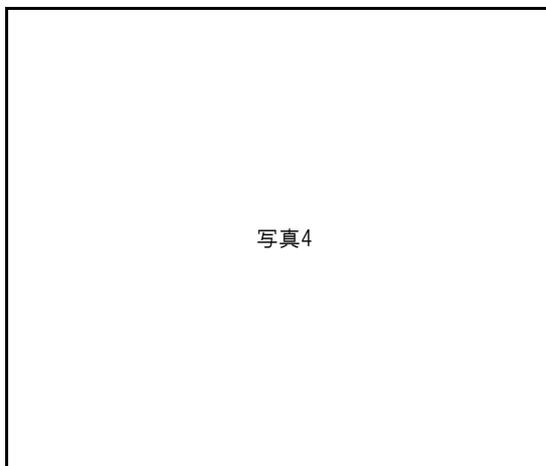


写真4



写真5



写真6

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業（中学校）
-----	---------------

7の（2）. その他資料

■2025/03/27 ■図書室の机・椅子が新しくなりました！！

[by 三滝中HP管理者]

図書室の机と椅子が、すべて新しいものになります！！

しかも、三重県の地元産材で製作した天然無垢の木の机と椅子です。座り心地は最高！木のさわりごちも気持ちいいですよ。よりよい環境で、本に触れる機会がさらに増えることを期待しています！どうぞ図書室へ！



見てください。つやつやです。

これは、『みえ森と緑の県民税「市町交付金事業」』の一環で、本校に寄贈されたものです。

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組むための県民税で、この事業の中の、『森と人をつなぐ学びの場づくり』の取組みが、今回の机・椅子の寄贈につながっているということです。

詳しくは以下のリンクからご覧ください。

[【みえ森と緑の県民税】チラシ](#)

[【みえ森と緑の県民税】リーフレット](#)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	四日市市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	一般備品整備事業（中学校）
-----	---------------

7の（2）. その他資料

2025/03/28 ■ 木のぬくもりのある図書室へ

| by 管理職



本日、「みえ森と緑の県民税」の事業を活用して図書室のいすと机が無垢材のものになりました。とても温かみのある感じです。4月からの読書活動もより、よりおちついてできることでしょう。

# 桑 名 市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

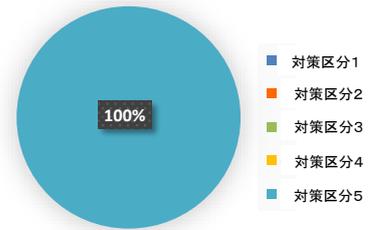
市町名	桑名市	三重県
人口（人）	135,832	1,716,617
年少人口割合（％）*1	12.2%	11.4%
森林面積(ha)	2,960.03	371,680.22
民有林面積(ha)*2	2,871.36	348,212.01
森林率(%)	22%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	9.5	10.7

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	播磨2号緑地里山整備事業	534,000	534,000					534,000	
2	5	竹林環境整備事業	5,850,910	5,695,000					5,695,000	
3	5	多度山ハイキングコース 安全性・快適性向上事業	27,863,000	27,862,959					27,862,959	
		基金積立	6,735,000	6,735,000						6,735,000
計			40,982,910	40,826,959	0	0	0	0	34,091,959	6,735,000

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>里山整備による緑と身近にふれあう環境づくりや、竹林整備を実施する団体に対する補助、学生向けの森林環境教育を通じて、市内の森林・緑地の安全な管理を促進し、防災、自然環境保護、獣害対策等に繋げることで、市民の豊かな生活に寄与する。</p> <p>また、桑名市北部に位置する多度山は、古くから地域住民や観光客が気軽に訪れることができる身近な山として親しまれてきたが、遊歩道や見晴台の整備等が充分に行えていない状況にあることから、環境整備を実施する。</p> <p>県民税の活用による環境整備を推進し、地域住民や来訪者に森林への関心を持っていただくことで、県民全体で森林を支える社会づくりを推進するとともに、県民税がどの様に県民の暮らしに役立てられているかを広報等によって周知を行う。</p>
事業実施により期待される効果	<p>事業実施により、地域住民や公園利用者、児童、生徒に森林を身近に感じていただくことで、森林の持つ機能や、森林整備の必要性についての理解を深めてもらう。</p>
情報発信への取組	<p>みえ森と緑の県民税の活用方法について広報誌とホームページにより周知を実施し、「災害に強い森林づくり」や「県民全体で森林を支える社会づくり」については、パネル展示を実施。</p>

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑩ 専門員の雇用	912	912
2	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	6,500	6,500
3	⑦ その他（森林整備）	28,666	28,666
	合計	36,078	36,078

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	播磨2号緑地里山整備事業				
事業費	534,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			534,000		

1. 事業の目的
里山の整備を行い、緑と身近にふれあう環境をつくり、地域住民の自然学習や、地域活性、健康づくりの場として活用していただく。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>枯木・危険木の撤去、樹木の間伐、樹木剪定、剪定枝等をチップ化した木チップを利用した散策路の整備、湧水(水路)の整備</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</p> <p>桑名市</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>播磨2号緑地1か所</p> <p>【事業量】</p> <p>里山整備0.04ha・里山簡易整備1.65ha</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>樹木剪定や水路整備等を行い、地域住民や公園利用者が安全に里山にふれあい身近に感じていただくことで、里山整備の必要性についての理解を深めていただく。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>年1回3月頃に、ホタル幼虫の放流会を通じて里山の大切さを周知する。 また、年1回ゲンジボタルの飛翔観察会を通じて里山の大切さを周知する。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>県民税利用の周知について、のぼり設置や、イベント実施時の周知等、県民税の活用について広く県民に知ってもらおう。</p>

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	播磨2号緑地里山整備事業				
事業費	534,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			534,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		地元ボランティア団体「ホテルとなかまの会」へ委託

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

事業実施前から、地元ボランティア団体が一定の管理を行っているため、地域性、効率性を鑑みて当該団体へ委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	利用者(年間約5千人)
期待する波及効果	事業を通じて緑地利用者が森林について考え、行動することで他の森林・緑地での環境保全等の行動につなげていただく。

【公的関与の必要性】

地元ボランティア団体が緑地の整備をおこなっているものの、無償であり、団体独自の活動のみでは限界があるため公的支援が必要でな状況である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施後も引き続き市が所有し、地元団体が整備をしていく。これまで目的外使用の申請実績は無く、規制する予定はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	播磨2号緑地の建屋前にのぼりを設置。
標識・標柱等設置	実施中	播磨2号緑地の建屋、ゲート前に県民税を活用した事業である旨を掲載。
その他	実施中	イベント実施中に司会から県民税を活用した取組であることを参加者に周知。
広報誌掲載	実施後	広報誌にて県民税の使い道についての記事を掲載。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

播磨2号緑地は主に地域住民の散策路として活用され、例年6月ごろにホテルが飛翔するなど自然豊かな緑地として親しまれている。また、間伐材のきのこのほだ木への活用や、枝葉を利用した昆虫の住処の造成など、地域住民が気軽に自然に触れることができ、自然体験イベントは好評である。

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市
------	--------------------	-----	-----

事業名	播磨2号緑地里山整備事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
人件費		時間	400	1,023	409,200	延べ160人×2.5時間
諸雑費		式	1	124,800	124,800	燃料代、消耗品
合計					534,000	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	播磨2号緑地里山整備事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1  
・木の伐採



写真2  
・木の伐採、除草



写真3  
・木の伐採



写真4  
・木の伐採、除草



写真5  
・木の伐採、除草



写真6  
・木の伐採

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	竹林環境整備事業				
事業費	5,850,910 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,695,000	0	155,910

<b>1. 事業の目的</b>
竹林整備を実施する団体に対する補助や学生向けの森林環境教育を通じて、市内の竹林の安全な管理を促進し、防災、自然環境保護、獣害対策等に繋げることで、市民の豊かな生活に寄与する。
<b>2. 事業実績概要</b>
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>竹林整備を実施する団体に対する補助事業を実施し、事業に係る粉砕機の貸出や、貸出に伴う備品や消耗品の購入や修繕も行う。</p> <p>また、市内NPO法人により、桑名工業高校との課題研究授業や、市内小学校に対する環境教育活動を実施する。</p> <p><b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b></p> <p>桑名市</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>市内放置竹林4地区</p> <p>桑名工業高校 市内小学校2校</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>竹林整備1.5ha</p> <p>桑名工業高校14回 市内小学校2回（久米小学校、有吉小学校）</p>
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>放置竹林の整備により、防災、自然環境保護、獣害の減少に繋がる。</p> <p>また、若年層への環境教育により、環境への取り組みや、地域課題解決への意識の醸成等が期待される。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>竹林整備事業で整備した竹林において、高校生向けの環境教育を実施することで、整備により目指す姿を実感してもらおう。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>補助事業を創設することで、竹林整備の面積拡大が期待できる。</p> <p>また、これまで単発で行うのみであった環境教育を持続可能な事業にする。</p>

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	竹林環境整備事業				
事業費	5,850,910 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,695,000	0	155,910

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	3/4以内	1,200千円	複数回申請可
委託事業	活動団体	補助事業ではない	900千円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

補助事業は公募制を採用し、委託事業は地域性、過去の実績を鑑みて当該団体へ委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	整備団体延べ1,000名、桑名工業高校15名、市内小学校60名×2校
期待する波及効果	放置竹林の整備により、防災、自然環境保護、獣害の減少に繋がる。 また、若年層への環境教育により、環境への取り組みや、地域課題解決への意識の醸成等が期待される。

【公的関与の必要性】

地元ボランティア団体が竹林の整備をおこなっているものの、無償であり、団体独自の活動のみでは限界があるため公的支援が必要でな状況である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施後も地元団体が整備をしていく。これまで目的外使用の申請実績は無く、規制する予定はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施後	広報誌にて県民税の使い道についての記事を掲載。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

- ・高校生が自分たちの手で竹林を整備することで、放置竹林への関心を持ってもらうことができた。
- ・小学校の授業で放置竹林を取り扱い、竹材の加工を体験することで、竹への関心が高められた。

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市
------	--------------------	-----	-----

事業名	竹林環境整備事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
旅費	交通費、宿泊費	名	2	77,755	155,510	一般財源
委託料	環境教育・人材育成委託	式	1	895,400	895,400	
補助金	竹林整備補助	回	4	1,200,000	4,800,000	
			合計		5,850,910	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	竹林環境整備事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1  
・ 竹林整備作業



写真2  
・ 整備後の竹林



写真3  
・ 環境教育



写真4  
・ 環境教育



写真5  
・ 環境教育



写真6  
・ 環境教育

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
3	多度山ハイキングコース安全性・快適性向上事業					
事業費	27,863,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			0	27,862,959	41	

1. 事業の目的

多度山については気軽に登ることができる山として、従来から児童、生徒の森林教育の場として活用されているが、多度山の持つポテンシャルをより活かすことで、森林教育の場としての機能向上が可能であると考え、現在あまり活用されていない区間を整備して活用することや、従来の活用されている区間についても、木質化等の、より森林教育を意識したリニューアルを実施し、森林教育の場としてのさらなる活用を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

多度山は従来から児童、生徒の森林教育の場として活用されており、ハイキングコース中の多度山上公園までの利用が主となっているが、その山上公園から海の見える展望所までの区間こそが、原生林の生育状況や眺望の魅力も含め、多度山の象徴的な区間と考えているため、木質舗装によるアクセス性の向上により、当該区間を森林教育の場としてのさらなる活用を図る。

また、ハイキングコース入口付近に、森林の働きや、多度山の植物について紹介する森林教育に関する看板を設置することで、森林教育の場としての機能向上を図る。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

桑名市

【実施個所及び箇所数】

多度山ハイキングコース ウッドチップ舗装 A=504m<sup>2</sup>

森林教育看板 1基

【事業量】

多度山ハイキングコース ウッドチップ舗装 A=504m<sup>2</sup>

森林教育看板 1基

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

事業実施により、森林教育の場として機能をさらに向上させることで、より多くの児童、生徒に活用してもらい、森林の持つ機能や、森林整備の重要性についてのより理解を深めていただく。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

児童、生徒に対し、県民税で整備したハイキングコースを実際に登ってもらいながら、講師から森林環境保全の重要性などについての講義を実施する。県民税整備設備の活用については、ハイキングコース入口の森林教育看板で森林が持つ多面的な機能についての説明を行い、リニューアルした東屋で県産材備品に触れながら木材利用の現況について説明を行い、ウッドチップ舗装を行った区間を歩きながら、適切な森林整備の重要性の説明を行う予定である。

【新たな対策・視点及び改善点】

これまで森林教育に活用できていなかった区間を整備し、多度山の持つ森林教育の場としての機能をさらに向上させることにより、森林教育を通じて、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
3	多度山ハイキングコース安全性・快適性向上事業					
事業費	27,863,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			0	27,862,959	41	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	森林教対象者約2,400人（市内小学校高学年1学年約1,150人 +中学校1学年約1,200人+一般公募約50人）
期待する波及効果	受益者の中心を小中学生と想定しているため、保護者を含め、周りを巻き込みながら、将来の森林環境保全等の行動につなげてもらう。

【公的関与の必要性】

市が管理するハイキングコースの整備であり、利用者に与える影響を鑑みても、公的支援が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施後も引き続き市が管理を行う。これまで目的外使用の申請実績は無く、規制する予定はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	工事実施中に現場にのぼりを設置
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	設置する森林教育看板に県民税のロゴマークを記載。
HP掲載	実施後	HPにて本事業についての記事を掲載。
広報誌掲載	実施後	広報誌にて県民税の使い道についての記事を掲載。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

- ・以前はぬかるんでおり危険だったハイキングコースが整備され、安全に登山を楽しめるようになった。
- ・森林の働きや多度山に生息する動植物の案内を見てから登山をすることで、より多度の自然に親しむことができた。

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市
------	--------------------	-----	-----

事業名	多度山ハイキングコース安全性・快適性向上事業
-----	------------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
工事請負費ハイキングコースウッドチップ舗装工事						
工事請負費	林道土木工事	m3	58	10,653	617,877	
工事請負費	舗装工事	m	275	46,825	12,876,989	W=1.8m 路盤t=100mm ウッドチップ舗装 t=30mm
工事請負費	付帯工事	基	1	705,238	705,238	森林教育看板設置工事 樹脂製 表示面W=1784mm H=1234mm
工事請負費	共通仮設費	式	1	2,098,110	2,098,110	森林諸経费率使用
工事請負費	現場管理費	式	1	5,536,800	5,536,800	森林諸経费率使用
工事請負費	一般管理費	式	1	3,494,986	3,494,986	森林諸経费率使用
小計					25,330,000	
消費税及び地方税相当額					2,533,000	10%
合計					27,863,000	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	桑名市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	多度山ハイキングコース安全性・快適性向上事業
-----	------------------------

7の(1). 写真



写真1  
ウッドチップ舗装路



写真2  
森林教育看板



写真3



写真4

写真3

写真4



写真5



写真6

写真5

写真6



# 鈴 鹿 市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

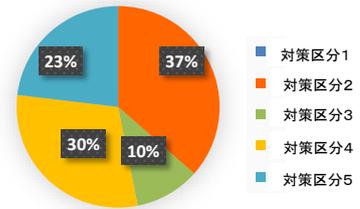
市町名	鈴鹿市	三重県
人口（人）	191,412	1,716,617
年少人口割合（%）*1	11.2%	11.4%
森林面積（ha）	3,596.55	371,680.22
民有林面積（ha）*2	3,420.75	348,212.01
森林率（%）	18%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	10.7	10.7

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	森林・竹林環境保全促進事業	2,357,871	2,357,860		2,357,860				
2	2	暮らしを守る森林保全事業	3,446,958	3,446,958		3,446,958				
3	3	里山保全ボランティア育成事業	355,884	335,857			335,857			
4	3	森と緑の生涯学習講座	790,335	790,335			790,335			
5	3	緑に親しむ記念樹配布事業	522,608	522,608			522,608			
6	4	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業	4,765,857	4,765,857				4,765,857		
7	5	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業	2,375,857	2,375,857					2,375,857	
8	5	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト	1,295,857	1,295,857					1,295,857	
計			15,911,227	15,891,189		5,804,818	1,648,800	4,765,857	3,671,714	

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	11本	4,532,880	2,266,440	台風などの倒木被害により、ライフラインを寸断する恐れのある樹木を事前に伐採
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈があり、市の中央には鈴鹿川が流れる、豊かな自然環境の下で発展してきた都市です。この恵まれた自然環境は、市民生活や経済活動に多大な恩恵をもたらしており、美しい風景や豊かな生態系は、本市にとって貴重な財産であるともいえます。</p> <p>このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、市民に親しまれている海岸林の保全や、利用頻度の高い公共施設等への県産材利用を通じ、多くの市民が森林の恩恵を享受することができ、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進する事業を進めていきます。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>子どもを中心とした市民を対象に、森林について学ぶ場や緑や木にふれあう機会を提供することにより、森や緑の大切さや森林環境への理解を深めることができ、森林づくりに積極的に関わる人材の増加が期待できる。地域にある身近な緑や里山を大切にすることは、自然環境とふれあう場の確保に繋がり、自然と共生する意識がうまれる。</p> <p>また、人家周辺の森林や樹木を適切に管理することで、市民の暮らしの安心・安全を確保することができる。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>本市におけるみえ森と緑の県民税の活用状況について市広報への記事の掲載及びチラシの折込を行うことで市民への周知を図った。</p> <p>また、事業実施の際は、県民税のぼりやロゴマークを掲出するなどして、みえ森と緑の県民税活用事業であることの周知に努め、啓発物品を配布することでみえ森と緑の県民税制度の理解を深めてもらえるよう取り組んだ。</p> <p>県民税の県内での活用事例紹介や森林のもつ多様性についての展示を市民ギャラリーにて実施し、来庁者への情報発信を行った。</p>

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税(千円)
1	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	407	407
2	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	2,095	2,095
3	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	379	379
4	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	19,470	19,470
5	② 意向調査	5,555	5,555
6	③ 私有林整備	7,361	7,361
7	③ 私有林整備	0	0
8	⑥ 林道・林専道の整備等	2,541	2,541
9	⑩ 専門員の雇用	3,850	3,850
10	⑰ 基金積立(森林整備等)	8,640	8,640
	合計	50,298	50,298

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
1	森林・竹林環境保全促進事業					
事業費	2,357,871円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,357,860	0	11	

1. 事業の目的

豊かな自然環境が残る公園緑地において、樹林内の樹木の適度な伐採や剪定、余分な竹の駆除を行うことにより、荒廃を防ぎ、森林環境を保全することにより、エコロジカルネットワークの1つの拠点を形成し、生物多様性の保全につなげる。

また、市民の方々が、森林環境の保全に関わることや、森林や緑と親しむための環境が整備されることにより、身近な緑の大切さを学び、親しみを持つことにより、環境保全への理解を進める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

樹木の伐採や剪定、竹の駆除及びそれに伴う廃材の粉碎。

粉碎した樹木等はその場に散布し、腐葉土化する。また、一部は、園内にあるビートルズベットの寝床材として利用し、幼虫の餌となることにより、生成される腐葉土の多様化を図り、土壌をさらに豊かにする。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市及び活動団体

【実施個所及び箇所数】

海のみえる岸岡山緑地 及び 深谷公園

【事業量】

・樹木粉碎量 約138m<sup>3</sup>/年

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

- ・エコロジカルネットワークの1つの拠点形成による生物多様性の保全。
- ・樹木の生育地で腐葉土化することによる土壌保全。
- ・森林環境の保全に関わることや、身近な緑の大切さを学び、親しみを持つことにより、環境保全への理解が進む。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

従来から市内公園で伐採した樹木の一部は、大型破碎機を持つ事業者に粉碎作業を委託し、粉碎物を一か所にまとめて公園内で保管し、腐葉土化を図っていた。

今回、これとは別に、本事業で購入した粉碎機を活用し、比較的細い樹木や大型粉碎機で粉碎できなかった竹を伐採したその場で粉碎することができるようになった。

このことにより、樹木の生育地で発生材の腐葉土化が図られ、また、伐木をチップ化する全体量を増やすことができた。

また、これまでボランティアが伐採した樹木や竹は費用や処分先の問題から、作業箇所からすぐに搬出できなかったが、購入した粉碎機で伐採後短期間で処理を行うことにより、作業の効率化が図られ、整備が飛躍的に進んだ。

【新たな対策・視点及び改善点】

伐採した樹木や竹をその場で粉碎し、腐葉土化することにより、有機性廃棄物の地産地消を図る。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
1	森林・竹林環境保全促進事業					
事業費	2,357,871 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,357,860	0	11	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
その他	活動団体	補助事業ではない		・ボランティア団体 ・市職員

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

公園整備を手掛けるボランティア団体に機器を貸し出すことにより、効果的・効率的に事業を実施できるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	緑地及び公園利用者
期待する波及効果	活動には市内のみならず市外の方も参加しており、環境保全への理解が広く進んだものと考えられる。また、活動団体が実施するイベント等で本事業が紹介されたり、整備された場所を市民等が来園することにより、身近な緑の大切さを学び、親しみを持つことにより、環境保全への理解がより進むものと考えている。

【公的関与の必要性】

市が所有・管理する都市公園での事業であるため、連携した作業が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

鈴鹿市自走式樹木粉碎機等貸出事業実施要領を作成

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中・後	事業実施時にのぼりを設置し、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを表示。
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中	購入した機械にロゴマークを掲載し、運搬中及び作業中にみえ森と緑の県民税を活用した事業であることを表示。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずかと一緒に折り込みチラシを配布し、本市における活用状況を市民に周知した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
1	森林・竹林環境保全促進事業					
事業費	2,357,871 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,357,860	0	11	

7. 写真及びその他資料	
別紙のとおり	
8. その他特記事項（受益者の反応等）	
<p>伐採された樹木や竹を伐採後短期間で粉碎処理することにより、森林整備作業が飛躍的に進み、ボランティア団体の活動成果が短期間で目で見える形になった。これにより、作業する方々のやる気の上昇につながった。</p> <p>具体的には、深谷公園では、整備が進んだことにより、樹木の更新を実施することができた。古いコナラを伐採し、三重トヨペット株式会社様からクヌギの苗木を寄附いただき、植樹を行った。</p> <p>海のみえる岸岡山緑地では、整備が進み、見通しがよくなったことにより、部活動の練習に訪れる学生や散歩する来園者の増加につながった。</p> <p>また、粉碎したチップにカブトムシが産卵したことにより、森林整備を実施するボランティア団体の中で、粉碎したチップの腐葉土化への理解が深まった。</p> <p>今後は、粉碎したチップの腐葉土化が一層進み、ボランティア団体の中で新たな効果に気付くものと期待される。</p>	

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市
------	----------------	-----	-----

事業名	森林・竹林環境保全促進事業
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕様	単位	数量	単価	金額	備考
樹木粉碎機購入	最大処理径150mm, 最大処理能力4.5m <sup>3</sup> /h	基	1	1,900,000	1,900,000	
資材費	燃料費、粉碎機メンテナンス用資材費	式	1	210,922	210,922	燃料107.18L、エアコンプレッサほか
					2,110,922	
	消費税及び地方税相当額				211,092	10%
		合計			2,322,014	
PRチラシ印刷・折込						
需用費	印刷製本費	式	1		35,857	印刷製本費177,177円 折込手数料109,681円 合計286,858円を事業数で按分
役務費	折込手数料	式	1			
		合計			35,857	
		合計			2,357,871	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林・竹林環境保全促進事業
-----	---------------

7の(1). 写真



写真1  
樹木粉碎機



写真2  
作業実施状況



写真3  
海のみえる岸岡山緑地（整備前）



写真4  
海のみえる岸岡山緑地（整備後）



写真5  
深谷公園（整備前）



写真6  
深谷公園（整備後）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林・竹林環境保全促進事業
-----	---------------

7の(2). その他資料

●広報誌に掲載したチラシ

**みえ森と緑の県民税**  
～森林づくりを県民みんなの力で～

**「みえ森と緑の県民税」って何でシカ?**  
平成26年度から、三重県が課税している樹種だよ。この税金を活用して、森と市町村が「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいるんだ。

**なぜ「みえ森と緑の県民税」が必要なんでシカ?**  
異常気象や台風の大規模化などにより、土砂崩れなどの災害が発生する危険性が高まっているんだ。その対策として災害のリスクを軽減する森林整備や、それを将来に引き継いでいく仕組みづくりを行うことが必要なんだ。

**基本方針1 災害に強い森林づくり**

**対策1 土砂や洪水による被害を出さない森林づくり**

**対策2 暮らしに身近な森林づくり**

**基本方針2 県民全体で森林を支える社会づくり**

**対策3 森を育む人づくり**

**対策4 森と人をつなぐ学びの場づくり**

**対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり**

鈴鹿市の取組は、裏面で紹介します！

「みえ森と緑の県民税」の問い合わせ先  
 <税のしくみについて> 三重県 総務部 税収確保課  
 <税の使いみちについて> 三重県 農林水産部 みどり共生推進課

鈴鹿市が令和6年度に「みえ森と緑の県民税」を活用して市内で実施した事業を紹介します

対策区分	事業名・問合せ先	事業内容
対策区分：2 暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る事前伐倒事業 (農林水産課 382-9017)	「災害に強い森林づくり」のため、台風などが原因の倒木によりライフライン（電線）を寸断する可能性がある倒木を事前に伐倒しました。
	暮らしを守る森林保全事業 (農林水産課 382-9017)	薄床林の維持保全、豪雨や台風としての脆弱性確保、安全・安心を暮らしの確保を目的に、病害虫被害のあった薄床林の伐倒を行いました。
対策区分：3 森を育む人づくり	里山保全ボランティア育成事業 (環境教育課 382-9014)	地域の里山・森林づくりを積極的に担う人材を育成するための「里山保全基礎講座」を開催しました。また、里山保全への関心を多くの方に持ってもらうために「里山保全体験」を実施しました。
	緑に親しむ記念寄附配布事業 (農林水産課 382-9017)	身近にある緑や木を大切に思う意識付けをするため、寄附や購入などの取組を進めた市町に対して、本市で生産された原木を記念品として配布しました。
対策区分：4 森と人をつなぐ学びの場づくり	森と緑の生涯学習講座 (地域活動課 382-8995)	市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、園遊会を利用した木工工芸、フィールドワーク、木のあそびに触れるなどの森林環境学習を行いました。
	鈴鹿市立白子中学校区書型用木製品設置及び森林教育推進事業 (学校教育課 382-7618)	図書館に三重県産木材を使用した机や椅子を設置し、森林や木とふれあう学習の場を整備しました。
対策区分：5 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林・竹林環境保全促進事業 (市町地産課 382-9025)	森林・竹林環境の保全を目的とした伐採等で生じた原木をチップ化する原木粉碎機を購入しました。
	樹と人をつなぐ長太の大樹再生プロジェクト (文化財課 382-9031)	長太の大樹の樹皮剥離を目標として、樹木治療や土壌改良などを行っています。
	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業 (文化財課 382-9031)	ふるさとの木（市内の天然記念物や地域活性化のシンボルとなっている樹木・樹木群）の樹木診断や樹木治療などを実施するための経費を補助しました。

令和7年度においても「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の環境に応じて整備した森林づくりや木と触れあえる場づくりに取り組む取組を実施しています。以下の「イメージ」とともに「みえ森と緑の県民税」を活用して「森林環境の向上」を、皆様と一緒に行うための取組を実施しています。

●取組のイメージ

取組	みえ森と緑の県民税（国税）	森林環境税（国税）
森林整備	災害に強い森林づくり 樹木の高さや倒木防止のための剪定、ライフラインの確保、病害虫の予防、伐倒の処理など	災害に強い森林づくり 倒木防止のための剪定、ライフラインの確保、病害虫の予防、伐倒の処理など
人材育成	森を育む人づくり 森林整備・環境保全の専門家育成、森林ボランティアの育成	森林の取り組み 森林整備・環境保全の専門家育成、森林ボランティアの育成
森林整備	森と人をつなぐ学びの場づくり 森林整備・環境保全の専門家育成、森林ボランティアの育成	森林の取り組み 森林整備・環境保全の専門家育成、森林ボランティアの育成
木材利用		公共建築物等の木質化 公共建築物等に使用した木材の活用、木質化の推進

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	暮らしを守る森林保全事業					
事業費	3,446,958 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,446,958	0	0	

1. 事業の目的

本市東部には伊勢湾に面する長い海岸があり、その周辺に植生する松林が防潮・防風・飛砂防止・津波軽減などの働きにより周辺住民の暮らしを守っている。しかし、病害虫被害で枯松化が拡大し、台風時の倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害が懸念されている。

このような状況を改善するため、人家周辺における病害虫被害木を積極的に伐採・駆除し、新たに害虫に対する抵抗性の品種を植樹することで海岸林の維持保全を行い、通行の安全や住民の暮らしの安全を確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

< 鼓ヶ浦海岸内 >

過去にみえ森と緑の県民税を活用して植樹した松の健全な育成及び古くから植生している松の保護を目的として、松くい虫の被害を受けて枯れている松の伐採や枯枝除去を行った。

< 東磯山緑地 >

松くい虫の被害を受けているものを伐倒・駆除し、抵抗性のある黒松を植樹し、松林の維持保全に努めた。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

【実施個所及び箇所数】

鼓ヶ浦海岸内

東磯山緑地

【事業量】

< 鼓ヶ浦海岸内 > 枯れ松伐倒 5 本

< 東磯山緑地 > 特別伐採駆除 7 本、支障枝剪定 9 本、植栽 4 本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

病害虫被害木の伐採・駆除を実施することで、台風時の倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害防止や病害虫被害の拡大阻止につなげ、通行や暮らしの安全を確保することができる。また、抵抗性のある品種を植樹することで、松林が本来有する機能を維持保全することができる。

健全な松林に整備することは、防潮・防風・飛砂防止など周辺住民の暮らしの安全を守ることにつながっており、景観を維持することで訪れる県内外の人々に海岸林の保全に対する理解が広がる波及効果も期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

定期的に被害状況を確認し、必要に応じて特別伐倒駆除を行った。今後はさらに効果的に病害虫による被害を軽減するため、計画的に薬剤による土壌灌注を行っていく。

【新たな対策・視点及び改善点】

病害虫に対して抵抗性のある樹種を植樹し、松枯れの被害発生の抑制に取り組んだ。

また、樹木医に定期的に助言いただき、樹幹注入の必要な松の検討、松枯れの原因の究明等を行い、効果的に松林の維持保全を行った。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番号	事業名				
2	暮らしを守る森林保全事業				
事業費	3,446,958 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,446,958	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

病虫害被害木の伐採には専門的な知識・技術が必要なことから、造園業者を選定。

<鼓ヶ浦海岸内> 指名競争入札

<東磯山緑地> 随意契約（2者見積）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	鼓ヶ浦海岸付近の住民（約2,000世帯4,700人） 東磯山緑地付近の住民（約500世帯，約1,000人）
期待する波及効果	広報やHP、事業看板等により本事業を知った住民に県民税の理解が深まる

【公的関与の必要性】

事業地は市有地であることから、公的関与が必須である。また、事業地周辺は、松くい虫による病虫害被害により、台風時に倒木や枝の飛散等での住居や人身への被害が懸念され、本事業によって周辺住民に対し安心・安全な住環境を寄与できることから、公的関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市有地のため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中・後	伐倒実施箇所・周辺住民・県民税の活用について
のぼり設置	実施中	伐倒実施箇所・周辺住民・県民税の活用について
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずかと一緒に折り込みチラシを配布し、本市における活用状況を市民に周知した。
その他	今後	記者発表：市政記者クラブ・マスメディア・県民税の活用について

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

実施要領第10号様式（その2）

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市
------	----------------	-----	-----

事業名	暮らしを守る森林保全事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
<b>&lt; 鼓ヶ浦海岸内 &gt;</b>						
樹木伐採費	C=3.10m	本	1	314,654	314,654	
	C=3.34m	本	1	338,898	338,898	
	C=2.04m	本	1	206,041	206,041	
	C=0.90m	本	1	91,424	91,424	
	C=1.24m	本	1	125,801	125,801	
処分費		kg	14425	11	162,412	
諸経費		式	1	1,135,685	1,135,685	
				小計	2,374,915	
					2,374,000	千円未満切捨て
			消費税及び地方税相当額		237,400	10%
合計					2,611,400	
<b>&lt; 東磯山緑地 &gt;</b>						
支障木伐採	伐採、搬出、運搬、処分含む	本	9	44,444	400,000	
枯れ松伐倒	伐倒、搬出、運搬含む	本	7	34,286	240,000	
植栽	抵抗性黒松	本	4	21,750	87,000	
				小計	727,000	
			消費税及び地方税相当額		72,700	10%
合計					799,700	
<b>PRチラシ印刷・折込</b>						
需用費	印刷製本費	式	1		35,858	印刷製本費177,177円 折込手数料109,681円 合計286,858円を事業数で按分
役務費	折込手数料	式	1			
合計					35,858	
合計					3,446,958	

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	暮らしを守る森林保全事業
-----	--------------

7の(1).写真

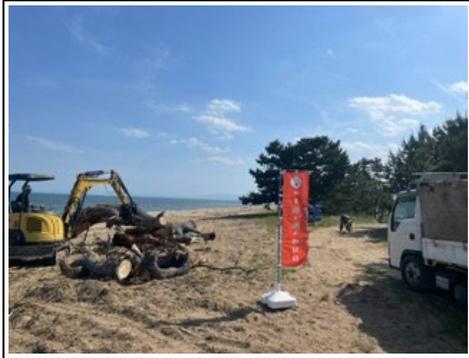


写真1

作業中の様子



写真2

作業中の様子



写真3

伐倒前



写真4

伐倒後



写真5

伐倒前



写真6

伐倒後



写真7

伐倒前



写真8

伐倒後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	暮らしを守る森林保全事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1  
植樹前



写真2  
植樹作業状況



写真3  
植樹完了



写真4  
枯れ松伐倒前



写真5  
枯れ松伐倒作業状況



写真6  
枯れ松伐倒後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	暮らしを守る森林保全事業
-----	--------------

7の(2). その他資料

●折り込みチラシ

**「みえ森と緑の県民税」って何でシカ?**  
平成26年度から、三重県が課税している税金だよ。この税金を活用して、県と市町が「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいるんだ。

**なぜ「みえ森と緑の県民税」が必要なんデシカ?**  
異常気象や台風の大型化などにより、土砂崩れなどの災害が発生する危険性が高まっているんだ。その対策として災害のリスクを軽減する森林整備や、それを利便に引き継いでいく社会づくりを行うことが必要なんだ。

**基本方針1 災害に強い森林づくり**

**対策1** 土砂や流水による被害を出さない森林づくり

**対策2** 暮らしに身近な森林づくり

**基本方針2 県民全体で森林を支える社会づくり**

**対策3** 森を育む人づくり

**対策4** 森と人をつなぐ学びの場づくり

**対策5** 地域の身近な水や緑の環境づくり

鈴鹿市の取組は、裏面で紹介します!

「みえ森と緑の県民税」の問い合わせ先  
<税のしくみについて>  
三重県 総務部 税収確保課  
TEL 059-224-2128 mail:zeimu@pref.mie.jp

<税の使いみちについて>  
三重県 農林水産部 みどり共生推進課  
TEL 059-224-2513 mail:midori@pref.mie.jp

鈴鹿市が令和6年度に「みえ森と緑の県民税」を活用して市内で実施した事業を紹介します

対策区分	事業名・問合せ先	事業内容
対策区分:2 暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る事前伐採事業 (県民税課 382-9017)	「災害に強い森林づくり」のため、台風などが原因の倒木によりライフライン(電線)を寸断する可能性がある倒木を事前に伐採しました。
	暮らしを守る森林保全事業 (県民税課 382-9017)	海岸林の維持保全、豪雨や強風林としての機能維持、安全、安心な暮らしの確保を目的に、被害を受けた海岸林の伐倒を行いました。
対策区分:3 森を育む人づくり	里山保全ボランティア育成事業 (環境教育課 382-9014)	地域の里山・森林づくりを積極的に担う人材を育成するための「里山保全基礎講座」を開催しました。また、里山保全への関心を多くの方に持ってもらうために「里山保全体験」を実施しました。
	緑に親しむ記念館配布事業 (県民税課 382-9017)	身近にある緑や木を大切に思う意識付けるため、児童や小学生などの子どもを対象に、記念館を配布しました。配布された記念館も配布して配布しました。
	森と緑の生涯学習講座 (地域振興課 382-8095)	市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、園遊会を利用した木工工作、フィールドワーク、木のあそびに転換されるなどの森林環境学習を行いました。
対策区分:4 森と人をつなぐ学びの場づくり	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業 (学校教育課 382-7618)	図書室に三重県産木材を使用した机や椅子を設置し、森林や木村とふれあう学習の場を整備しました。
対策区分:5 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林・竹林環境保全促進事業 (市町地産課 382-9025)	森林・竹林環境の保全を目的とした伐採等で生じた倒木をチップ化する倒木粉砕機を購入しました。
	緑と人をつなぐ長木の大地再生プロジェクト (文化財課 382-9031)	長木の大地の自然遺産を旨として、倒木や土留改良などを行っています。
	ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業 (文化財課 382-9031)	ふるさとの木(市内の天然記念物や地域活性化のシンボルとなっている倒木・倒木幹)の倒木切断や倒木治療などを実施するための経費を補助しました。

令和7年度においても「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の集まりに応じて創設した森林づくり中核と連携した災害に強い森林づくり等の事業を実施しています。以下のイメージのとおり画面上に掲載される「森林環境整備」は、事業をすすめてきたうえで内容を適切に変更しています。

●事業の組み合わせイメージ

市の区分	みえ森と緑の県民税(県税)	森林環境整備費(国税)
山	—	被害に強い森林づくり 倒木や倒木幹の処理(倒木粉砕機、ライフライン保護、被害軽減)の取組の推進
森	—	—
緑	—	—
人	—	—
学	—	—
水	—	—
木	—	—
材	—	—
利	—	—

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	里山保全ボランティア育成事業					
事業費	355,884 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			335,857		20,027	

1. 事業の目的

平成22年から深谷公園において里山保全活動を市民ボランティアと共に実施しているが、参加者のさらなる知識・技術の向上などを目指した活動を推進し、市民の自然環境保全の意識向上を図ることで、森林づくりを担う人材を育成する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

里山保全活動に必要な基礎的知識・技術を学ぶ場として、新たに「里山保全基礎講座」を開設し、里山保全を安全で確実に実践することができる人材を育成する。

また、多くの方が里山保全に興味を持ち、活動に参加してもらうことを目的に、これまで市民ボランティアを対象としていた里山保全活動を、より参加しやすい内容に改め、「里山保全体験」として実施し、市民参加を促していく。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

市及びボランティア団体

【実施個所及び箇所数】

深谷公園、鈴鹿市役所本館、鈴鹿市男女共同参画センター、海のみえる岸岡山緑地 計4か所

【事業量】

里山保全基礎講座：5回 里山保全体験：3回 計8回

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

深谷公園が自然とふれあい、自然を学ぶ場として活かされ、里山林をはじめとした森林、自然環境との触れ合い、自然との共生の大切さに対する理解が進むことが期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

「里山保全体験」については、里山保全に興味を持つ入り口となることを目的としているため、次世代を担う年齢層が興味をもってもらえる内容にし、対象者を小中学生だけではなく保護者にも参加してもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業の取組みを紹介する内容のポスターを作成し、みえ環境フェア2024の本市のブース内に掲示した。自然との触れ合いや共生の大切さについて理解促進を図った。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	里山保全ボランティア育成事業					
事業費	355,884 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			335,857		20,027	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識(森林インストラクターの資格等)を持ち合わせており、本市の自然環境にも精通しているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	当該活動に触れた人(111名)
期待する波及効果	自然や里山保全に興味を持つ人が増えることが期待される。また、参加者の家族等や公園利用者も効果が期待される。

【公的関与の必要性】

本市の基本施策(自然環境と生物多様性の保全)の下で推進すべき事業である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

深谷公園は市の公園であるため、基本的に管理は市で行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用した事業であることを示したのぼり旗を設置
チラシ等配布	実施中	みえ森と緑の県民税の案内パンフレット、クリアファイル、鉛筆を参加者に配布
アンケート実施	実施後	みえ森と緑の県民税についての認識や森林への理解度について参加者に質問
その他	実施中	イベント実施中にみえ森と緑の県民税を活用した取組みであることを参加者にアナウンス
ポスター掲示	実施後	みえ環境フェア2024の本市のブース内において、事業内容の紹介するポスターを作成及び掲示して周知
HP掲載	実施前・中	昨年度の事業実施結果を市のウェブサイトで紹介
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずかと一緒に折り込みチラシを配布し、本市における活用状況を市民に周知

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	里山保全ボランティア育成事業					
事業費	355,884 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			335,857		20,027	

7. 写真及びその他資料	
別紙のとおり	
8. その他特記事項（受益者の反応等）	
<p>事業実施することによって、みえ森と緑の県民税について知ってもらうきっかけに繋がっていることが、アンケート結果から分かった。</p> <p>また、森林や里山に対する関心が高まったという声が多く聞かれた。当該事業終了後においても、自ら市民団体に加入し、積極的に里山保全活動を望まれる方もみえた。</p>	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------	-----	-----

事業名	里山保全ボランティア育成事業
-----	----------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品	滑り止め軍手	個	2	498	996	
消耗品	竹柄豚毛ブラシ 楊子型3行	本	4	148	592	
消耗品	しいたけ すその620【きのこ菌】棒型5	個	3	2,035	6,105	
消耗品	バイオプラスチックオイル 5ℓ	個	1	7,590	7,590	
消耗品	中巾唐鍬 90cmカシ柄付	本	1	10,100	10,100	
消耗品	掛矢	本	1	4,980	4,980	支払いは合算
消耗品	滑り止め軍手(小/中)	個	2	498	996	
消耗品	腰鋸	本	1	12,900	12,900	
消耗品	替刃	本	4	2,480	9,920	
			小計		54,179	
保険料	普通損害保険	回	1	1,000	1,000	竹工作
保険料	普通損害保険	回	2	5,034	10,068	シイタケ菌打ち
保険料	普通損害保険	回	4	3,355	13,420	里山保全基礎講座
			小計		24,488	
委託料	里山保全体験委託	回	1	90,000	90,000	全3回(竹工作/シイタケ菌打ち)
委託料	里山保全基礎講座委託	回	1	150,000	150,000	全5回
			小計		240,000	
会場借上料	男女共同参画センター使用料	回	1	1,360	1,360	竹工作
			小計		1,360	
			合計		320,027	
PRチラシ印刷・折込						
需用費	印刷製本費	式	1		35,857	印刷製本費177,177円 折込手数料109,681円 合計286,858円を事業数で按分
役務費	折込手数料	式	1			
			合計		35,857	
			合計		355,884	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山保全ボランティア育成事業
-----	----------------

7の(1). 写真



写真1  
里山保全基礎講座



写真2  
里山保全基礎講座



写真3  
里山保全基礎講座



写真4  
里山保全基礎講座



写真5  
里山保全体験(竹工作)



写真6  
里山保全体験(シイタケの菌打ち体験)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山保全ボランティア育成事業
-----	----------------

7の(2). その他資料

●みえ環境フェア2024にて掲示ポスター

鈴鹿市の豊かな自然環境に触れていただける様々な活動を実施しています！

### 自然観察会

専門の講師から解説を聞いて、様々な生き物や自然に触れあえる観察会を開催しています。子どもから大人まで楽しんでもらっています。

■R6年度の観察会

- 昆虫観察会
- 昆虫灯火採集
- 川の生き物観察会
- きのご観察会
- 野鳥観察会（予定）



みえ森と緑の県民税を活用して、次の事業を実施しています。

#### 里山保全体験

小・中学生の親子を対象に、森林や自然に触れていただける機会を提供しています。

■R6年度の活動

- 竹の工作体験
- しいたけ打ち体験（予定）



#### 里山保全基礎講座

高校生以上を対象に、里山保全活動を実施するのに必要な基礎知識・技術を学ぶ場として講座を開設しています。

深谷公園での実践を通じて、のこぎりなどの道具の使い方や竹木の伐採方法などが習得できます。



鈴鹿市 環境政策課

●広報すずか7/20号

### 環境館 里山保全活動を通して自然と触れ合おう

環境政策課 ☎382-7954 📠382-2214 📍kankyoseisaku@city.suzuka.lg.jp

本市の豊かな自然環境を知りきっかけづくりの一つとして、身近な自然と触れ合う講座を開催します。ぜひ、ご参加ください。  
※本事業は、「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。

#### 里山とは？

手つかずの大自然が広がる原生林など未開の地域ではなく、人の手が適切に入った自然豊かな地域のことです。昔から人々は、暮らしの中で里山の恵まれた資源を利用し、人と自然が共存する循環型の生活をしてきました。近年は、里山の景観や生物多様性の回復を目指して保全活動に取り組んでいます。

#### 里山保全基礎講座の参加者募集

実践を通じて、のこぎりやロープなどの道具の使い方や竹木の伐採方法について学びます。里山保全をより安全に進めていくための基礎知識や技術が習得できます。

#### こんな思いがある人はぜひ参加を

- 普段自然に触れる機会が少なく、非日常を体験したい
- 里山保全に興味はあるが、何をしたらよいか分からない
- 企業の環境保全活動をするための技術を習得したい

#### 令和6年度募集要件

対象 高校生以上  
とき 9月28日、10月12日、11月16日、12月14日、令和7年1月25日（各土曜日）  
※原則、全ての講座（全5回）に参加してください。  
ところ 深谷公園（八野町）  
※最初の9月28日と悪天候時は、市役所本館で座学を開催します。  
講師 佐野正和さん（三重森林インストラクター）  
参加費 無料  
※講座に必要な道具は、貸し出します。  
申込み 8月30日（金）までに、電話または電子メールで環境政策課へ

#### 令和5年度の活動の様子

10代から70代までの幅広い年代の方が参加しました。



▲のこぎりの使い方を学ぶ  
▲竹の間伐作業

2024.7.20

●折り込みチラシ

## みえ森と緑の県民税

～森林づくりを県民みんなの力で～

「みえ森と緑の県民税」って何ですか？

平成26年度から、三重県が創設している県民税。この税を活用して、県と市町村が「災害に強い森林づくり」と「県民皆で森林を支える社会づくり」に取り組んでいるんです。

なぜ「みえ森と緑の県民税」が必要なんですか？

高齢化や急激な大型化などにより、土砂崩れなどの災害が発生する危険性が高まっている。その対策として、災害のリスクを軽減する森林整備や、それを結果的に引き継いでいく社会づくりを行うことが必要なんです。

最も力強い！ 災害に強い森林づくり

最も力強い！ 県民皆で森林を支える社会づくり

最も力強い！ 森を育む人づくり

最も力強い！ 森と人をつなぐ学びの場づくり

最も力強い！ 地域の身近な水や緑の環境づくり

鈴鹿市の取組は、裏面で紹介します！

「みえ森と緑の県民税」の問い合わせ先

<税のしくみについて> 三重県 総務部 税収確保課  
TEL 059-224-2128 mail: zeimu@pref.mie.lg.jp

<税の使いみちについて> 三重県 農林水産部 みどり共生推進課  
TEL 059-224-2513 mail: mcdorin@pref.mie.lg.jp

### 鈴鹿市が令和6年度に「みえ森と緑の県民税」を活用して市内で実施した事業を紹介します

対策区分	事業名・問い合わせ先	事業内容
対策区分：2 暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る事業（伐採事業） （県林学課 382-9037）	「災害に強い森林づくり」のため、台風などが原因の倒木によりライフライン（電線）を切断する可能性がある倒木を事前に伐採しました。
	暮らしを守る森林保全事業 （県林学課 382-9037）	高齢者の維持保全、避難や防災としての強靱な森林、安全・安心につながる森林を目的に、県産木材を使った森林の伐採を行いました。
対策区分：3 森を育む人づくり	里山保全ボランティア育成事業 （環境政策課 382-9034）	地域の里山、森林づくりを積極的に担う人材を育成するための「里山保全基礎講座」を開催しました。また、里山保全への関心を多くの方に持ってもらうために「里山保全体験」を実施しました。
	暮らしに身近な森林づくり	身近にある樹木を大切に思う意識付けをするため、子どもや高齢者などの参加を促す公民館に対して、本県産産木材の原木を配布して配布しました。
対策区分：4 森と人をつなぐ学びの場づくり	森と緑の生涯学習講座 （地域政策課 382-8925）	市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、里山にも利用した木工工作、フィールドワーク、木のおもちゃに触れるなどの森林環境学習を行いました。
	鈴鹿市立白子中学校区環境芸術科木製品製造及び森林体験推進事業 （環境政策課 382-7618）	授業中に三重県産木材を使用した椅子を製造し、森林や木村とつながる学びの場を確保しました。
対策区分：5 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林・竹林環境保全促進事業 （市緑地管理課 382-9025）	森林・竹林環境の保全を目的とした伐採等で生じた原木をチップとする原木粉砕機を購入しました。
	樹と人を育む大のこぎりプロジェクト （文化財課 382-9031）	県木の伐倒の移動運搬を容易化して、原木チップや土壌改良なども行っています。
ふるさとの木（各木古木）保存活用事業補助事業 （文化財課 382-9031）	ふるさとの木（市内の天然記念物や地域歴史的シンボルとなっている樹木・古木等）の保全活用や原木活用などを実施するための助成を補助しました。	

令和6年度に実施した事業の一覧

事業名	みえ森と緑の県民税（県税）	森林整備費（国庫）
災害に強い森林づくり	○	○
暮らしに身近な森林づくり	○	○
森を育む人づくり	○	○
森と人をつなぐ学びの場づくり	○	○
地域の身近な水や緑の環境づくり	○	○

令和6年度に実施した事業の一覧

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名						
4	森と緑の生涯学習講座						
事業費	790,335 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			790,335				

<b>1. 事業の目的</b>							
小学生を中心とした子どもと保護者が、地域の高齢者の手助けを得て、森や緑の大切さについて学び、森林にふれ、取り組みについて学ぶことにより、多くの世代の市民が、森林保全や持続可能な自然環境などの理解を深めることを目的とする。							
<b>2. 事業実績概要</b>							
<b>【事業内容】</b>							
市立公民館において、社会教育事業を実施している団体（公民館運営委員会及び地域づくり協議会）に「森と緑の生涯学習講座」として委託し、小学生を中心とした子どもと保護者が、夏休み、冬休みなどの長期休暇を利用しながら、年間3回以上の定期講座として、講義、間伐材を利用した木工工作、森の資源を利用した工作、フィールドワーク、木のおもちゃに触れる等の森林環境学習を実施する。							
<b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b>							
地域づくり協議会、公民館運営委員会							
<b>【実施個所及び箇所数】</b>							
11館（椿、久間田、庄内、井田川、国府、住吉、若松、飯野、栄、旭が丘、合川）							
<b>【事業量】</b>							
11館において、1館3講座以上の開催							
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>							
<b>【事業実施により期待される効果】</b>							
講話、木工教室などの森林学習により小学生を中心とした子どもとその保護者などが森林環境を身近に感じることができ、森林の現状やそこに生息する木や生き物による自然環境を守ることの大切さを理解することによって、地域全体で森や緑を大切に考える人づくりにつなげていくことができる。							
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>							
施設の立地による特性を活かして講座内容を考えたり、基本小学生を対象としているため子どもが興味を持つ工作を組み入れたり、多くの人が集まる事業と共催するなどの工夫をした。また、子どもを通して保護者を巻き込んだ講座で参加対象の幅を広げた。さらに、指導者として高齢者の参加を促す取り組みも行った。							
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>							
既存の公民館事業と協力して開催したり、広い年代の方が集まる事業と連携したりすることが必要。講話・工作だけでなくフィールドワークも視野に入れる。							

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	森と緑の生涯学習講座					
事業費	790,335 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			790,335			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	地域協議会等	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

地域づくり協議会や公民館運営委員会が、地域の生涯学習の場、地域の方の交流の拠点でもある公民館の事業運営を行っているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	全体：34講座 638人、 子ども参加者：549人 保護者・高齢者：89人
期待する波及効果	保護者や高齢者を通して、環境に対する森林保全の重要性の理解、対策としての県の取り組みへの理解を高められた。

【公的関与の必要性】

森林保全に関する情報、講師の案内、他市町の事業に関する情報などの提供。全県的な取り組みや方針など包括的な理解を促すため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

対象外

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	講座を受けている時に、掲示して啓発
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施前	たより・チラシなどに掲載
広報誌掲載	実施前・後	募集のたより、チラシ、事業報告などで地域や子どもに周知
アンケート実施	実施後	講座を受けた後、必ずアンケートを行い意見を聞く。
啓発物品配布	実施中	啓発のため、参加者に配付
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずかと一緒に折り込みチラシを配布し、本市における活用状況を市民に周知した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	森と緑の生涯学習講座					
事業費	790,335 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			790,335			

7. 写真及びその他資料	
別紙のとおり	
8. その他特記事項（受益者の反応等）	
<p>参加者の声</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すごくいい匂いがして葉っぱの違いとかいろいろ聞けたし、少し難しかったけど楽しかった。檜と杉の違いが分かった。（子ども）</li> <li>・木で家を作りたい。</li> <li>・森と緑の役割なども学ぶことができ勉強になりました。三重の木、災害等のお話もとても参考になりました。（保護者）</li> </ul> <p>森と緑の生涯学習講座を経験した館で、委託後も独自に木工工作など木に触れる講座を実施している館がある。</p>	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------	-----	-----

事業名	森と緑の生涯学習講座
-----	------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
椿公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				67,137	
需用費	材 料 費				2,863	
久間田公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				62,500	
需用費	材 料 費				7,500	
庄内公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				10,000	
需用費	材 料 費				58,460	
役務費	振込手数料				1,540	
井田川公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				60,000	
需用費	材 料 費				10,000	
国府公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				36,480	
需用費	材 料 費				33,520	
住吉公民館					54,478	
報償費	講 師 料 他				35,500	
需用費	材 料 費				18,978	
若松公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				66,590	
需用費	材 料 費				3,410	
飯野公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				70,000	
栄公民館					70,000	
報償費	講 師 料				48,370	
需用費	材 料 費				21,630	
旭が丘公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				70,000	
合川公民館					70,000	
報償費	講 師 料 他				70,000	
合計					754,478	
PRチラシ印刷・折込						
需用費	印刷製本費	式	1.00		35,857	印刷製本費177,177円 折込手数料109,681円 合計286,858円を事業数で按分
役務費	折込手数料	式	1.00			
合計					35,857	
合計					790,335	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑の生涯学習講座
-----	------------

7の(1). 写真



写真1  
住吉公民館：カラー黒板



写真2  
栄公民館：ミニチュアハウスとカメラづくり



写真3  
旭が丘公民館：ミニ門松づくり



写真4  
合川公民館：時計づくり



写真5  
国府公民館：コースター作り



写真6  
庄内公民館：檜のサイドテーブル

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と緑の生涯学習講座
-----	------------

7の(2). その他資料

●折り込みチラシ

**みえ森と緑の県民税**  
～森林づくりを県民みんなの力で～

「みえ森と緑の県民税」って何でシカ？  
なぜ「みえ森と緑の県民税」が必要なんでシカ？

基本方針1 災害に強い森林づくり  
基本方針2 県民全体で森林を支える社会づくり

対策1 土砂や洪水による被害を出さない森林づくり  
対策2 暮らしに身近な森林づくり  
対策3 森を育む人づくり  
対策4 森と人をつなぐ学びの場づくり  
対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり

鈴鹿市の取組は、裏面で紹介します！

「みえ森と緑の県民税」の問い合わせ先  
<税のしくみについて>  
三重県 総務部 税収確保課  
TEL 059-224-2128 mail zeimu@pref.mie.lg.jp

<税の使いみちについて>  
三重県 農林水産部 みどり共生推進課  
TEL 059-224-2513 mail mcdori@pref.mie.lg.jp

鈴鹿市が令和6年度に「みえ森と緑の県民税」を活用して市内で実施した事業を紹介します

対策区分	事業名・問合せ先	事業内容
対策区分：2 暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る事前伐採事業 (農林水産課 382-9017) 暮らしを守る森林保全事業 (農林水産課 382-9017)	「災害に強い森林づくり」のため、台風などが原因の倒木によりライフライン(電線)を切断する可能性がある倒木の事前伐採しました。 薄床林の維持保全、季節や状況としての機能維持、安全・安心な暮らしの確保を目的に、落葉虫被害のあった薄床林の伐倒を行いました。
対策区分：3 森を育む人づくり	里山保全ボランティア育成事業 (環境教育課 382-9014) 緑に親しむ記念樹配布事業 (農林水産課 382-9017)	地域の里山・森林づくりを積極的に担う人材を育成するための「里山保全基礎講座」を開催しました。また、里山保全への関心を多くの方に持ってもらうために「里山保全体験」も実施しました。 身近にある緑や木々大切に思う意識付けをするため、新卒や入学などの節目を記念する機会に、本市で生産された県産記念樹として配布しました。
対策区分：4 森と人をつなぐ学びの場づくり	鈴鹿市立白子中学校区園芸実習木製品設置及び森林教育推進事業 (学校教育課 382-7618)	図書館に三重県産木材を使用した机や椅子を設置し、森林や木材とふれあう学習の場を確保しました。
対策区分：5 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林・竹林環境保全促進事業 (市地域整備課 382-9025) 緑と人をつなぐ長木の大地再生プロジェクト (文と財課 382-9031) ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業 (文と財課 382-9031)	森林・竹林環境の保全を目的とした伐採等で生じた倒木をチップ化する倒木処理機を購入しました。 長次の大樹の伐倒計画を目標として、倒木処理や土壌改良などを行っています。 ふるさとの木(名木古木)市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている倒木・古木群の倒木計画や倒木処理などを実施するための協賛を補助しました。

●関連の取り組みイメージ

取り組み	みえ森と緑の県民税(県税)	森林環境整備費(国税)
災害に強い森林づくり	〇	〇
暮らしに身近な森林づくり	〇	〇
森を育む人づくり	〇	〇
森と人をつなぐ学びの場づくり	〇	〇
地域の身近な水や緑の環境づくり	〇	〇

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	緑に親しむ記念樹配布事業					
事業費	522,608 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			522,608			

1. 事業の目的

市内の市街地に居住する若年層の市民にとって、森林との関わりは年々希薄になってきており、森林の有する公益的機能やその享受についても把握していないことが懸念される。「県民全体で森林を支える社会づくり」のためにも、その第1歩として身近にある緑や木を大切に思う意識付けをする必要がある。

そこで、1番身近にある緑として自宅に植える記念樹を配布することで、緑や木に対する愛着心が醸成され、森林と人々の暮らしの繋がりについても興味関心を持ってもらい、積極的に森林づくりに関わる人材の増加を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

生産者と消費者の交流を通じて、人と緑のふれあいを高めることを目的として開催されている「鈴鹿市植木まつり」の会場において、新築や新入学等の記念を迎えた市民に対し、全国有数の植木産地である鈴鹿市で生産された植木を記念樹として配布し、併せて県産材で作製した県民税ロゴ入り記念プレートを配布する。

また、記念樹の配布列の横に「森のはたらきパネル」を展示し、森林が有する公益的機能及び木材利用による緑の循環についての啓発を行い、加えて、受付時に森林との関わりについてのアンケート調査を実施することで、森林環境についての理解を深める機会を提供した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

【実施個所及び箇所数】

1か所（鈴鹿フラワーパーク）

【事業量】

記念樹：150本、木製記念プレート150枚

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

人生の節目を記念して自らの手で植樹することで、緑や木を大切に思う気持ちが生まれ、庭木として植えることにより、植樹者本人だけでなく家族全体の緑化意識の向上が期待できる。

また、記念樹の配布列の横に「森のはたらきパネル」を設置することにより、森林が有する公益的機能及び木材利用による緑の循環など森林づくりへの関心を深めることが期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

配布樹種には、より愛着心が湧くように、地元鈴鹿市で生産された植木を選定した。

また、県民税ロゴ入り記念プレート（吊下げ用）を配布することで、記念樹の手入れをする度に、県民税制度のことなど植樹した経緯がリマインドできるように工夫した。

【新たな対策・視点及び改善点】

配布列の横に「森のはたらきパネル」を設置し、配布前の待ち時間や配布終了後にも、森林が有する公益的機能及び木材利用による緑の循環など、森林に関する理解を深めてもらえるよう取り組んだ。

また、配布の際に実施していた森林に関するアンケートについても、森林づくりのために自分にもできることがあるということを分かってもらえるような内容に修正した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	緑に親しむ記念樹配布事業					
事業費	522,608 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			522,608			
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考		
直営		補助事業ではない				
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
直営のためなし						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
受益者	新生・新築など人生の節目を迎えた市民150人及びその家族（計600人想定）					
期待する波及効果	8千人以上が集まる大きなイベントで事業実施することで、「森のはたらきパネル」設置による効果は直接の受益者数以上に及ぶ。また、記念樹が受益者の家庭に存在し続けることで、本事業の効果は家族や友人などに継続的に波及されることが期待できる。					
【公的関与の必要性】						
森林との関わりが希薄な若年層に対し、森林環境に関する理解を深めるきっかけを作るには、行政の積極的な関与が必要である。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
該当なし						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
チラシ等配布	実施前・中	鈴鹿市植木まつりのチラシに記念樹配布事業について掲載し、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることの周知を図った。				
のぼり設置	実施中	配布場所にはみえ森と緑の県民税ののぼりを設置することで、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRした。				
アンケート実施	実施中	受付時には森林に関するアンケートを実施し、森林づくりのために何ができるかなど森林に対する意識の醸成に取り組んだ。併せて、みえ森と緑の県民税のロゴマークを配置し、県民税についての質問も加え、県民税事業であることを強調した。				

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
5	緑に親しむ記念樹配布事業					
事業費	522,608 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			522,608			
啓発物品配布	実施中	みえ森と緑の県民税の啓発物品を併せて配布することで、みえ森と緑の県民税を活用した事業であることをPRするとともに、森林づくりの重要性について啓発を実施した。				
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中・後	県民税ロゴ入り記念プレート（吊下げ用）を配布することで、記念樹の手入れをする度に、県民税制度のことなど植樹した経緯がリマインドできるように工夫した。				
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずかと一緒に折り込みチラシを配布し、本市における活用状況を市民に周知した。				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						
8. その他特記事項（受益者の反応等）						
イベント開催時の市民アンケートより、「森林は大切だから積極的に関わりたい」という回答を多く得られた。						

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------	-----	-----

事業名	緑に親しむ記念樹配布紙業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
苗木代	サツキとクルメのたまつくり	本	50	2,500	125,000	鈴鹿市産
	ビバーナムスノーポール	本	50	2,500	125,000	鈴鹿市産
	オリーブ	本	50	2,500	125,000	鈴鹿市産
プレート代	木製記念プレート	枚	150	450	67,500	三重県産材
小計					442,500	
消費税及び地方消費税相当額					44,250	10%
合計					486,750	
PRチラシ印刷・折込						
需用費	印刷製本費	式	1		35,858	印刷製本費177,177円 折込手数料109,681円 合計286,858円を事業数で按分
役務費	折込手数料	式	1			
合計					35,858	
合計					522,608	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑に親しむ記念樹配布事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1  
配付の様子



写真2  
森のはたらきパネル展示



写真3  
森のはたらきパネルを見てお勉強



写真4  
森のはたらきパネルを見て親子でお勉強



写真5  
県民税ロゴ入り記念プレート(吊下げ用)を配布



写真6  
アンケート用紙配付の様子

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑に親しむ記念樹配布事業
-----	--------------

7の(2). その他資料

●実施したアンケート用紙



ハローツリー(記念樹)配布事業は、「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。  
 「みえ森と緑の県民税」は、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるために、平成26年4月から三重県が導入した税金です。  
 記念樹の植樹をきっかけに、**緑や木を大切に思う気持ちを醸成し、森林と人々の暮らしとのつながりについて関心を持ち、積極的に森林づくりに関わる人材の増加を目的としています。**

- ☆以下のアンケートの記入にご協力をお願いいたします。(該当する項目に✓をしてください。)
- あなたは「みえ森と緑の県民税」を知っていますか。  
知っている 名前を知っているが内容は分からない 知らなかった
  - あなたは森林についてどのように感じていますか。  
森林は大切だから積極的に関わりたい 森林は大切だから機会があれば関わりたい  
森林は大切だがあまり関わろうとは思わない 森林が大切だとは思わない
  - 普段のあなたの生活における森林との関わりを教えてください。(複数選択可)  
地域の植樹活動や里山整備などに参加している 休日に森林や山とふれあう機会がある  
森林に直接関わることはないが木造や木製品に興味がある 森林と関わりたくない
  - 「県民全体で森林を支える社会づくり」のためにあなたができることは何ですか。(複数選択可)  
木製品などを積極的に活用する 植樹活動や里山保全活動に参加する  
身近にある緑や木を大切に使う 市や県が実施する森林教育に参加する  
緑や森林の大切さを後世に伝える
  - 今回の記念樹配布をきっかけとして、あなたの森林に対する意識に変化はありますか。  
森林づくりに積極的に関わりたい 森林を支えるために自分にできることを探したい  
森林と人々の暮らしが密接に関わっていることを理解した 今までと特に変わらない
  - あなたが記念樹を選心際に重要視する要素は何ですか。(複数選択可)  
病害虫に強い 家の外観に合う、見た目 育てやすさ  
樹種に込められた意味 花、実がなる

●配布したチラシ

**第48回 鈴鹿市 植木まつり**  
 2024 4/12(土)13(日)14(日)15(月)  
 9:00~16:00(最終日は15時まで) ●雨天の場合は  
 場所/鈴鹿フラワーパーク 鈴鹿市加佐堂町1690-1

**植木・花の大即売会**  
 鈴鹿市は全国でも有数の植木産地です。産地直送の安くて新鮮な苗木や鉢物、各種花苗など300種以上が揃います! 苗木について育て方などご相談ください! あなたにぴったりの苗木を提供します!

**お楽しみ抽選会**  
 苗木・花を3,000円以上お買い上げの方

**キッズECOハンギングバスケット作り**  
 4/13(日)14(日) 9:00受付開始 10:30体験開始  
 各日定員30名 対象:小学生

**植木購入券500円プレゼント**  
 4/13(日)14(日) 14:00~配布  
 各日定員50名 対象:中学生以上 ※1,000円以上の苗木、花苗の購入につき1枚使用可

**みり会による植木オークション**  
 4/13(日)14(日) 14:30~

**ハローツリー(記念樹)の配布** 新築・結婚・入学等を迎えた市民に植木の配布  
 この事業は、記念樹の植樹をきっかけに、緑や木を大切に思う気持ちを醸成し、森林と人々の暮らしとのつながりについて関心を持ち、積極的に森林づくりに関わる人材の増加を目的に、「みえ森と緑の県民税」を活用しています。

**対象者** 新築・結婚・入学等を迎えた市民に植木の配布  
**対象者** 鈴鹿市在住で新築、新築、生後1年未満、今年小中学校入学の方。(ご本人様が必要受付までお越しください。ただし、新生児のみ母子手帳の確認で対応可。)

主催/鈴鹿市植木振興会  
 後援/三重県・鈴鹿市・鈴鹿市教育委員会  
 問い合わせ/鈴鹿市環境緑地課 059-382-9017  
 【日時の都合上】フラワーパーク会場 059-387-3455

**ハローツリー(記念樹)の配布** 新築・結婚・入学等を迎えた市民に植木の配布

この事業は、記念樹の植樹をきっかけに、緑や木を大切に思う気持ちを醸成し、森林と人々の暮らしとのつながりについて関心を持ち、積極的に森林づくりに関わる人材の増加を目的に、「みえ森と緑の県民税」を活用しています。

**対象者** 新築・結婚・入学等を迎えた市民に植木の配布  
**対象者** 鈴鹿市在住で新築、新築、生後1年未満、今年小中学校入学の方。(ご本人様が必要受付までお越しください。ただし、新生児のみ母子手帳の確認で対応可。)

# みえ森と緑の県民税

～森林づくりを県民みんなの力で～

**「みえ森と緑の県民税」って何でシカ?**  
平成26年度から、三重県が課税している県民税。この税金を活用して、農と市町が「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいるんだ。

**なぜ「みえ森と緑の県民税」が必要なんでシカ?**  
異常気象や台風の大増えなどにより、土砂崩れなどの災害が発生するの確率が高まっているんだ。その対策として災害のリスクを軽減する森林整備や、それを将来に引き継いでいく社会づくりを行うことが必要なんだ。

**基本方針1 災害に強い森林づくり**

**対策1 土砂や流水による被害を出さない森林づくり**

**対策2 暮らしに身近な森林づくり**

**基本方針2 県民全体で森林を支える社会づくり**

**対策3 森を育む人づくり**

**対策4 森と人をつなぐ学びの場づくり**

**対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり**

鈴鹿市の取組は、裏面で紹介します!

**「みえ森と緑の県民税」の問い合わせ先**

<税のしくみについて>  
三重県 総務部 税収確保課  
TEL 059-224-2128 mail:zeims@pref.mie.jp

<税の使いみちについて>  
三重県 農林水産部 みどり共生推進課  
TEL 059-224-2513 mail:mcdori@pref.mie.jp

## 鈴鹿市が令和6年度に「みえ森と緑の県民税」を活用して市内で実施した事業を紹介します

対策区分	事業名・問い合わせ先	事業内容
対策区分：2 暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る事前伐採事業 (県林水産課 382-9017)	「災害に強い森林づくり」のため、台風などが原因の倒木によりライフライン(電線)を切断する可能性のある倒木を事前に伐採しました。
	暮らしを守る森林保全事業 (県林水産課 382-9017)	海岸部の維持保全、豪雨や台風時としての機能維持、安全・安心な暮らしの確保を目的に、例年虫被害のあった海岸部の伐採を行いました。
対策区分：3 森を育む人づくり	里山保全ボランティア育成事業 (環境教育課 382-9014)	地域の里山・森林づくりを積極的に担う人材を育成するための「里山保全基礎講座」を開催しました。また、里山保全への興味を多くの方に持ってもらうために「里山保全体験」を実施しました。
	緑に親しみ記念品配布事業 (県林水産課 382-9017)	身近にある緑や木に思いを込めたい。贈り物や記念品などの贈り物を送るのに困る。市庁舎で育てられた緑木を記念品として配布しました。
	森と緑の生涯学習講座 (地域振興課 382-8695)	市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者を対象に、夏休みに利用した木工工作、フィールドワーク、木のにおいを感じるなどの森林環境学習を行いました。
対策区分：4 森と人をつなぐ学びの場づくり	鈴鹿市立白子中学校図書型木製品設置及び森林教育推進事業 (学校教育課 382-7618)	図書館に三重県産木材を使用した机や椅子を設置し、森林や木材とふれあう木の場を整備しました。
対策区分：5 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林・竹林環境保全促進事業 (市林水産課 382-9025)	森林・竹林環境の保全を目的とした伐採等で生じた倒木をチップ化する倒木処理機を購入しました。
	緑と人をつなぐ長たの大樹再生プロジェクト (文化財課 382-9031)	長文の大樹の樹幹空洞を目的として、倒木処理や土壌改良などを行っています。
	ふるさとの木(名木古木)保存活用事業補助事業 (文化財課 382-9031)	ふるさとの木(市庁舎の天然記念物や地域特産品のシンボルとなっている樹木・古木等)の樹木剪定や倒木処理などを実施するための経費を補助しました。

令和7年度においても「みえ森と緑の県民税」を活用し、地域の実情に応じて創設した森林づくりや緑と連携した災害に強い森林づくり等の事業を実施していきます。以下がイメージのとおり展示が実施される「森林環境教育館」です。展示をぜひご覧ください。展示は令和7年度に実施予定です。

●展示の場分けイメージ

展示の場分け	みえ森と緑の県民税(県税)	森林環境教育館(国税)
森林整備	災害に強い森林づくり 樹木害虫の駆除や倒木処理等の森林管理、ライフラインの保護、海岸部の森林の保全など	林業振興に絡まない森林の整備 県民の森林利用の促進や森林の整備
人材育成	森を育む人づくり 県民の森林利用の促進や森林の整備、森と人をつなぐ学びの場づくり	地域の若い世代 県民の森林利用の促進や森林の整備
緑地管理	緑と人をつなぐ学びの場づくり 県民の森林利用の促進や森林の整備	公共施設等の整備 本館を、県民の森林利用の促進や森林の整備
木材利用		

## 令和6年度「記念樹配布事業」に係る市民アンケート結果

実施年月日：令和6年4月12、13、14、15日

実施場所：鈴鹿フラワーパーク 「植木まつり」会場

1 あなたは「みえ森と緑の県民税」を知っていますか。

回答	人数 (人)	割合 (%)
1 知っている	20	13.3
2 名前は知っているが内容は分からない	37	24.7
3 今回初めて知った	88	58.7
4 未回答	5	3.3

n = 150

2 あなたは森林についてどのように感じていますか。

回答	人数 (人)	割合 (%)
1 森林は大切だから積極的に関わりたい	43	28.7
2 森林は大切だから機会があれば関わりたい	96	64.0
3 森林は大切だけどあまり関わろうとは思わない	6	4.0
4 森林が大切だとは思わない	0	0.0
5 未回答	5	3.3

n = 150

3 普段のあなたの生活における森林との関わりを教えてください。

回答	人数 (人)	割合 (%)
1 地域の植樹活動や里山整備などに参加している	6	4.0
2 休日に森林や山とふれあう機会がある	36	24.0
3 森林に直接関わることはないが木造や木製品に興味があ	60	40.0
4 森林と関わることはない	40	26.7
5 未回答	8	5.3

n = 150

4 「県民全体で森林を支える社会づくり」のためにあなたができることは何ですか。（複

回答	人数 (人)	割合 (%)
1 木製品などを積極的に活用する	47	31.3
2 植樹活動や里山保全活動に参加する	8	5.3
3 身近にある緑や木を大切にする	103	68.7
4 市や県が実施する森林教育に参加する	19	12.7
5 緑や森林の大切さを後世に伝える	37	24.7
6 未回答	6	4.0

n = 150

5 今回の記念樹配布をきっかけとして、あなたの森林に対する意識に変化はありますか。

回答	人数 (人)	割合 (%)
1 森林づくりに積極的に関わりたい	38	25.3
2 森林を支えるために自分にできることを探したい	68	45.3
3 森林と人々の暮らしが密接に関わっていることを理解し	30	20.0
4 今までと特に変わらない	9	6.0
5 未回答	5	3.3

n = 150

6 あなたが記念樹を選ぶ際に最も重要視する要素は何ですか。

回答	人数 (人)	割合 (%)
1 病虫害に強い	62	41.3
2 家の外観に合う, 見た目	76	50.7
3 育てやすさ	104	69.3
4 樹種に込められた意味	24	16.0
5 花, 実がなる	41	27.3
6 未回答	6	4.0

n = 150



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
6	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業				
事業費	4,765,857 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,765,857		

1. 事業の目的

鈴鹿市立白子中学校の校舎改修に伴い、リニューアルされる図書室用の机と椅子に、三重県産の木材を使用することで、温かみがあり、親しみやすい図書室にする。また、生徒にとって木製品に触れることで、林業やものづくりへの関心を高める機会とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

三重県産木材を使用した図書室用の机と椅子の導入

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

【実施個所及び箇所数】

鈴鹿市立白子中学校

【事業量】

机7台 椅子42脚

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

図書室に木製品を導入することにより、森林や木材とふれあう場を創出し、木材製品もつの価値や魅力の実感に繋がる。また、木材製品と身近にふれあうことで、ものづくりへの興味・関心に繋がり、将来の進路選択にも繋がる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

社会の授業で、三重県の林業の現状や課題を学び、中学生の視点から課題解決するためのグループワークを行い、森林を支える社会づくりの取組を実施する。

【新たな対策・視点及び改善点】

1人ひとりができる身近にできる森林を守るための取組を考え、グループワークを通じて意見を交換しあい、中学生からできる森林づくりについて考えた。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
6	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業					
事業費	4,765,857 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,765,857			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

主に、令和6年度鈴鹿市物件関係入札資格を有し、特注家具の登録があり製作実績を有する県内業者を一般競争入札により決定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者1,011人（令和6年5月1日現在の生徒数918人+教職員数93人）
期待する波及効果	他の教室においても木材製品の設置を検討するという波及効果が期待できる

【公的関与の必要性】

多様なニーズへ対応し、更なる教育環境の充実を図るため、市による対応が必要と考える。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

机や椅子は毎日使用するため、清掃等、定期的にメンテナンスを行い、学校を中心とした維持管理に努める。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示（シール・プレート等）	実施後	設置された木製品にみえ森と緑の県民税を活用した事業である標識プレートを設置
学校だより等掲載	実施後	学校だよりに掲載し、保護者へ対しても周知した。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずかと一緒に折り込みチラシを配布し、本市における活用状況を市民に周知した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市
------	-------------------	-----	-----

事業名	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業
-----	------------------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
白子中学校	三重県産木製机	台	7	255,000	1,785,000	
白子中学校	三重県産木製椅子	脚	42	59,600	2,503,200	
白子中学校	プレート代	式	1	11,800	11,800	
小計					4,300,000	
消費税及び地方税相当額					430,000	10%
合計					4,730,000	
PRチラシ印刷・折込						
需用費	印刷製本費	式	1		35,857	印刷製本費177,177円 折込手数料109,681円 合計286,858円を事業数で按分
役務費	折込手数料	式	1			
合計					35,857	
合計					4,765,857	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業
-----	------------------------------

7の(1). 写真



写真1  
三重県の林業についての学習の様子



写真2  
グループワークの様子①



写真3  
グループワークの様子②



写真4  
三重県産の机と椅子



写真5  
焼印プレート



写真6

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業
-----	------------------------------

7の(2). その他資料

●折り込みチラシ

**「みえ森と緑の県民税」の問い合わせ先**

<税のしくみについて>  
三重県 総務部 税収確保課

<税の使いみちについて>  
三重県 農林水産部みどり共生推進課

TEL 059-224-2128 mail zeimu@pref.mie.jp.jp  
TEL 059-224-2513 mail midori@pref.mie.jp.jp

**鈴鹿市が令和6年度に「みえ森と緑の県民税」を活用して市内で実施した事業を紹介します**

対策区分	事業名・問合せ先	事業内容
対策区分：2 暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る 事前伏撃事業 (農林水産課 382-9017)	「災害に強い森林づくり」のため、台風などが原因の倒木によりライフライン（電線）を寸断する可能性がある倒木を事前に伏撃しました。
	暮らしを守る森林保全事業 (農林水産課 382-9017)	海岸部の地味保全、暴風や放火防止としての機能維持、安全、安心な暮らしの確保を目的に、既蓄虫被害のあった海岸部の伐倒を行いました。
対策区分：3 森を育む人づくり	嵐山保全ボランティア育成事業 (環境教育課 382-9014)	地域の嵐山・森林づくりを積極的に担う人材を育成するための「嵐山保全基礎講座」を開催しました。また、嵐山保全への興味を多くの若手に持ってもらうために「嵐山保全体験」を実施しました。
	緑に親しむ記念館配布事業 (農林水産課 382-9017)	身近にある緑や木を大切に思う意識付けをするため、新築や新入居などの節目を記念した市民に対して、本市で生産された緑木を記念品として配布しました。
	森と緑の生涯学習講座 (地域振興課 382-8695)	市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者も対象に、歴史村も利用した木工体験、フィールドワーク、木のにおいにも触れるなどの森林環境学習を行いました。
対策区分：4 森と人をつなぐ学びの場づくり	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業 (学校総務課 382-7618)	図書室に三重県産木材を使用した机や椅子を設置し、森林や木材とふれあう木の場を確保しました。
対策区分：5 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林・竹林環境保全促進事業 (市地域整備課 382-9025)	森林・竹林環境の保全を目的とした伐採等で行った倒木をチップ化する倒木処理機を購入しました。
	緑と人をつなぐ長木の大切再生プロジェクト (文化財課 382-9031)	長木の大切の役割回復を目指して、倒木処理や土壌改良などを行っています。
	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業 (文化財課 382-9031)	ふるさとの木（市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている倒木・倒木群）の倒木処理や倒木活用などを実施するための経費を補助しました。

●経費の積み上げイメージ

経費の項目	みえ森と緑の県民税(県税)	森林環境広域税(国税)
森林整備	—	林業振興に資しない森林の整備 例) 森林整備推進課に属する伐倒等
人財育成	災害に強い森林づくり 例) 防災訓練、防災訓練(倒木処理体験、ライフラインの確保、避難訓練)の開催など	森林の若い世代 例) 森林学校、森林ボランティアにおける若年層の育成
普及啓発	森を育む人づくり 例) 森林ボランティア育成講座、森林学校、森林ボランティア育成講座など	—
木材利用	暮らしに身近な森林づくり 例) 緑の記念館、緑の記念館の配布、ふるさとの木(名木古木)の倒木処理や倒木活用など	—
その他	—	—



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
7	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業				
事業費	2,375,857 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,375,857		

1. 事業の目的

衰退の兆候が見られる市内にある天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木について、所有者（地元住民）自身が主体的に樹木健康診断や樹勢回復等を行うことで、地域の森林及び樹木とふれあう場を創出することを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

ふるさとの木（市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木及び樹木群）の所有者等が樹木診断及び樹木治療等を実施するための経費に対し補助することで、ふるさとの木の所有者等の主体的に保存する行動につなげる。また、地域のシンボルとして地域の様々な世代が地域の森林や樹木とふれあう場を提供し、地域全体で緑を守り育てる意識を醸成し、地域の宝として、大切に活動へとつなげていく。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

ふるさとの木の所有者

【実施個所及び箇所数】

地蔵大マツ（南玉垣町）、稲生山の躑躅（稲生西）、アイナシ（国附町） 計3箇所

【事業量】

樹勢回復作業（地蔵大マツ、アイナシ）、伐採作業（稲生山の躑躅）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

事業実施当日は、所有者や地元の方を含め、多くの方が見守る中実施された。本樹木を中心とした本事業を実施するにあたり、市政記者クラブへ情報提供したことで、新聞やケーブルテレビ局による取材もあり、本樹木の地域における重要性を再確認するとともに、所有者及び地元の方に対し、樹木医から本樹木の状況や森林の持つ多面的機能についても説明し、学ぶ機会を提供することができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

各種メディアへの情報発信を行い、広く県民に関心をもってもらう。

【新たな対策・視点及び改善点】

各樹木とも継続し剪定、消毒などの処置が必要である。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
7	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業					
事業費	2,375,857 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,375,857			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	3/4以内	2,000,000	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

地蔵大マツは、所有者である西玉垣町自治会が、積極的に樹勢回復事業に関わってきたが、近年枝の折れが連続して発生し、枝を支える強度の低下等が懸念され、ケーブリングや枝の切断等の処置をしてきた。

しかし、地蔵大マツの自重により、東西に大きな亀裂が自然発生し、樹体に傾斜が生じ、倒壊の危機となっている。そのため、かねてから検討していた支柱の設置により倒壊による危険回避及び保護を図ることが必要と判断した。この理由により選定した。

稲生山の躑躅は、ツツジの樹勢衰弱の要因となっている日照障害木を伐採し、躑躅の生育環境の改善整備が必要であり、山林管理及び倒木による線路への被害を防止する必要がある。以前から地元から要望があり、近年の気候変動や台風の影響等から倒木の可能性が高く、線路への影響等から緊急性が高いと判断し、以上の理由により選定した。

アイナシは、赤星病菌、同枯病菌による被害、また、アブラムシ類、シンクイムシ類による被害が顕著に表れ、樹勢が衰え、枯れ幹、枯れ枝が至るところで見受けられるようになったため、複数回の消毒、複数の薬剤を使い病害虫の防除を継続し行う必要がある。また、枯死などした枝は落下の危険性があり、樹勢回復を阻害するため必要箇所での剪定が必要となると判断し、以上の理由により選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	鈴鹿市民
期待する波及効果	鈴鹿市の誇る樹木を、市民から県民へと口伝などで波及することが期待できる。

【公的関与の必要性】

樹木所有者の負担のみで、公財産でもある指定文化財を保護することは、経済的にも人的にも非常に困難であり、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

日常管理を含め、所有者が管理していく。なお、県指定天然記念物であることから、転用しない。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
7	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業					
事業費	2,375,857 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,375,857			

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中・後	敷地内看板に、県民税事業であることを記載し、周知した。
その他	実施前・中・後	所有者である自治会の役員に対し、実施前及び実施中に本事業が県民税を活用し、実施していることを説明した。
その他	実施前・中・後	事業実施前に市政記者クラブに本事業の実施について記者提供した。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずかと一緒に折り込みチラシを配布し、本市における活用状況を市民に周知した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

昔から親しみがあり、地域に愛される樹木のため、保全活用事業への注目度は高くなっている。

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市
------	--------------------	-----	-----

事業名	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業
-----	------------------------

4. 効率性：主な経費内訳

地蔵大松

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
樹勢回復作業	基礎設置工事	式	1.00	353,000	353,000	
樹勢回復作業	筋交い設置工事	式	1.00	860,000	860,000	
樹勢回復作業	諸経費	式	1.00	145,000	145,000	
樹勢回復作業	樹木医費用	式	1.00	480,000	480,000	
小計					1,838,000	
消費税及び地方消費税相当額					183,800	
合計					2,021,800	
樹勢回復作業	補助事業				1,516,000	合計額の4分の3以内

稻生山の躑躅

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐採作業	伐採作業	式	1.00	750,000	750,000	
伐採作業	諸経費	式	1.00	192,000	192,000	
小計					942,000	
消費税及び地方消費税相当額					94,200	
合計					1,036,000	
伐採作業	補助事業				777,000	合計額の4分の3以内

アイナシ

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
樹勢回復作業	枝除去作業	式	1.00	15,000	15,000	
樹勢回復作業	消毒作業	式	1.00	25,000	25,000	
樹勢回復作業	高所作業車	式	1.00	12,000	12,000	
樹勢回復作業	諸経費	式	1.00	6,000	6,000	
小計					58,000	
消費税及び地方消費税相当額					5,800	
合計					63,800	
樹勢回復作業	補助事業				47,000	合計額の4分の3以内

PRチラシ印刷・折込						
需用費	印刷製本費	式	1.00		35,857	印刷製本費177,177円 折込手数料109,681円 合計286,858円を事業数で按分
役務費	折込手数料	式	1.00			
合計					35,857	
合計					2,375,857	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業
-----	------------------------

7の(1). 写真



写真1  
地蔵大マツ 全景(作業前)



写真2  
支柱設置作業



写真3  
県民税の表示



写真4  
支柱設置完了



写真5



写真6

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業
-----	------------------------

7の(1). 写真

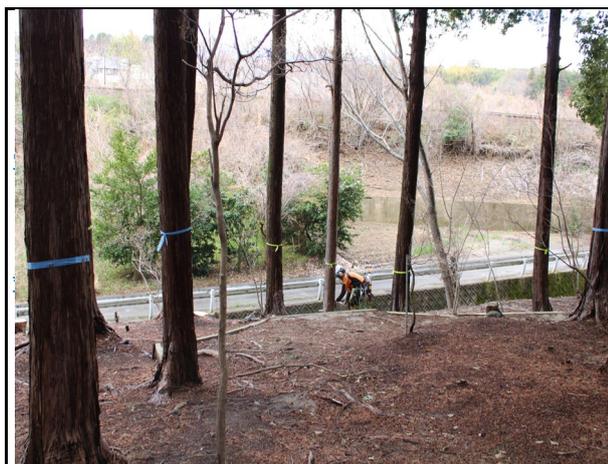


写真1  
樹木の伐採作業

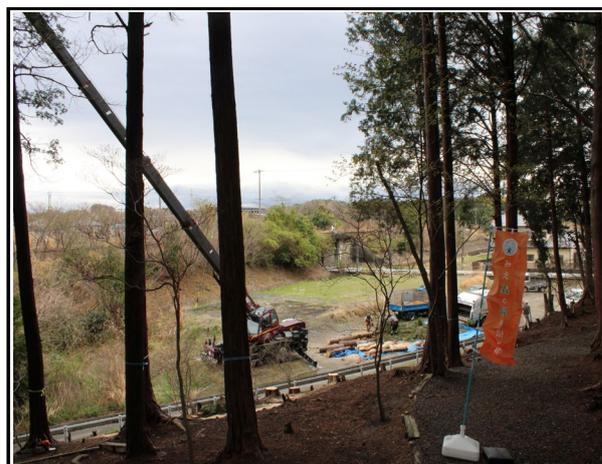


写真2  
県民税の表示



写真3



写真4

写真3

写真4



写真5



写真6

写真5

写真6

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業
-----	------------------------

7の(1). 写真



写真1  
除去した枝



写真2  
消毒作業



写真3  
県民税の表示



写真4



写真5



写真6

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業
-----	------------------------

7の(2). その他資料

●折り込みチラシ

**「みえ森と緑の県民税」の問い合わせ先**

<税のしくみについて>  
三重県 総務部 税収確保課

<税の使いみちについて>  
三重県 農林水産部みどり共生推進課

TEL 059-224-2128 mail zeimu@pref.mie.jp.jp

TEL 059-224-2513 mail midori@pref.mie.jp.jp

**鈴鹿市が令和6年度に「みえ森と緑の県民税」を活用して市内で実施した事業を紹介します**

対策区分	事業名・問合せ先	事業内容
対策区分：2 暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る 事前伐採事業 (農林水産課 382-9017)	「災害に強い森林づくり」のため、台風などが原因の倒木によりライフライン（電線）を寸断する可能性がある倒木を事前に伐採しました。
	暮らしを守る森林保全事業 (農林水産課 382-9017)	薄岸町の地味保全、豪雨や台風などの機能維持、安全、安心な暮らしの確保を目的に、河原田地区のあった薄岸町の伐倒を行いました。
対策区分：3 森を育む人づくり	嵐山保全ボランティア育成事業 (環境教育課 382-9014)	地域の嵐山・森林づくりを積極的に担う人材を育成するための「嵐山保全基礎講座」を開催しました。また、嵐山保全への興味を多くの若手に持つため「嵐山保全体験」を実施しました。
	緑に親しむ記念樹配布事業 (農林水産課 382-9017)	身近にある緑や木を大切に思う意識付けをするため、新築や新入学などの節目を記念した市民に対して、本市で生産された苗木を記念樹として配布しました。
	森と緑の生涯学習講座 (地域振興課 382-8695)	市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者も対象に、歴史村も利用した木工体験、フィールドワーク、木のにおいなどに触れるなどの森林環境学習を行いました。
対策区分：4 森と人をつなぐ学びの場づくり	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業 (学校教育課 382-7618)	図書室に三重県産木材を使用した机や椅子を設置し、森林や木材とふれあう木の場を整備しました。
対策区分：5 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林・竹林環境保全促進事業 (市環境整備課 382-9025)	森林・竹林環境の保全を目的とした伐採等で行った倒木をチップ化する倒木処理機を購入しました。
	緑と人をつなぐ長木の大型再生プロジェクト (文化財課 382-9031)	長木の大型の倒木処理を目的として、倒木処理や土留改良などを行っています。
	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業 (文化財課 382-9031)	ふるさとの木（市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている倒木・倒木幹）の樹木診断や樹木治療などを実施するための経費を補助しました。

●経費の積み上げイメージ

経費の項目	みえ森と緑の県民税(県税)	森林環境広域税(国税)
森林整備	—	林業振興に資しない森林の整備 例) 森林整備推進課に属する伐採事業
人財育成	災害に強い森林づくり 事前伐採、災害発生時の倒木処理、ライフラインの保護、環境教育の推進など	—
普及啓発	森を育む人づくり 環境教育課が実施する森林環境教育講座、講座などで学ぶボランティア育成事業	森林の若い世代 例) 公民館、児童センターにおける体験学習
木材利用	森と人をつなぐ学びの場づくり 図書室や学校などに学ぶふれあう木の場を整備するための経費	—
	—	公共建築物等の木造・木質化 例) 公共建築物に木造・木質化の木材を大規模に購入

## 令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
8	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト				
事業費	1,295,857 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,295,857		

## 1. 事業の目的

地域緑化のシンボルとなっている長太の大楠（なごのおおくす）は、近年、周辺環境の変化や塩害、落雷等の影響により衰退の兆候が見られてきた。地域住民から愛され、市のランドマークでもある長太の大楠の樹木健康診断や樹勢回復等を行うことで、身近な樹木に対する関心をさらに高め、将来にわたって地域で森林環境教育を行う学びの場となることを目的とする。

## 2. 事業実績概要

## 【事業内容】

長太の大楠に樹木診断及び樹木治療等を実施することで、地域の様々な世代が地域の樹木に関心を持ち、地域全体で緑を守り育てる意識を醸成し、保全する活動へとつなげていく。

## 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿市

## 【実施個所及び箇所数】

1か所

## 【事業量】

土壌改良 40m<sup>3</sup>

## 3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

## 【事業実施により期待される効果】

本樹木を中心とした本事業を実施するにあたり、市政記者クラブへ情報提供したことで、新聞による取材もあり、本樹木の地域における重要性を再確認できた。また、地域の方に対し、樹木医から本樹木の状況について説明し、学ぶ機会を提供することができた。

## 【効果を発揮させるための工夫・取組】

本事業を実施する前に、地域の小学校で、地元保存会と樹木医による樹木環境教育を行い、本樹木に対する関心を高めることができた。

## 【新たな対策・視点及び改善点】

継続した樹勢回復事業の実施により、わずかずつ回復傾向ではあるが、今後も枯枝の剪定や土壌改良、病虫害の対策のための消毒が必要となる。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
8	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト					
事業費	1,295,857 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,295,857			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

高い専門性をもった樹木医による適切な樹勢回復措置が必要であるため、委託事業は適切である。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	樹木の保存活用にかかる取組に関わった地域の児童・生徒並びに地域住民
期待する波及効果	当該樹木を地域の宝として守ろうとする意識を高めることができる。

【公的関与の必要性】

市が管理団体に指定されているため適切

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

日常管理については、保存会が管理していく。なお、県指定天然記念物であることから、転用されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	敷地内にのぼりを設置し、県民税事業であることを記載し、周知した。
その他	実施前・中・後	事業実施前に市政記者クラブに本事業の実施について記者提供し、当日の取材を受け、後日掲載された。
広報誌掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した事業について、広報すずかと一緒に折り込みチラシを配布し、本市における活用状況を市民に周知した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

長太小学校の生徒に対して樹木医より授業が行われたり、地域のイベントが開催されたりと、地域で積極的に利用され、地域のシンボルとなっている大楠の再生には、注目が集まっている。

第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市
------	--------------------	-----	-----

事業名	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト
-----	---------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
土壌改良		回	1	649,800	649,800	税込み
調査・報告		回	1	610,200	610,200	税込み
合計					1,260,000	税込み

PRチラシ印刷・折込						
需用費	印刷製本費	式	1		35,857	印刷製本費177,177円 折込手数料109,681円 合計286,858円を事業数で按分
役務費	折込手数料	式	1			
合計					35,857	

合計 1,295,857

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト
-----	---------------------

7の(1). 写真



写真1  
・ 土壌改良作業



写真2  
県民税の表示



写真3  
テレビ局(NHK)取材の様子



写真4



写真5



写真6

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	鈴鹿市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト
-----	---------------------

7の(2). その他資料

●折り込みチラシ

**みえ森と緑の県民税**  
～森林づくりを県民みんなの力で～

**「みえ森と緑の県民税」って何でシカ?**  
平成26年度から、三重県が課税している税金だよ。この税金を活用して、県と市町村が「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」に取り組んでいるんだ。

**なぜ「みえ森と緑の県民税」が必要なんでシカ?**  
異常気象や社会の大変化などにより、土砂崩れなどの災害が発生する危険性が高まっているんだ。その対策として災害のリスクを軽減する森林整備や、それを契機として引き継いでいく社会づくりを行うことが必要なんだ。

**基本方針1 災害に強い森林づくり**

対策1 土砂や洪水による被害を出さない森林づくり

対策2 暮らしに身近な森林づくり

**県民全体で森林を支える社会づくり**

対策3 森を育む人づくり

対策4 森と人をつなぐ学びの場づくり

対策5 地域の身近な水や緑の環境づくり

鈴鹿市の取組は、裏面で紹介します！

**「みえ森と緑の県民税」の問い合わせ先**

<税のしくみについて>  
三重県 総務部 税収確保課

<税の使いみちについて>  
三重県 農林水産部 みどり共生推進課

TEL 059-224-2128 mail zeimu@pref.mie.jp

TEL 059-224-2513 mail midori@pref.mie.jp

鈴鹿市が令和6年度に「みえ森と緑の県民税」を活用して市内で実施した事業を紹介します

対策区分	事業名・問合せ先	事業内容
対策区分：2 暮らしに身近な森林づくり	災害からライフラインを守る 事前伐採事業 (農林水産課 382-9017)	「災害に強い森林づくり」のため、台風などが原因の倒木によりライフライン（電線）を寸断する可能性のある倒木を事前に伐採しました。
	暮らしを守る森林保全事業 (農林水産課 382-9017)	海岸部の地味保全、暴風や台風などの機能維持、安全、安心な暮らしの確保を目的に、河原自然豊かな緑の帯の伐採を行いました。
対策区分：3 森を育む人づくり	嵐山保全ボランティア育成事業 (環境教育課 382-9014)	地域の嵐山・森林づくりを積極的に担う人材を育成するための「嵐山保全基礎講座」を開催しました。また、嵐山保全への興味を多くの市民に持ってもらうために「嵐山保全体験」を実施しました。
	緑に親しむ記念樹配布事業 (農林水産課 382-9017)	身近にある緑や木を大切に思う意識付けをするため、新築や新入居などの節目を記念した市民に対して、本市で生産された苗木を記念樹として配布しました。
	森と緑の生涯学習講座 (地域振興課 382-8695)	市内の公民館で、小学生を中心とした子どもと保護者も対象に、歴史村も利用した木工体験、フィールドワーク、木のにおいも楽しむなどの森林環境学習を行いました。
対策区分：4 森と人をつなぐ学びの場づくり	鈴鹿市立白子中学校図書室用木製品設置及び森林教育推進事業 (学校教育課 382-7618)	図書室に三重県産木材を使用した机や椅子を設置し、森林や木材とふれあう木の場を整備しました。
対策区分：5 地域の身近な水や緑の環境づくり	森林・竹林環境保全促進事業 (市営地産課 382-9025)	森林・竹林環境の保全を目的とした伐採等で行った苗木をチップ化する苗木処理機を購入しました。
	緑と人を育む長太の大楠再生プロジェクト (文化財課 382-9031)	長太の大楠の自然環境を旨として、苗木治療や土壌改良などを行っています。
	ふるさとの木（名木古木）保存活用事業補助事業 (文化財課 382-9031)	ふるさとの木（市内の天然記念物や地域緑化のシンボルとなっている樹木・古木等）の苗木移植や苗木治療などを実施するための経費を補助しました。

●緑の場あけイメージ

緑の場あけイメージ	みえ森と緑の県民税(県税)	森林環境広域税(国税)
山	—	林業振興に資しない森林の整備 林業振興に資しない森林の整備 林業振興に資しない森林の整備
森林整備	災害に強い森林づくり 土砂災害防止のための森林整備、ライフラインの保護、河川沿いの緑化など	—
人材育成	森を育む人づくり 森林環境保全推進事業の参加者育成講座、森林ボランティア育成講座	—
緑と人をつなぐ学びの場づくり	森と人をつなぐ学びの場づくり 森林環境保全推進事業の参加者育成講座、森林ボランティア育成講座	—
水	—	—

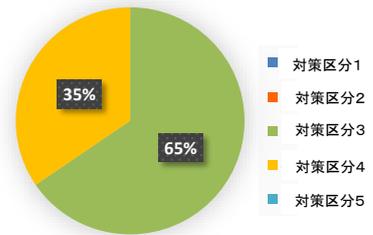
# 龜 山 市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	亀山市	三重県
人口（人）	49,438	1,716,617
年少人口割合（％）*1	12.1%	11.4%
森林面積(ha)	12,012.75	371,680.22
民有林面積(ha)*2	11,659.13	348,212.01
森林率(%)	63%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	13.4	10.7

対策区別事業費割合



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	森と木材のふれあい事業 （森林づくり協議会）	1,033,564	1,000,000			1,000,000			
2	3	森と木材のふれあい事業（森の講座）	498,300	498,300			498,300			
3	3	森と木材のふれあい事業 （竹あかり製作）	4,840,000	4,840,000			4,840,000			
4	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）	305,470	305,470				305,470		
5	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）	938,322	938,322				938,322		
6	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）	1,298,000	1,298,000				1,298,000		
7	4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）	803,000	803,000				803,000		
計			9,716,656	9,683,092	0	0	6,338,300	3,344,792	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市は、北勢地域随一の林業地帯として古くからスギ・ヒノキを主とした人工林の整備が進められ、良質な木材の生産・供給が行われてきました。しかし、林業を取り巻く情勢は厳しく、採算性の悪化、高齢化等による担い手不足のため、放置される森林が増加したことで森林の機能低下が進んでいます。このため、既存の財源を活用し、林業生産活動の支援や地域材を活用した商品を「亀山ブランド」として認定することで森林整備や地域材の利用促進に取り組んでいます。今後も、森林の有する様々な働きを発揮させるための森林整備や地域材の利用を促進するためには、市民の森林に対する理解と関心を深めることが大切です。このことから、県民税を活用し、森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることや、暮らしに身近な森林整備を進め、地域の生活環境の向上を図ります。

#### 事業実施により期待される効果

- ・協議会が工夫を凝らしイベントや講座を開催することで多様な参加者が森林とふれあう場を提供できる。
- ・森林や木材について学び、ふれあい、親しむ環境をつくることで市民の森林に対する理解と関心を深める。
- ・森林公園やまびこの施設整備等を行うことで、子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができることと、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を提供できる。
- ・亀山市産の竹あかりを通じて、地域住民が竹の魅力に触れることをきっかけに、荒廃しつつある竹林の現状に対する問題意識を高める。
- ・鈴鹿峠自然の家、総合保健福祉センターに三重県産材を使用した備品を導入、また関認定こども園アスレに三重県産材を使用したキッズハウスを設置することで自然の恵みを体感し、森林づくりへの意識の醸成につながる。

#### 情報発信への取組

- ・事業実施時に看板やのぼり旗の掲示、パネル展示、HPや市広報紙の掲載
- ・事業実施時にパンフレットや啓発物品を配付し県民税の説明を行う
- ・イベント時に県民税ロゴマークを表示したスタッフベストを着用し活動
- ・導入木製品に県民税ロゴマークの焼印やシールを添付し、事業終了後も市民の目に触れ県民税を周知できるようにする。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	4,565	4,565
2	① 意向調査の準備作業	18,367	18,367
3	③ 私有林整備	13,189	13,189
4	③ 私有林整備	8,976	8,976
5	③ 私有林整備	102	102
6	⑩ 専門員の雇用	4,052	4,052
7	⑤ 森林保護対策	3,000	3,000
8	⑦ その他（森林整備）	511	511
	合計	52,762	52,762



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）					
事業費	1,033,564 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,000,000		33,564	

1. 事業の目的

地域の宝である「地域資源（森林等）」をみんなで守るため、多様な主体が森林とふれあう場を創出することで地域の宝を見直し、次世代につなげる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

協議会が加太地区、坂下地区や野登地区でイベントや講座などを開催することで、森林や農地、自然保全活動に繋げる。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

鈴鹿川等源流の森林づくり協議会

【実施個所及び箇所数】

- ・ 亀山市内3地区（加太地区、坂下地区、野登地区）
- ・ 亀山市役所、大台町 計5箇所

【事業量】

【3地区イベント】

- ①第8回サマーフォレスト＜山の日に坂下の森と鈴鹿川を体験＞（坂下地区）  
開催日：令和6年8月11日(日) 開催場所：坂下地区内 参加人数：10組28名
- ②ぶらりまち歩き＜加太で製材工場見学とものづくり編＞（加太地区）  
開催日：令和6年9月7日(土) 開催場所：加太地区内 参加人数：11組22名
- ③野登山山頂保全イベント＜約400年生きている地元の杉に会いに行こう！＞（野登地区）  
開催日：令和6年11月2日(土) 開催場所：野登地区コミュニティセンター参加人数：17名

【鈴鹿川等源流の森林づくり講座】

- ④＜防鹿柵に関する知識や設置方法＞開催日：令和6年9月20日(土)・21日(日) 開催場所：野登山山頂／野登地区コミュニティセンター 参加人数：20名
- ⑤＜大台町視察：シカ対策の効果および森林の保全と活用について＞開催日：令和6年11月14日(木) 開催場所：大台町 参加人数：18名
- ⑥12/7防鹿柵の設置 9名 12/14 柵の維持状態確認 3名（野登山山頂付近）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

産・学・民・官にて構成する協議会が森林づくりや地域資源保全活動を行うことから、多種多様な方々が参加することで、参加者が森林の大切さなどをさらに多くの方に伝えられる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

源流3地区で関係性を深めるため、自治会やまちづくり協議会との対話や取り組みを進めた。

【新たな対策・視点及び改善点】

講座で学ぶばかりでなく足を運び手を出す参加を促し、課題や失敗を改善するPDCAサイクルを行い源流域の森林づくりについて具体策を講じていく。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）					
事業費	1,033,564 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,000,000		33,564	
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】						
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】						
	①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
	負担金	活動団体	10/10以内			
【委託先及び補助対象者等の選定理由】						
鈴鹿川等源流の森林づくり構想を実現するための事業を実施する鈴鹿川等源流の森林づくり協議会を選定。						
【主な経費内訳】						
(別紙のとおり)						
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】						
【受益者及び、期待する波及効果】						
	受益者	イベント参加者総計 117人				
	期待する波及効果	参加者が森林の大切さなどを多くの方に伝えられる。				
【公的関与の必要性】						
森林保全の大切さや方法に関する取組を広く県民に推進するため。						
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】						
転用が想定されない。						
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】						
【情報発信の内容】						
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）				
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施中	・ 県民税ロゴマークを表示したスタッフベストを着用し活動				
啓発物品配布	実施中	・ 毎回県民税のパンフレット、クリアファイル等を配布 ・ 県民税鉛筆を配布してアンケートを記入いただいた				
のぼり設置	実施中	・ イベント開催時にのぼりを設置				
パネル展示	実施中	・ 亀山大市でパネルの展示/アンケートの実施				
TV（行政チャンネル等）	実施中	・ ZTVの取材（1件）伊勢新聞（1件）				
7. 写真及びその他資料						
別紙のとおり						

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名						
1	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）						
事業費	1,033,564 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			1,000,000		33,564		
8. その他特記事項（受益者の反応等）							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業研究会で朝伐出していただいたヒノキの皮むきをした帰り道に親子で「あー楽しかった！」と会話されていたのが印象的だった。</li> <li>・ 魚と子どものネットワークによる鈴鹿川での魚の観察では子どもたちから多くの質問が出た。</li> <li>・ 加太地区のまち歩きと製材所の見学ではアンケートで「製材所の職員の木や森に対する想いに感動した」という感想が複数あった。また、地元の林業関係者同士の交流の場にもなっていた。</li> <li>・ シカ対策中心の鈴鹿川等源流の森林づくり講座では、ふだんからシカの被害に困っている方々から多くの質問があった。また、防鹿柵の設置を体験し、網目の大きさや支柱の立て方など多くの試行錯誤のあとと工夫があることに感嘆されていて、田んぼでも参考にしたいとのことだった。</li> <li>・ 野登山山頂での森林教育イベントは、午前に指導者の養成、午後参加者を迎えるの实践という企画であったが雨天のため現地で実施できず、指導者からも参加者からも残念であるとのお声をいただいている。</li> </ul>							

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市
------	-------------	-----	-----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

4. 効率性：主な経費内訳

①[8/11坂下地区イベント]第8回サマーフォレスト

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	コーディネイター／講師代	人	1	10,000	10,000	魚と子どものネットワーク
委託費	スタッフ代	人	15	4,000	60,000	魚と子どものネットワーク
委託費	亀山市林業研究会木材運搬費等	式	1	50,000	50,000	魚と子どものネットワーク
委託費	企画／下見／打ち合わせ等事前準備	人日	5	4,000	20,000	魚と子どものネットワーク
委託費	広報費（案内チラシ作成など）	式	1	10,000	10,000	魚と子どものネットワーク
委託費	撮影／編集費	式	1	30,000	30,000	魚と子どものネットワーク
委託費	事務経費	式	1	18,000	18,000	魚と子どものネットワーク
			小計		198,000	
			消費税及び地方税相当額		19,800	
			①合計		217,800	

②[9/7加太地区イベント]ぶらりまち歩き<加太で製材工場見学とものづくり編>

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	運営スタッフ代（当日／事前準備含む）	人	5	15,000	75,000	三栄林産株式会社
委託費	木工材料費	個	15	2,000	30,000	三栄林産株式会社
委託費	動画撮影／編集	式	1	30,000	30,000	三栄林産株式会社
委託費	チラシ製作費	式	1	10,000	10,000	三栄林産株式会社
委託費	諸経費	式	1	14,500	14,500	三栄林産株式会社
			小計		159,500	
			消費税及び地方税相当額		15,950	
			②合計		175,450	

③[11/2野登イベント]野登山山頂イベント<約400年生きている地元の杉に会いに行こう！>

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	運営スタッフ代	人日	4	16,024	64,096	有限会社豊田衛生
委託費	チラシ作成	種	2	5,000	10,000	有限会社豊田衛生
委託費	カラー印刷	部	200	30	6,000	有限会社豊田衛生
委託費	チラシ配布	人日	2	5,000	10,000	有限会社豊田衛生
委託費	管理道巡視／整備／山頂への誘導	式	1	20,000	20,000	有限会社豊田衛生
委託費	撮影編集費	式	1	25,000	25,000	有限会社豊田衛生
委託費	動画撮影スケジュール作成	式	1	5,000	5,000	有限会社豊田衛生
委託費	当日スタッフ代	人日	8	4,000	32,000	有限会社豊田衛生
委託費	諸経費	式	1	17,210	17,210	有限会社豊田衛生
委託費	10/10、11現場研修指導費	人日	2	20,000	40,000	自然配植技術協会
委託費	交通費	往復	1	8,193	8,193	自然配植技術協会
委託費	宿泊費	泊	1	6,500	6,500	自然配植技術協会
委託費	11/2講師代	人日	2	20,000	40,000	自然配植技術協会
委託費	交通費	往復	1	8,193	8,193	自然配植技術協会
委託費	宿泊費	泊	1	6,500	6,500	自然配植技術協会
			小計		298,692	
			消費税及び地方税相当額		29,869	
			③合計		328,561	

④鈴鹿川等源流の森林づくり講座(1)＜防鹿柵設置に関する知識と方法＞

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	指導費（2日／人）	人日	2	30,000	60,000	宮川森林組合
委託費	指導費（1日／人）	人日	1	30,000	30,000	宮川森林組合
委託費	宿泊費（2泊／人）	式	2	6,500	13,000	宮川森林組合
委託費	交通費（2名往復）	式	1	15,710	15,710	宮川森林組合
委託費	一部防鹿資材	式	1	4,302	4,302	宮川森林組合
		小計			123,012	
		消費税及び地方税相当額			12,301	
		④合計			135,313	

⑤鈴鹿川等源流の森林づくり講座(3)＜大台町におけるシカ対策と森林の保全と活用の視察＞

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	指導費（1日／人）	人日	1	30,000	30,000	宮川森林組合
委託費	指導費（半日／人）	人日	1	20,000	20,000	宮川森林組合
委託費	資料代	式	1	15,000	15,000	宮川森林組合
		小計			65,000	
		消費税及び地方税相当額			6,500	
		⑤合計			71,500	

⑥防鹿柵の設置

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
資材費	防鹿柵資材費	式	1	95,400	95,400	近江屋ロープ株式会社
		小計			95,400	
		消費税及び地方税相当額			9,540	
		⑥合計			104,940	
		①～⑥合計			1,033,564	(うち交付金1,000,000)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7の(1)-1. 写真



写真1  
①[8/11坂下地区イベント]第8回サマーフォレスト



写真2  
亀山市林業研究会が会員の山林からその日の朝に伐り出したヒノキを皮剥きし、香りや手触りを楽しみながらイスや壁掛けにした



写真3  
亀山市林業研究会が会員の山林からその日の朝に伐り出したヒノキを皮剥きし、香りや手触りを楽しみながらイスや壁掛けにした



写真4  
魚を通じ生物多様性とその保全の大切さを伝える



写真5  
魚を通じ生物多様性とその保全の大切さを伝える



写真6  
魚と子どものネットワークが森と川をつなぐ役割を担った

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7の(1)-2. 写真



写真1  
②[9/7加太地区イベント]ぶらりまち歩きく加太で製材工場見学とものづくり編>

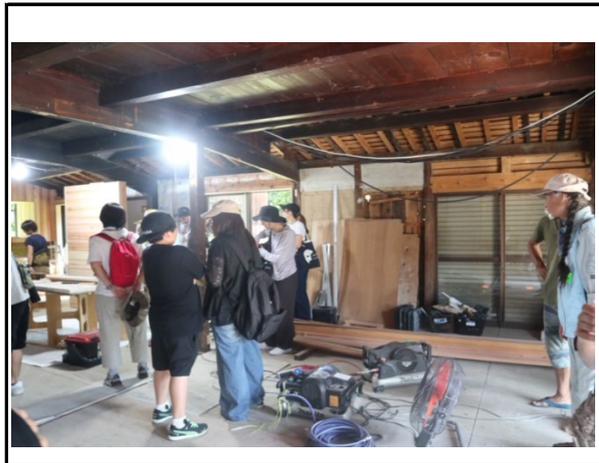


写真2  
リフォーム中の古民家で昔の木の使われ方やリフォーム過程での木遣いを見学



写真3  
地元加太で伐採したヒノキを見学



写真4  
製材を見学



写真5  
木を通じて父と子のコミュニケーション



写真6  
アンケートでは林業者の森や木に対する熱い想いを感じたと複数回答があった

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7の(1)-3. 写真



写真1

③[11/2野登イベント]野登山山頂イベント<約400年生きている地元の大杉に会いに行こう！>雨天プログラムで指導者向け講座のみになった



写真2

昨年度講座で野登山の価値を指摘し地元の山頂保全にむけたやる気を引き出していたいただいた講師高田研一氏による指導



写真3

自然保育、森林教育に携わっていただきたい市内の関係者と地元住民がともに学ぶ



写真4

ひと月前に講師とスタッフで保育教育関係者に伝える内容、トイレのことなど現場で検討



写真5

講師より「雨天プログラムと晴天の現場で行える場合とでは伝わるレベルが20倍くらい違う」「ツルや道の穴空きなど管理道の整備が足りていない」などの指摘があった

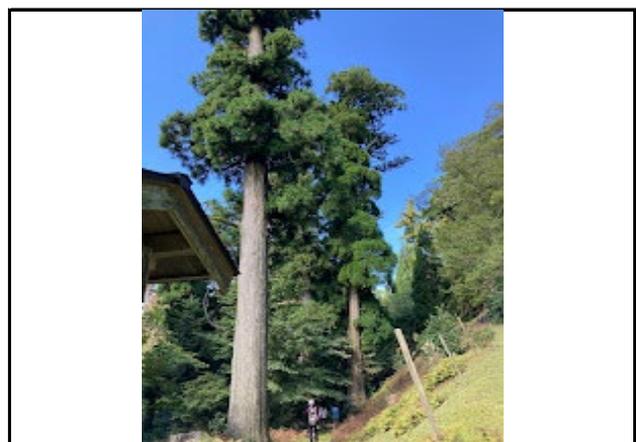


写真6

イベントで子どもたちを迎えるためのトイレの整備だけで30分以上の話があり、当面できることとして、イベント前日には念入りなトイレ掃除とできる範囲での管理道の整備等を行った

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7の(1)-4. 写真



写真1

①鈴鹿川等源流の森林づくり講座(1)〈防鹿柵設置に関する知識と方法〉



写真2

講座(1)森や木についての基礎知識が必要と学ぶ



写真3

講座(1)何をどのようにシカから守りたいか検討



写真4

講座(1)防鹿柵の設置位置と範囲を検討

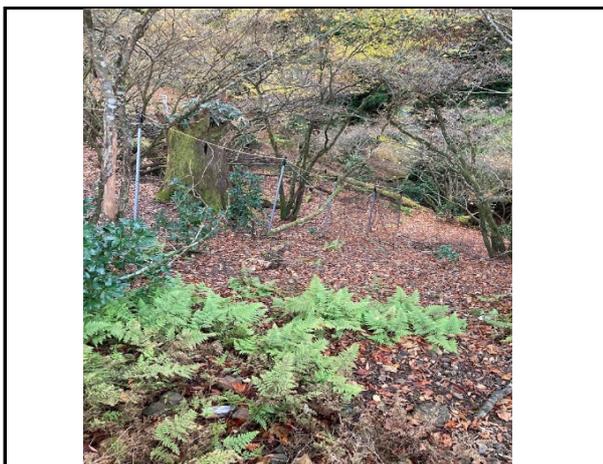


写真5

⑥防鹿柵の設置 枯死した巨木のウロの中に耐え残っているスズタケを保護するため、12月7日に野登寺本堂の北側に設置した

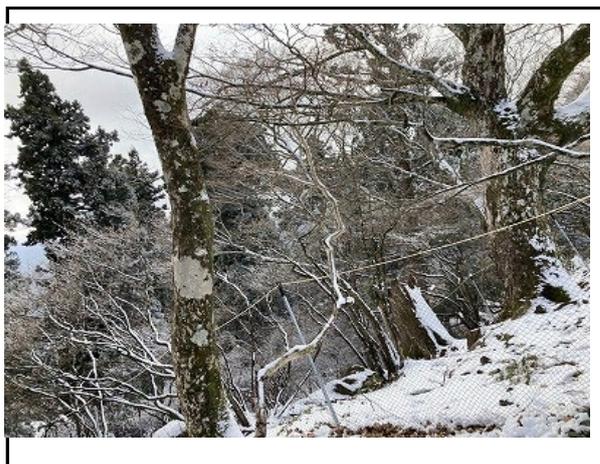


写真6

風雪にも耐え倒れず保護できている

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7の(1)-5. 写真



写真1

②鈴鹿川等源流の森林づくり講座③<大台町におけるシカ対策と森林の保全と活用の視察>



写真2

講座③地域性苗木の育成現場を見学



写真3

講座③18年経った防鹿柵を見学

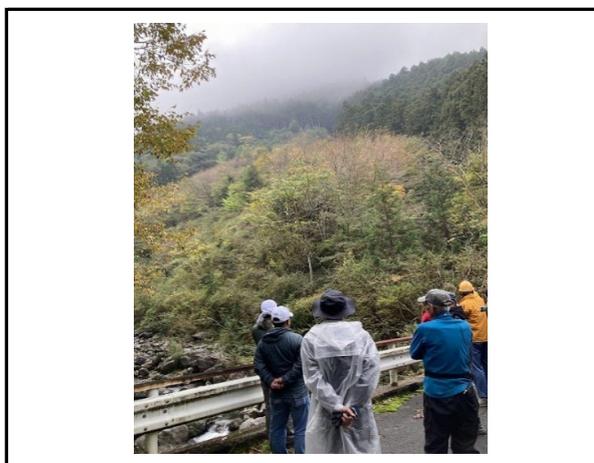


写真4

講座③18年で崩壊地が広葉樹の森に



写真5

講座③広葉樹活用のプロダクト、企業の森やJクレストの活用についても学んだ

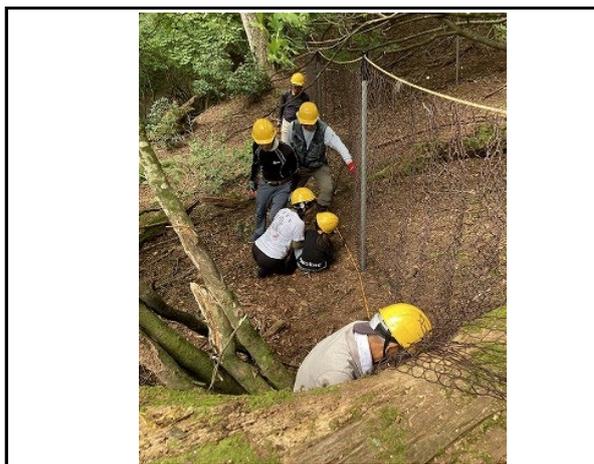


写真6

講座後：防鹿柵を購入し野登山山頂にて会員と地元の方々で設置

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森林づくり協議会）
-----	-----------------------

7の(2). その他資料

資料1

坂下地区イベントでは、鈴鹿川の源流で「魚と子どもネットワーク」が「亀山市林業研究会」とコラボレーションすることで、森と川のつながりを伝えながら、地元の森と川の団体がつながるきっかけともなりました。初めは協議会が取り次ぎ、その後は双方で直接相談して進め方、内容を深めていただくことで主体的な参画、多様な企画が増えることを意図しています。

加太地区のイベントでは、これまで市の企画主導であったのが、地区に暮らす会員やまちづくり協議会の提案で企画し、加太地区内の木材関係事業者が運営を担い、市内外の一般参加者に森や木材、地域への熱い想いを共有いただきました。また、協賛企業同士の対話の機会にもなりました。参画者主体で森林づくりの「渦」となっていたことを意図しています。

資料2

野登地区イベントは、林業関係や特にイベント運営に長けた業種ではないものの協議会活動への深いご理解と積極的関わりがあり水が生まれる森林環境を大切に想う企業が運営を担いました。そのような森林林業外の企業の主体的参加が増えることを意図しています。

内容としては、昨年度までは自然保育／森林環境教育関係者が体験し経験値を積めるような企画をしてきましたが、このイベントでは、保育／教育者が専門家から学び、学んだことをすぐ実践する場を設けるということを企画しました。雨天だったため室内での講座だけになってしまいましたが反省を次に活かし改めて実施したい。

開催にあたり地元会員の熱意で野登地区内の児童生徒が通う小学校、中学校にお声かけしたところ全校生徒にお知らせいただけました。一方で、市内の全保育園／幼稚園／子ども園の保育士／教諭にお知らせしましたが反応は薄く課題となりました。これまで尽力されてきた市内の自然保育／森林環境教育の流れが途絶えないよう次回に向けて実施方法や内容をさらに検討したい。また、今後の案内チラシには県民税活用のイベントである旨も記載したい。

指導者向け案内

参加者向け案内



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森と木材のふれあい事業（森の講座）					
事業費	498,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			498,300		0	

1. 事業の目的

森林とふれあいながら、森林や緑を大切に思い、育む人づくりのため、様々な市民に、森林や木材について学び・ふれあう機会を提供し森林と木材と市民との関係を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

木にふれあえる森の講座を開催し、森林と木材と市民との関係を深める。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

亀山市

【実施個所及び箇所数】

・森の講座の開催 2回（亀山森林公園やまびこ、鈴鹿峠自然の家）

【事業量】

森の講座の開催 2回 参加者数 延べ38人

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林や木材とふれあえる講座の開催により、参加者が森林や緑の大切さに気づく機会を創出する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

イベント中に、森林や木材と触れ合うだけでなく、クイズ等を通じて子どもたちに森林について学んで貰う機会を提供した。

【新たな対策・視点及び改善点】

例年と同じような内容とならないよう検討してイベントを開催した。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森と木材のふれあい事業（森の講座）					
事業費	498,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			498,300		0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない	-	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森の講座を開催できる2団体の見積合わせにて決定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	参加者 延べ38名
期待する波及効果	参加者が森や木材について学ぶことで、森林や緑の大切さに気づく機会を創出する。

【公的関与の必要性】

県民税への理解を深め、森を育む人づくりを、広く県民に推進するため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

転用が想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
啓発物品配布	実施中	イベント開催時に参加者に啓発物品（パンフ等を含む）を配布し周知に努める
のぼり設置	実施中	イベント開催時にのぼりを設置

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

(やまびこ) 親子で森林内で木工工作やクイズラリーを行い、楽しんでいた。

(鈴鹿峠) はしご登りやチェーンソー間伐の見学を行い、林業に親しみを持ってもらった。

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市
------	-------------	-----	-----

事業名	森と木材のふれあい事業（森の講座）
-----	-------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
ネイチャークラフト体験と森林クイズラリー						
委託費	人件費	人	14	6,000	84,000	
	事前準備費	式	1	66,000	66,000	
	機材使用料	式	1	33,000	33,000	
	事務局経費	式	1	40,000	40,000	
	消費税	%	10		22,300	
木こり体験をしてみよう！						
委託費	人件費	人	15	6,000	90,000	
		式	1	66,000	66,000	
		式	1	34,000	34,000	
		式	1	40,000	40,000	
	消費税	%	10		23,000	
			合計		498,300	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（森の講座）
-----	-------------------

7の(1). 写真



写真1  
森の講座（ネイチャークラフト体験と森林クイズラリー）



写真2  
森の講座（ネイチャークラフト体験と森林クイズラリー）



写真3  
森の講座（ネイチャークラフト体験と森林クイズラリー）



写真4  
森の講座（木こり体験をしてみよう！）



写真5  
森の講座（木こり体験をしてみよう！）



写真6  
森の講座（木こり体験をしてみよう！）

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
3	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）					
事業費	4,840,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,840,000			

1. 事業の目的

亀山市産の竹を活用した竹あかりを通して、荒廃しつつある竹林の活用や竹林の課題解決を目指す。

2. 事業実績概要

【事業内容】

①2024年亀山市納涼大会における竹あかり演出 ②亀山市内施設における竹あかり展示 ③亀山市内中学生（約480名）への竹あかりワークショップ ④団体への技術指導

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

亀山市

【実施個所及び箇所数】

竹あかり展示：4箇所（亀山公園1箇所、市内施設3箇所）、ワークショップ：市内中学生480名分の竹燈籠

【事業量】

市内中学生480名、イベント来場者数1万6千人、1団体

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

子ども、親子、地域住民が竹の魅力に触れることをきっかけに、竹林が荒廃しつつある現状に対する問題意識を高める。亀山市産の竹を活用した竹あかりを通して、緑豊かな社会を創造することを目指す。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

亀山市で最大級の規模を誇るイベントである亀山市納涼大会において、竹あかりを展示することで、より多くの人に魅力を伝える工夫を行った。また、ワークショップに参加いただいた市内中学生を竹あかり点灯式に招待することで、子供やその保護者への意識付けを行った。

【新たな対策・視点及び改善点】

竹や竹林の魅力に触れ、関心を持つきっかけを行政がつくることで、住民も含めて竹林を地域資源として捉え、市民全体で解決を図る機運醸成につなげる。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
3	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）					
事業費	4,840,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,840,000			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない	-	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の「(2) その性質又は目的が競争入札に適しない契約をするとき」における【物品・業務委託】の「①契約の目的物が特定の者でなければ納入できない場合」に該当するため、1社随意契約。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	市内中学生480名、イベント来場者数1万6千人
期待する波及効果	市内中学生や来場者に、竹の魅力や活用方法を伝えていくことで竹林活用意識の醸成が図られ放置竹林の解消が行われる。

【公的関与の必要性】

市が事務局を担っているイベントでの展示や、市の施設への展示であることから、公的関与が必要。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市関連施設に展示し管理を行う。また、他イベントの空間演出等に活用する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	展示中に幟旗を設置
HP掲載	実施前・中	市ホームページに掲載
広報誌掲載	実施前	市広報誌にイベントパンフレットを折り込み配布し周知。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

竹あかりが綺麗だった、ぼんぼり踊りと竹あかりが調和していてよかった等の好評の声を頂いた。



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森と木材のふれあい事業（竹あかり製作）
-----	---------------------

7の(1). 写真



写真1  
2024年亀山市納涼大会展示①



写真2  
2024年亀山市納涼大会展示②



写真3  
2024年ワークショップ（亀山中学校）



写真4  
2024年ワークショップ（中部中学校）



写真5  
2024年ワークショップ（関中学校）



写真6  
2024年団体への技術指導

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）				
事業費	305,470 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			305,470		

1. 事業の目的
<p>森林環境教育や木育を行っている「森林公園やまびこ」の施設整備等を行うことで、森林とふれあい、体感できる学びの場の利用者の増加を図る。</p>
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>森林公園やまびこは、開設後10年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。この施設を今後も森林環境教育の場として活用していくために、八橋の補修を行う。</p> <p><b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b></p> <p>亀山市</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>亀山森林公園やまびこ</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>八橋補修：18m</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>子どもから大人まで安全・安心して施設を利用することができる。また、来場者が増加し、森林や木にふれあう場や緑に親しむ環境を引き続き提供できる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>八橋の補修材に、長期間使用できるように防虫防腐処理済材を導入している。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>防虫防腐処理済材を、木材内部まで圧入して長期間使用できる部材を用いた。</p>

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
4	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）					
事業費	305,470 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			305,470			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営	その他	補助事業ではない		製材業者から補修材を購入

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

八橋に使用する木材に、防虫防腐処理済材を木材内部まで圧入できる市内業者を選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	森林づくり協議会によるイベント参加者約50名、加太保育園 園児26名（月1回利用）、その他来場者数 約2,000名
期待する波及効果	公園利用者が公園の魅力を多くの人達に伝えることで利用者の増加が見込まれる。

【公的関与の必要性】

市の自然公園条例に基づく公園のため公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

転用が想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業実施箇所にのぼりを設置
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	八橋にロゴマークを表示

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

公園の利便性・安全性が向上したとの声をいただいている。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）
-----	-------------------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	3	9,180	27,540	50×270×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	21	2,950	61,950	90×90×3000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 桧	本	37	3,930	145,410	90×90×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 杉	本	2	1,000	2,000	45×45×4000県産材
消耗品費	防虫防腐処理 杉	本	8	5,100	40,800	150×50×4000県産材
		消費税及び地方税相当額			27,770	
		合計			305,470	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（森林公園やまびこ）
-----	-------------------------------

7の(1). 写真

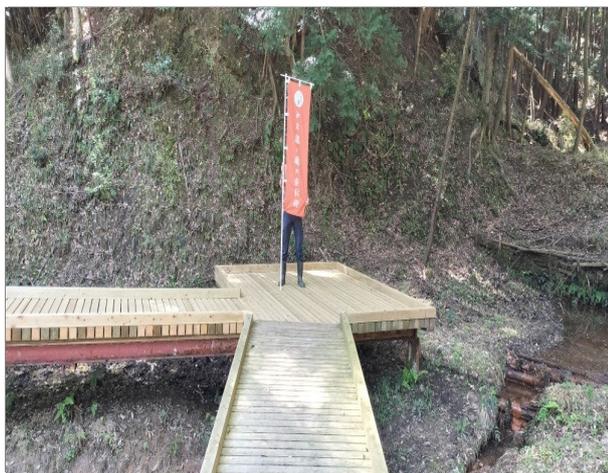


写真1  
八橋補修 起点

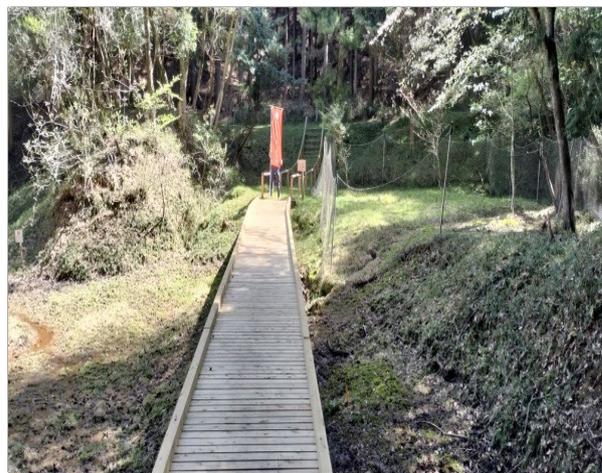


写真2  
八橋補修 起点から終点を望む



写真3  
みえ森と緑の県民税 ロゴマーク



写真4  
八橋 全景 終点から望む



写真5



写真6

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
5	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）				
事業費	938,322 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			938,322		

<b>1. 事業の目的</b>					
<p>キャンプや天文教室など、自然を活用した様々な青少年健全育成事業が展開される鈴鹿峠自然の家内に三重県産材使用の備品（ローテーブル）を導入することで、自然の恵みが活かされた学び及び交流の場を提供する。また、開催される研修やイベントにて森林や木材について学び・ふれあう機会をつくり、森林を市民で守り育てる意識の醸成につなげる。</p>					
<b>2. 事業実績概要</b>					
<b>【事業内容】</b>					
市教育委員会が実施する、鈴鹿峠自然の家での活動に使用する県産材機の導入。					
<b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b>					
亀山市教育委員会					
<b>【実施個所及び箇所数】</b>					
鈴鹿峠自然の家（亀山市関町沓掛123）木の広場					
<b>【事業量】</b>					
ローテーブル（6台）					
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>					
<b>【事業実施により期待される効果】</b>					
<p>木々に囲まれた当該施設（鈴鹿峠自然の家）に三重県産材を使用した備品を導入することで、普段とは違う環境下での自然体験だけでなく、いかに自然が取り入れられているかを併せて体感することができる空間とすることにより、森林づくりへの意識の醸成につなげることが期待できる。</p>					
<b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b>					
<p>サマーキャンプ等のイベントを開催することで、より多くの市民に施設を利用していただき森林や木材について学び・ふれあう機会をつくることで森林を市民で守り育てる意識の醸成につなげることができた。</p>					
<b>【新たな対策・視点及び改善点】</b>					
<p>施設の床・壁等の内装色を踏まえて、三重県産材を使用した家具（ローテーブル）を導入する。</p>					

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
5	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）					
事業費	938,322 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			938,322			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	製材業者	補助事業ではない	-	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札おける最低入札価格により決定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者数年間約2000人
期待する波及効果	子どもの利用を通じて保護者への波及効果が期待できる

【公的関与の必要性】

市の施設であることから、公的関与が必要。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

完成したローテーブルに県民税のロゴの焼印を押して表示し、担当課にて管理する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	机にロゴマークを表示（焼き印）

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

夏の活動（自然教室等）の中での使用を計画している。

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市
------	-------------------	-----	-----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）
-----	------------------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
テーブル	W1800*D900*H450	台	6.00	142,170	853,020	
	消費税				85,302	
合計					938,322	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（鈴鹿峠自然の家）
-----	------------------------------

7の(1). 写真



写真1  
全台設置完了（鈴鹿峠自然の家 木の広場）



写真2  
全台設置完了（鈴鹿峠自然の家 木の広場）



写真3  
テーブル天板部分（2箇所）事業の烙印



写真4  
テーブル天板部分（2箇所）事業の烙印

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
6	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）				
事業費	1,298,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,298,000		

1. 事業の目的

総合保健福祉センターのふれあいガーデンのイス・テーブルに県産材を導入し、施設を利用する未就学児等に県産材に触れる機会を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

総合保健福祉センター南側の建物に隣接する広場（ふれあいガーデン）に設置している据置型のイス・テーブルの木部に三重県産材を導入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

亀山市

【実施個所及び箇所数】

総合保健福祉センターふれあいガーデン

【事業量】

屋外テーブル6台、屋外ベンチ17台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

地域住民の憩いの場・交流の場となっている当該施設に県産材を導入することにより、利用者特に未就学児が木材の持つ温かみや柔らかさを感じるだけでなく、県産材に触れることで故郷の森林づくりへの意識の醸成につながることを期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

子育て支援施設や子育てサロンに来院する未就学児や保護者の利用時に、県産材に触れ木の持つ温かさや香りを感じ森林への興味を深められるようにする。

【新たな対策・視点及び改善点】

耐久性を維持するため木製のメンテナンスとして3～5年を目途に防腐処理を継続して行っていく必要がある。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
番号	事業名					
6	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）					
事業費	1,298,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,298,000			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない	-	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札における最低入札価格により決定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	一般来場者（子育て支援施設利用者等）10～20人/日、 子育てサロン参加者20～30人/月
期待する波及効果	来場者が木製品の良さを多くの人に伝えることで、利用者の増加が見込まれる。

【公的関与の必要性】

市の施設であることから、公的関与が必要。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

確実に子育て支援センターで管理できるよう、完成した木製品に県民税のロゴの焼印を押して管理。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シル・プレート)	実施後	テーブル・ベンチにロゴマークを表示

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

県産材に触れ木材の持つ温かみや柔らかさを感じることでリラックスすることができた。



対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（総合保健福祉センターあいあい）
-----	-------------------------------------

7の(1). 写真



写真1  
全台設置完了

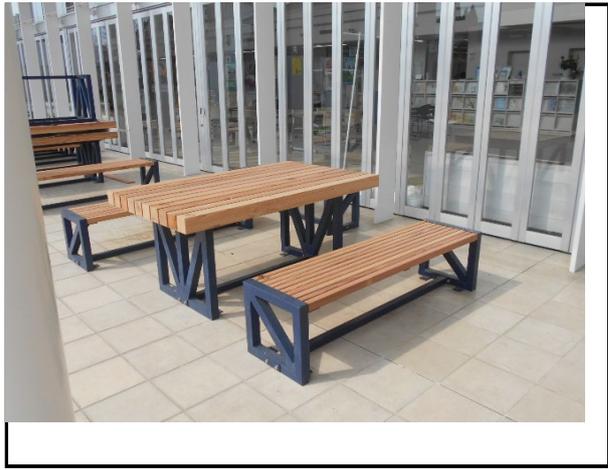


写真2  
全台設置完了



写真3  
テーブル天板部分に事業の焼印

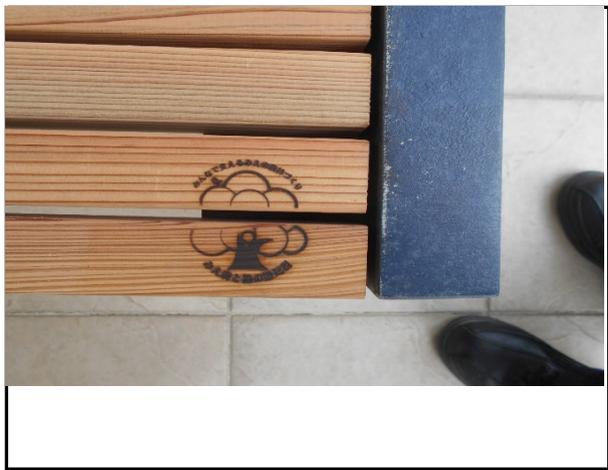


写真4  
イス座面に事業の焼印

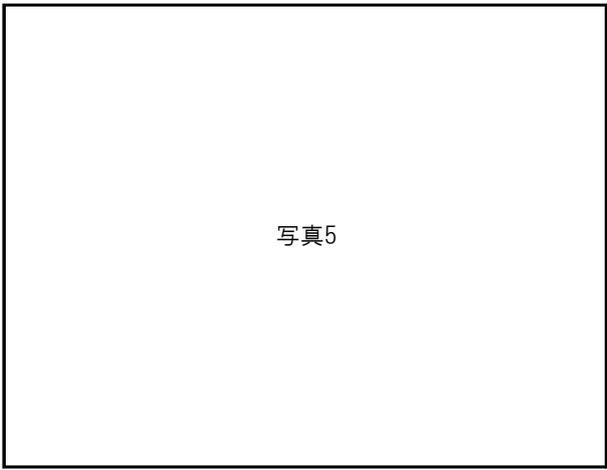


写真5

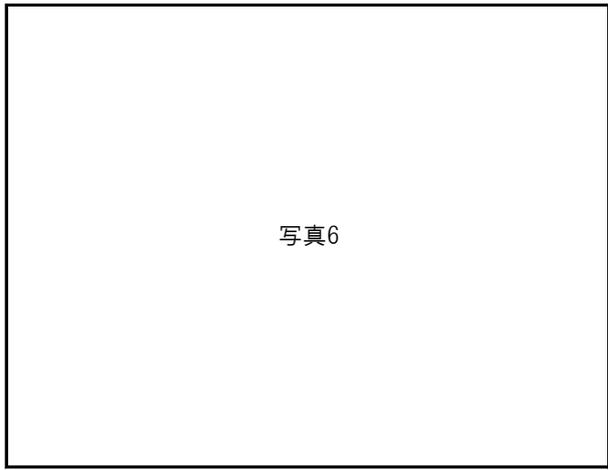


写真6

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
7	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）				
事業費	803,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			803,000		

1. 事業の目的

関認定こども園アスレに県産材木製キッズハウスを設置し、子どもたちの木育などに活用できるように環境整備することで、子どもたちに森林への興味や林業への理解を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

木製キッズハウスを関認定こども園アスレの園庭に設置し、子どもたちが木製品に触れ合う機会を創出することで、森林への興味を深めることに寄与する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

亀山市

【実施個所及び箇所数】

市内1園（関認定こども園アスレ）

【事業量】

県産材木製キッズハウス 1棟

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児が三重県産材を使用した木製キッズハウスを使用することで、木材との触れ合いの機会が創出できる。また、実際に使用することで、木材の性質や特性について実体験できる学びの場になるとともに、三重県の森林への興味や森林の大切さの理解を深めることができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

園児や保護者の利用時に、県産材に触れ木の持つ温かさや香りを感じ森林への興味を深められるようにする。

【新たな対策・視点及び改善点】

耐久性を維持するため木製のメンテナンスとして3～5年を目途に防腐処理等を継続して行っていく必要がある。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
7	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）					
事業費	803,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			803,000			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない	-	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札おける最低入札価格により決定

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	関認定こども園アスレ165名
期待する波及効果	園児の利用を通じて保護者への波及効果が期待できる

【公的関与の必要性】

市の施設であることから、公的関与が必要。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

完成したキッズハウスに県民税のロゴの焼印を押して表示し、市担当課及び認定こども園で管理する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	導入した木製品にロゴマークを表示
HP掲載	実施後	市ホームページに掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

県産材に触れる機会ができたことにより、遊びを通じて木の良さを子どもたちが体感している。また、完成した木製キッズハウスは他の製品では感じ取ることができない木の温もりや香りを楽しめる。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市
------	-------------------	-----	-----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）
-----	---------------------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
直接仮設工事	ログハウス 木造平屋建て 1棟 6.6㎡ 構造木材は三重県産材	1	棟	29,628	29,628	すべて「関認定こども園アスレログハウス設置工事」で契約
基礎工事		1	式	87,829	87,829	
木工事 大工手間		1	式	199,000	199,000	
木工事 木材		1	式	183,000	183,000	
木工事 雑材・雑金物		1	式	9,200	9,200	
木工事 雑工事		1	式	31,300	31,300	
屋根工事		1	式	91,476	91,476	
塗装工事		1	式	42,760	42,760	
共通仮設費		1	式	30,017	30,017	
現場管理費		1	式	137,039	137,039	
発生材処分等		1	式	5,490	5,490	
一般管理費		1	式	166,807	166,807	
		千円止め				
	入札差金				(283,000)	
	消費税				73,000	
合計					803,000	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	亀山市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育・木育が行える場の整備事業（関認定こども園アスレ）
-----	---------------------------------

7の(1). 写真



写真1  
県産材木製キッズハウス写真（西側から撮影）



写真2  
県産材木製キッズハウス写真（東側から撮影）



写真3

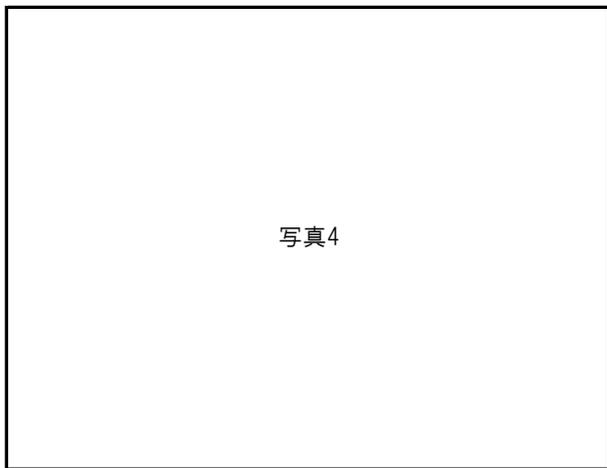


写真4



写真5



写真6



# いなべ市

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

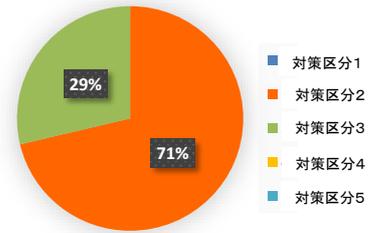
市町名	いなべ市	三重県
人口（人）	44,123	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	11.9%	11.4%
森林面積(ha)	12,794.45	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	11,724.89	348,212.01
森林率(%)	58%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	8.3	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木の除去事業	3,479,748	3,479,748		3,479,748				
2	2	里山竹林環境保全支援事業	4,297,160	4,297,160		4,297,160				
3	3	中学校卒業記念品配布事業	914,650	914,650			914,650			
4	3	自然環境保全事業	2,952,400	2,216,442			2,216,442			
計			11,643,958	10,908,000	0	7,776,908	3,131,092	0	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>いなべ市は北部と西部を岐阜県と滋賀県に接し、東部と南部は桑名及び四日市圏域に接している。市域は、北に養老山地、西に鈴鹿山脈をいただき、市のほぼ中央に流れる員弁川を挟んで緑豊かな自然と平野に囲まれている。</p> <p>緑豊かないなべ市でみえ森と緑の県民税市町交付金を活用して、木のぬくもりに触れる機会を作り、身近な森林について目を向けてもらい、森林・木材の意義、大切さを再認識してもらう。また豊富な森林資源を活用し、自然と調和した環境づくりを目指し、整備が進んでいない森林を整備することにより、安心・安全な暮らしを確保する。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>間伐材を活用した箸の配布を行うことで、森林資源の活用と日常的に木に触れる機会を作り出すことができ、将来的に持続可能な素材を選べる人づくりに繋がるのが期待される。また、住民自らが危険木除去を行うことで、身近な危険木の認識とその除去についての意識向上につながった。里山竹林環境保全支援事業では補助金を交付することで、活動範囲の拡大・活動内容の向上を図ることができ、市内の里山整備促進が期待できる。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>市HPにおいて、みえ森と緑の県民税の概要を伝えるとともに、本事業の事業効果を写真と共にわかりやすくPRしている。中学校卒業記念品配布事業では、生徒にメッセージカードを配布し、県産材を利用する大切さを伝えている。危険木除去事業では市内自治会長に事業案内文書を送付することや走道路管理担当課からの情報発信をすることで、みえ森と緑の県民税を活用して周辺住民の生活の安全を確保し、暮らしに身近な森林づくりに寄与していることを伝えている。</p>

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	8,576	8,576
2	⑤ 森林保護対策	792	792
3	③ 私有林整備	17	17
4	⑥ 林道・林専道の整備等	4,300	4,300
5	⑦ その他（森林整備）	489	489
6	⑬ 木造公共建築物の整備等	5,909	5,909
7	⑰ 基金積立（森林整備等）	5,017	5,017
	合計	25,101	25,101

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
番号	事業名					
1	危険木の除去事業					
事業費	3,479,748 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,479,748	0	0	

1. 事業の目的

自治会単位で取り組むことにより、通学路や人家裏等きめ細かな森林整備を行う。  
自治会による身近な森林の整備により、安全・安心な暮らしを確保し、森林整備に対する意欲の向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

意欲ある自治会等に対し、危険木の除去について支援する。特殊機材については市内業者から借り入れてもらい、補助の対象とする。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

自治会等

【実施個所及び箇所数】

いなべ市内36箇所

【事業量】

2,584本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

危険要因を早期に除去でき、安心して過ごせる環境を作り出す事ができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

危険木の除去を行うことで、残った木が健全に生育し、次の危険木を生み出しにくくするという説明を申請時に行う。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業の取組の拡大を目指し、リース代補助以外の支援の方法について検討し、令和6年度からは伐採作業に対する補助も対象とすることにした。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
番号	事業名					
1	危険木の除去事業					
事業費	3,479,748 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			3,479,748	0	0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	10/10以内		リース代補助：10/10以内 事業費補助：3/10以内

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

自治会要望等による。  
自治会要望等から事業目的に適合した活動に対し補助。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	いなべ市住民約13,500人
期待する波及効果	受益者の関係者への波及効果が期待できる

【公的関与の必要性】

道路支障木の他、住民生活の支障となる木・竹の伐採における費用の負担が難しく、放置されている現状の中、幅広く危険木を除去し、周辺住民の生活の安全を確保するものであり、公的関与の必要性がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。
チラシ等配布	実施中	自治会長にチラシを配布し、県民税を活用した事業であることを周知した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

人家裏等の危険木を事前時伐採することで、安全な生活環境を確保することができた。

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市
------	----------------	-----	------

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
事業費補助	委託費	式	1	59,400	59,400	85本
リース補助	高所作業車,トラッククレーン	式	1	57,376	57,376	1本
事業費補助	委託費	式	1	58,740	58,740	7本
リース補助	枝葉粉碎機,高所作業車	式	1	84,337	84,337	150本
リース補助	高所作業車,バックホー,グラブ	式	1	200,000	200,000	150本
リース補助	高所作業車,チェーンソー	式	1	29,975	29,975	2本
リース補助	委託費	式	1	33,099	33,099	30本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	16本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	100本
事業費補助	委託費	式	1	119,790	119,790	15本
リース補助	ダンプ,枝葉粉碎機,高所作業車	式	1	118,008	118,008	340本
事業費補助	委託費	式	1	2,715	2,715	1本
事業費補助	委託費	式	1	111,540	111,540	19本
事業費補助	委託費	式	1	115,500	115,500	10本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	3本
リース補助	高所作業車	式	1	45,980	45,980	4本
リース補助	高所作業車	式	1	30,030	30,030	10本
リース補助	高所作業車	式	1	138,600	138,600	4本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	100本
事業費補助	委託費	式	1	95,040	95,040	20本
リース補助	チェーンソー,ダンプ	式	1	26,400	26,400	1本
リース補助	高所作業車	式	1	137,500	137,500	20本
事業費補助	委託費	式	1	82,500	82,500	400本
リース補助	高所作業車,2tユニック,木材粉碎機	式	1	186,780	186,780	34本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	40本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	5本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	16本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	40本
リース補助	高所作業車,2tユニック,木材破砕機	式	1	128,810	128,810	15本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	110本
リース補助	枝葉粉碎機	式	1	53,328	53,328	750本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	18本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	21本
リース補助	高所作業車	式	1	64,900	64,900	2本
事業費補助	委託費	式	1	59,400	59,400	7本
事業費補助	委託費	式	1	120,000	120,000	38本
合計					3,479,748	消費税10%含む

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
------	-----------------	-----	------	---------	--------

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1  
伐採前



写真2  
伐採後



写真3  
伐採前



写真4  
伐採後



写真5  
伐採前



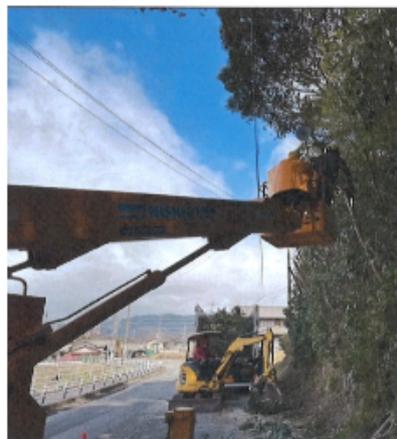
写真6  
伐採後

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
------	-----------------	-----	------	---------	--------

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

7の(2). その他資料

### 危険木の除去事業



気候が年々激しくなっていく中で、道路支障木のほか、人家近くの危険木の除去についても防災・減災のためには重要です。

そこで、いなべ市では市民の皆様から要望をいただいた箇所の危険木の除去に必要な機械のリース代や伐採に係る費用について補助をしています。

令和6年度は36箇所、2,584本の危険木の除去を行いました。

令和7年度についても継続して補助を行います。詳細は農林整備課へお問い合わせください。

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
------	-----------------	-----	------	---------	--------

事業名	危険木の除去事業
-----	----------

7の(2). その他資料

危険木伐採における補助事業について

1 危険木の定義

放置した場合、倒木や落枝により所有者以外の第三者の生命、身体、財産に損害を与える可能性がある木など。

（景観向上の目的で植樹されたものや、企業、寺社が管理するものなどは事業の対象となりません。補助の対象となるかどうか不明な場合、事前にお問い合わせください。）

2 補助条件

- (1) 1箇所につき補助額は、次のどちらかとする。  
機械リースの場合：リース代の10割（20万円上限）  
事業費補助の場合：事業費の3割（12万円上限）
- (2) 以下の場合、申請は年1回までとする。  
ア 個人からの申請の場合。  
イ 同一所有者の土地を申請する場合。  
ただし、公共性が高い箇所（市道、農道に隣接しているなど）については、この限りではないものとする。
- (3) 補助対象は別紙参照。
- (4) 機械リースの貸出日数は、3日を上限とする。（予備日は設けない）

3 申請の流れ

- (1) 自治会要望書にて、伐採箇所・範囲・伐採本数・第三者への影響及び、リース会社または事業者による正式な見積書を添付してください。  
リースできる会社は以下のとおりです。（令和6年4月1日時点）  

株式会社アクティオいなべセンター	（TEL：0594-84-1780）
株式会社キナン四日市北営業所	（TEL：0594-78-3582）
日本キャピラー合同会社北勢営業所	（TEL：0594-82-1233）

※伐採を行う事業者について、指定はありません。
- (2) 要望受理後、農林整備課担当者から連絡しますので、申請書（様式第1号）を作成して提出してください。
- (3) 申請書（様式第1号）受理後、再度内容について確認し、補助要綱に適合すれば交付決定通知書（様式第2号）を送付しますので、その日以降に事業に取り掛かってください。
- (4) 事業完了後は、速やかに実績報告書（様式第5号）を提出してください。  
同時に請求書も提出をお願いします。  
補助事業であり、事前にリース代または事業費をお支払いいただいているからの交付となります。

※ 安全対策・注意事項

- 作業には、ヘルメット、ゴーグルなど安全装備を装着する事。（特にチェーンソー）
- 広葉樹の伐採などは、重心もわからず倒れる方向が特定できないため、専門技術を持った者が行う事。
- 慣れによらず、安全確認を常に行いながら作業を行う事。
- 地域での活動に対して、保険に加入する事。
- 各種リース機械の操作については、必要となる免許や講習修了証を所持した者が行う事。
- リース機械を損傷させた場合、修理代の請求が高額になる事があるため、これらを対象とした保険に加入する事。

この事業は、皆様からいただいた『みえ森と緑の県民税』を活用して行っています。



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	里山竹林環境保全支援事業					
事業費	4,297,160 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,297,160	0	0	

1. 事業の目的

市内の活動団体等が、整備されていない里山や竹林における森林の保全や安全性の確保による生活環境の向上を目的として、自主的に里山や竹林を整備する取組を支援し、持続的に地域の里山が整備されることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内の活動団体等が、保育間伐や倒木の除去等、自主的に里山や竹林を整備する取組に対して事業費の一部を支援する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

ボランティア団体等

【実施個所及び箇所数】

9団体

【事業量】

市内8団体×500,000円（補助額）、市内1団体×297,160円（補助額）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

未整備の里山や竹林が再生されることにより森林の保全や安全性が確保され、生活環境の向上に繋がるとともに、獣害被害の防止も期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

補助金を交付することにより、より効率的・持続的に里山竹林を保全することができる。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業内容について、他団体の取組を紹介し、より良い活動に取り組めるように助言を行った。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	里山竹林環境保全支援事業					
事業費	4,297,160 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			4,297,160	0	0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	10/10以内	500,000円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

団体からの要望等による。  
要望・申請等から事業目的に適合した活動に対し補助。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	活動団体
期待する波及効果	森林整備が進むことにより、活動地区周辺地域・住民にも効果が波及する。

【公的関与の必要性】

ボランティア団体等は現在会費等を資金に運営しているが、活動範囲・参加人数を拡大し森林に関わる機会を増やすには公的関与の必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。
チラシ配布	実施前	申請活動団体へ県民税のリーフレットを配布する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

補助金の交付により、今までよりも活動範囲を拡大することができ、より多くの森林を整備することができた。

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市
------	-----------------	-----	------

事業名	里山竹林環境保全支援事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
森林整備費	里山・竹林整備	団体	8	500,000	4,000,000	
森林整備費	里山・竹林整備	団体	1	297,160	297,160	
				合計	4,297,160	

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	------	---------	----

事業名	里山竹林環境保全支援事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1  
林内整備



写真2  
林内整備観察会



写真3  
竹林整備



写真4  
安全講習



写真5  
学生体験



写真6  
薪作り

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
事業名	里山竹林環境保全支援事業				

7の(2).その他資料

**里山竹林環境保全支援事業**



市内の活動団体等が、整備されていない里山や竹林における森林の保全や安全性の確保による生活環境の向上を目的として、自主的に里山や竹林を整備する取組みを支援しました。

令和6年度は9活動団体に対して補助金を交付しました。



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名						
3	中学校卒業記念品配布事業						
事業費	914,650 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			914,650	0	0		

1. 事業の目的

県民税の基本方針である『県民全体で森林を支える社会づくり』のなかの『森を育む人づくり』の一環として、いなべ市産材を利用して木製箸の製作配布を行う。  
 中学校の卒業記念として、箸という肌で触れるもので『木の良さ』を子どもたちに知ってもらい、木を使うことの意義を知る人づくりを行うことを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

原木調達・加工作業は、【認定林業事業体（佐藤林業）】に委託する。箸製作は【いなべ自然楽校】に委託する。箸入れ袋製作・製品梱包作業は、【いなべ市障害者活動支援センター】に委託する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

いなべ市

【実施個所及び箇所数】

市内中学校4校（北勢中学校、員弁中学校、藤原中学校、大安中学校）

【事業量】

箸500膳・箸袋500袋

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

製品にはメッセージカードを添付し、県民税の目的といなべ市産材が使われていることを示すことで、木材の良さを感じたり利用意識を高めてもらい、将来的には持続可能な素材を選べる人づくりに繋がることが期待される。また、その製作には、市内の活動団体であるいなべ自然楽校やいなべ市障害者活動支援センターが行っている旨を伝え、箸を大切に利用してもらい、市内の自然と地元愛を育む人づくりへ繋げていく。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

市内唯一の認定林業事業体に原木の調達を委託することにより、山地に放置されている間伐材の有効利用を図ることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

受注者間での意見交換を行うことで、作業工程の調整をスムーズに行うことができた。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	中学校卒業記念品配布事業					
事業費	914,650 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			914,650	0	0	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

原木調達・加工作業は市内唯一の認定林業事業体である佐藤林業に、箸製作はいなべ市内の地域資源を活用した取り組みを行っている市民団体のいなべ自然楽校に、箸袋製作は社会的貢献度を踏まえて障がい者施設に委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	市内中学校卒業生500名
期待する波及効果	保護者・学校関係者

【公的関与の必要性】

卒業記念品を配布することにより、生徒が三重の木に触れる機会をつくり、木材利用の意義を理解し、森林の大切さを伝える森林環境教育活動であり、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	HPを活用し、周知する。
チラシ等配布	実施後	メッセージカードの配布を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

いなべ市産の木材を箸というかたちで触れることで、木の良さを知ることができた。

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市
------	-------------	-----	------

事業名	中学校卒業記念品配布事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
原木調達・製材・プレーナ加工	いなべ市産材	式	1	309,000	309,000	佐藤林業
箸製作・加工		組	500	500	250,000	いなべ自然楽校
箸袋製作・袋詰め		袋	500	545	272,500	いなべ市障害者活動支援センター
		小計			831,500	
		消費税及び地方税相当額			83,150	10%
		合計			914,650	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校卒業記念品配布事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1  
製材・プレーナー加工



写真2  
箸製作加工



写真3  
箸袋封入



写真4  
受取時の様子



写真5  
受取時の様子



写真6  
受取時の様子

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	中学校卒業記念品配布事業
-----	--------------

7の(2). その他資料

### 中学校卒業記念品配布事業



森を育む人づくりの一環として、いなべ市内の4つの中学校の卒業生（約500名）を対象に木の良さを知ってもらうため、いなべ市産材を利用した木製箸を毎年、卒業記念品として配布しています。





令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
番号	事業名						
4	自然環境保全事業						
事業費	2,952,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			2,216,442	0	735,958		

1. 事業の目的

いなべ市は、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある地域をつくる「グリーンインフラ」の取り組みを行っている。この理念に基づき、地域の森林や水辺の環境を整備と併せ、主に親子の長時間滞在を促進する空間づくりを行い、身近な緑や水辺の環境との関係を深めることを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内で身近な緑や水辺の環境との関係を深める活動を主体的に行っている個人や団体、企業と連携し、森林や川を使った体験を実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

いなべ市

【実施個所及び箇所数】

市内の「グリーンインフラ」において、身近な緑や水辺の環境との関係を深めるイベントを開催

【事業量】

Inabe Green Lab 開催 イベント数4回 参加者580人

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

次代を担う子どもたちが、水や緑の環境づくりの大切さを学び、森林や緑と親しむための環境整備に対して理解を深める。また、いなべの森林の体験や観察、木材との触れ合いを通していなべの自然資源の魅力や可能性を見つけ、緑の大切さを感じ、育む人材が育成される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

市直営での事業実施を計画していたが、一般社団法人グリーンクリエイティブいなべと意見交換を行う中で、同団体を介して積極的な活動を行っている個人や団体とつながることができ、運営を外部委託することとした。

【新たな対策・視点及び改善点】

イベントを開催するだけでなく、県民税を活用して身近な緑や水辺の環境を整備することで、より自然と県民の関係性を深めることができる。

令和6 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
------	-------------	-----	------	---------	--------

番号	事業名				
4	自然環境保全事業				
事業費	2,952,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,216,442	0	735,958

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

積極的な活動を行っている個人や団体とつながりのある一般社団法人グリーンクリエイティブいなべへ委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	イベント参加者
期待する波及効果	参加者の家族・友人

【公的関与の必要性】

森林や水辺の環境整備を行うことにより、イベントの効果を向上させることができるため、公的に支援する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前	参加者募集時にHPに掲載し、周知する。
チラシ配布	実施前	事業チラシに県民税を活用した事業であることを記載する。
HP掲載	実施後	事業内容を年度末にHPに掲載し、周知する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

親子参加型のイベントを行うことによって、より多くの人材育成を行うことができた。

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市
------	-------------	-----	------

事業名	自然環境保全事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
委託料	人材育成業務	式	1	1,000,000	1,000,000	20人工
委託料	自然資源活用コンテンツ創出業務	式	1	1,300,000	1,300,000	27人工
委託料	広報業務	式	1	652,400	652,400	5人工
				合計	2,952,400	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
------	-------------	-----	------	---------	--------

事業名	自然環境保全事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1  
Inabe Green Labの様子



写真2  
Inabe Green Labの様子



写真3  
Inabe Green Labの様子



写真4



写真5



写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
事業名	自然環境保全事業				

7の(2). その他資料



令和6年5月28日（火曜日）から5月30日（木曜日）までの3日間、『自然の中でこどもと心豊かに遊ぶ』をテーマに、シーン毎での「リスク（危険）」を知り、回避・対処する手法を学ぶ「事故予防」と、いざという時の適切な「応急処置」を学ぶ、リスクマネジメント研修を実施しました。

研修を通じて、暮らしのそばにある「自然」を知り・学び、その魅力に気づききっかけにつなげると同時に、身近にある「自然」が、こどもたちの遊び場・過ごす場として、ひとつの選択肢になればと考えます。

市内を拠点に活動する皆さんをはじめ、保育士・保護者の皆さんなど、たくさんの方が受講くださいました。ご参加いただき、ありがとうございました。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	いなべ市	新規・継続の別	リニューアル
------	-------------	-----	------	---------	--------

事業名	自然環境保全事業
-----	----------

7の(2). その他資料

Inabe Green Lab.2024「火を囲む日」

[サイト](#) [シェア](#)

ページ番号1014036

更新日 令和6年11月7日

印刷 

大きな文字で印刷 

イベントカテゴリ: [祭り・催し](#) [自然・文化・芸術](#) [子育て・子ども](#)



開催日	令和6年11月9日（土曜日）
開催時間	午前10時から午後5時まで 午後2時から午後3時は転換の時間を頂戴します。
開催場所	旧大安中央児童センター周辺（いなべ市大安町大井田2717-3） ※駐車場は大安公民館西、会場付近（別途案内）をご利用ください
関連情報	

- [岡田文化財団](#)（本イベントは岡田文化財団の助成を受けています）（外部リンク）
- [みえ森と緑の県民税](#)（本イベントは「みえ森と緑の県民税」を活用しています）（外部リンク）



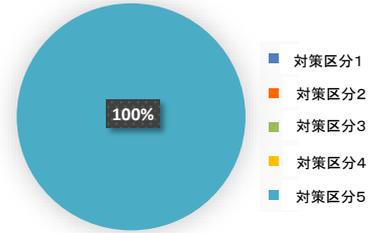
# 木 曾 岬 町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

対策区別事業費割合

市町名	木曾岬町	三重県
人口（人）	5,752	1,716,617
年少人口割合（%）*1	8.2%	11.4%
森林面積(ha)	0.00	371,680.22
民有林面積(ha)*2	0.00	348,212.01
森林率(%)	0.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	11.8	10.7



\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	5	暮らしを守る緑保全事業	10,041,900	7,000,000					7,000,000	
計			10,041,900	7,000,000	0	0	0	0	7,000,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	木曾川の河口部に位置する当町は森林率が0%と、日常生活の中で森林にふれあう機会がなく町内の鍋田川線桜並木は、重要な観光資源であると同時に地域住民が緑にふれあい自然環境の大切さを知る貴重な場となっております。これらを踏まえ、鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの食害から守るため、防除業務や被害木の伐採を行って被害防止対策を実施しました。
事業実施により期待される効果	鍋田川線桜並木を特定外来種クビアカツヤカミキリの食害から守るため、全木を対象にした調査と台帳整備、樹幹注入を行うことでクビアカツヤカミキリの被害低減を狙い、地域住民や道路利用者の安全確保と貴重な自然環境の保護につながる事が期待できる。
情報発信への取組	町イベント時（第9回KISOSAKIオータムフェスタ2024（9月8日）、伸びゆく木曾岬町のふれあい広場2025（3月16日））に防除業務の内容と目的を掲示し、町民に対し県民税が安全や自然環境の保全に役立てられていることをPRしたほか、庁舎内ポスター掲示などでも同内容を紹介し、より多くの人の目に留まるよう取り組んでいる。

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑭ 基金積立（木材利用等）	688	688
2			
3			
4			
5			
	合計	688	688

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	暮らしを守る緑保全事業				
事業費	10,041,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,000,000		3,041,900

<b>1. 事業の目的</b>					
<p>当町には鍋田川堤沿いに約4kmにわたり桜が植えられている「鍋田川堤桜並木」が存在する。町にとって大きな観光資源であると同時に、森林のない当町にとってはこの桜並木が唯一、多くの木や虫などの自然に触れられる貴重な環境である。</p> <p>しかし、令和元年6月から当町にて生息が確認されたクビアカツヤカミキリの食害により当町の桜並木は危機を迎えており、早急に対策を講じなければ貴重な自然環境を失うだけでなく、桜並木沿いの道路の通行人に枯死した桜の枝や幹が倒れ掛かるなどの危険を及ぼすため、全木を対象とした害虫防除と被害木調査を行い森林の維持保全を行うことで安全・安心な住環境を確保する。</p>					
<b>2. 事業実績概要</b>					
<p><b>【事業内容】</b> 桜並木や人家周辺の危険木の伐倒や病虫害被害木の伐倒・駆除、被害防止・維持保全のための樹幹注入や被害や樹勢を調べる毎木調査、被害木への薬剤噴霧を実施した。また、桜の生育に影響を及ぼす周辺の竹林を伐採した。</p> <p><b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b> 木曾岬町</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b> 鍋田川堤沿いの桜並木全木 町内公共施設の桜</p> <p><b>【事業量】</b> 毎木調査：999本、樹幹注入：225本、樹幹散布：108本、剪定：274本、伐採：31本、駆除剤散布：999本×3回、巡視・見回り：5回</p>					
<b>3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】</b>					
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b> 被害木全木への樹幹注入により、幼虫の駆除効果が期待でき、約200本ほど見つかった被害木も8割以上がフラスの排出が止まり効果が表れたことが確認された。（年末時点） また、全木の台帳整備を行い次年度以降の業務量の計算やより効率的な防除業務、剪定伐採につなげることが期待される。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b> 基本的な被害調査や樹幹注入だけでなく、定期的な巡視を行うことで薬剤の効果検証や重点的に対策をとる必要がある地点の絞り込みができた。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b> フラス排出の多いエリアを重点的に樹幹散布を行うことで、幼虫による食害や成虫の飛来を抑制する効果が見込めることから、今後の防除に向けて試験的に実施した。これにより散布エリア内の桜については通年にわたりフラス排出量を大きく減少することができ、被害木の減少を図ることができた。次年度には散布エリアを増やし、さらなる効果を見込む。</p>					

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	暮らしを守る緑保全事業					
事業費	10,041,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			7,000,000		3,041,900	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

造園業者の登録と防除業務の登録、また、樹木関係（害虫防除や剪定伐採）で官公庁への納入実績のある業者を対象としている。

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	町道鍋田川線沿線住民及び道路利用者、町内公共施設利用者
期待する波及効果	利用者の家族や知人などにも観光資源である桜並木を楽しめるようになる。

【公的関与の必要性】

いずれも公共施設の敷地内の桜が対象であり、町が管理者であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町の管理であり、変更はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ポスター掲示	実施後	庁舎内で町民および来訪者へPRした
啓発物品配布	実施後	町内イベント（第9回KISOSAKIオータムフェスタ2024・伸びゆく木曾岬町のふれあい広場2025）にて周知活動を実施
その他	実施後	木曾岬小学校において、小学生に桜並木を守ることやクビアカツヤカミキリの正しい駆除方法を伝えた。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

木曾岬小学校の生徒は、桜並木を守ることに意欲的になった。

近隣住民はクビアカツヤカミキリが桜を食害することを認識しており、日常的に駆除してくれている。

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	木曾岬町
------	--------------------	-----	------

事業名	暮らしを守る緑保全事業
-----	-------------

4. 効率性：主な経費内訳

(1 クビアカツヤカミキリ防除)						
区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
巡視	999本×5回	式	1	750,000	750,000	
樹幹散布	108本	式	1	1,460,000	1,460,000	
樹幹注入	225本	式	1	1,850,000	1,850,000	ウッドスター・リバイブ
カルテ作成	164本	式	1	450,000	450,000	
小計					4,510,000	
消費税及び地方税相当額					451,000	10%
合計					4,961,000	
(2 害虫駆除剤散布)						
区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
駆除剤散布	3回	式	1	1,740,000	1,740,000	
小計					1,740,000	
消費税及び地方税相当額					174,000	10%
合計					1,914,000	
(3 被害木剪定・伐採)						
区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
剪定・伐採	剪定 伐採	式	1	2,879,000	2,879,000	
小計					2,879,000	
消費税及び地方税相当額					287,900	10%
合計					3,166,900	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	------	---------	----

事業名	暮らしを守る緑保全事業
-----	-------------

7の(1). 写真



写真1  
R6 桜並木



写真2  
H31桜並木で発見されたクビアカツヤカミキリ



写真3  
R6 樹幹散布



写真4  
R6 樹幹注入（ウッドスター）



写真5  
R6 樹幹注入（リバイブ）



写真6  
さくらまつり（R7. 3. 29）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	木曾岬町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	------	---------	----

事業名	暮らしを守る緑保全事業
-----	-------------

7の(2). その他資料



ポスター掲示



← オータムフェスタ



ふれあい広場 →

# 東 員 町

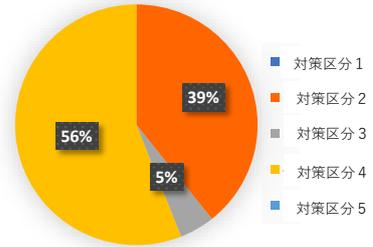
令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	東員町	三重県
人口（人）	25,671	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	13.6%	11.4%
森林面積(ha)	153.78	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	153.78	348,212.01
森林率(%)	7%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	15.5	10.7

- ＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
- ＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）
- ＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	危険木伐倒等業務	2,374,400	2,293,000		2,293,000				
2	3	森林教育授業	290,950	273,000			273,000			
3	4	公共施設等の備品等購入	3,269,420	3,269,000				3,269,000		
計			5,934,770	5,835,000	0	2,293,000	273,000	3,269,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採調査1式	2,200,000	1,100,000	
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>本町では、北部を中心に名古屋や四日市といった近郊都市部のベッドタウンとして開発が進み、現在森林率が8%程度と森林が少なく、また各地に分散している状況ですが、森林は地域住民の憩いの場として日常的に活用されてきました。</p> <p>このため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備を進め、地域住民が安全に安心して地域の里山にふれ、森や木の大切さへの理解を深める取組を進めていきます。</p> <p>また、小学校による森林教育授業においては森林の機能や大切さを学ぶことにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養っていきます。</p> <p>その他、教育施設及び福祉施設において木質製品などを取り入れることにより、児童や地域住民が木に触れ合う機会を創出していきます。</p>
事業実施により期待される効果	<p>森林環境の保全及び地域住民の森林への意識の醸成が図られた。現地（民家裏等）での調査や作業の際、県民税や事業について詳細に説明する機会が多く、好意的な反応を示していただき、県民税への理解及び森林への関心を高めることができた。</p>
情報発信への取組	<p>工事看板に「みえ森と緑の県民税交付金事業」にて実施していることを表記。また、自治会での施工周知説明時に事業の概要についても説明。購入した備品等に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、周知を図る。</p> <p>その他、町のHP・広報誌に事業の成果を掲載し、県民税を活用し事業を実施した旨を周知。</p>

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税(千円)
1	⑭ 基金積立（木材利用等）	3,640	3,640
2			
3			
4			
5			
	合計	3,640	3,640

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	東員町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	危険木伐倒等業務					
事業費	2,374,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,293,000	0	81,400	

1. 事業の目的	
住宅や通学路に近接する森林における危険木除去を行い、暮らしに身近な森林として整備することにより、生活環境の保全や暮らしの安全性の向上を図る。	
2. 事業実績概要	
【事業内容】	
人家裏や通学路沿いなど、これまで整備が進みにくく荒廃が進んでいる森林地帯を対象として、倒木になる恐れのある危険木の除去・間伐を行う。	
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】	
東員町	
【実施個所及び箇所数】	
東員町大字長深・南大社地内（近隣住民約2,000人）	
東員町笹尾・城山地内（近隣住民約12,000人）	
【事業量】	
危険木伐倒 長深・中上地区 80本 山田地区 3本	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
【事業実施により期待される効果】	
みえ森と緑の県民税市町交付金を充当する事業を実施し荒廃が進んでいた緑地帯の再生が進むことにより、森林環境の保全及び地域住民の生活安全を守る。	
【効果を発揮させるための工夫・取組】	
施工時に工事看板とともに「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」を活用し事業を実施している旨のポスター看板を設置し、近隣住民に周知を図った。	
【新たな対策・視点及び改善点】	
本来は、森林所有者において整備するものであるということ意識づけていく必要がある。 また、地元説明会において、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用し、事業を行うことを説明するとともに、森林整備の重要性を幅広く知ってもらう。	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
町内業者による入札（一般競争）により、請負者を選定。				
【主な経費内訳】				
（別紙のとおり）				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	近隣住民約14,000名			
期待する波及効果	森林環境の保全及び地域住民の生活安全の向上			
【公的関与の必要性】				
森林所有者が複数人おり、所有者個人で森林整備を行うことが困難であるため、町が実施することが妥当である。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
森林所有者に整備をしていくことを促す。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
回覧板・掲示板	実施前	住民への回覧や説明にパンフレット、チラシを活用		
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税交付金事業にて実施していることを表記		
HP掲載	実施後	施工の状況等をHPにて報告		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
地元の住民から好意的な声が聞かれた。 例) 道路がきれいになった、以前は道路に飛び出していた枝が無くなり安全になった等				

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	東員町
------	----------------	-----	-----

事業名	危険木伐倒等業務
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐倒	幹周40cm未満	本	6	11,000	66,000	持出し処分10m以内
危険木伐倒	幹周40cm以上60cm未満	本	18	14,500	261,000	持出し処分10m以内
危険木伐倒	幹周40cm以上60cm未満	本	1	17,000	17,000	持出し処分10m以上
危険木伐倒	幹周60cm以上90cm未満	本	25	23,000	575,000	持出し処分10m以内
危険木伐倒	幹周60cm以上90cm未満	本	2	30,000	60,000	持出し処分10m以上
危険木伐倒	幹周90cm以上120cm未満	本	16	30,000	480,000	持出し処分10m以内
危険木伐倒	幹周120cm以上150cm未満	本	9	43,000	387,000	持出し処分10m以内
危険木伐倒	幹周120cm以上150cm未満	本	1	57,400	57,400	持出し処分10m以上
危険木伐倒	幹周150cm以上	本	3	77,000	231,000	持出し処分10m以内
危険木伐倒	幹周150cm以上	本	2	120,000	240,000	持出し処分10m以上
				合計	2,374,400	

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐倒等業務
-----	----------



写真1  
施工前



写真2  
施行後



写真3  
施工前



写真4  
施工後



写真5  
施工前



写真6  
施工後

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	東員町	新規・継続の別	継続
番号	事業名						
2	森林教育授業						
事業費	290,950 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			273,000	0	17,950		

1. 事業の目的

小学生や一般公募者を対象とした森林環境教育を行うことにより、森林の大切さや木材利用の意義を学び、森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人づくりを行う。

2. 事業実績概要

【事業内容】

町内小学校及び一般公募により、みえ森づくりサポートセンターのコーディネートによる森林教育を実施し、森林の機能や大切さを学ぶ機会や、自然の中にある樹木、植物などに触れる機会を創出することにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

東員町

【実施個所及び箇所数】

笹尾東小学校 4年生 38名 城山小学校 5年生 27名  
一般公募 20名

【事業量】

みえ森と緑の県民税の説明・木工作・しいたけ菌打ち・大ノコギリ体験

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

自然の中にある樹木、植物、昆虫についても触れる機会を創出し、また、木材利用、木工体験などにも触れ楽しむことにより、自然環境の役割を考え、行動していく力を養う。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

身近にある森林について授業を行うことにより、日常から森林に対する意識を醸成する。

【新たな対策・視点及び改善点】

学校関係者から継続を望む声があり、みえ森と緑の県民税を活用した町事業として実施することとした。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

みえ森づくりサポートセンターの「森のせんせい」登録団体であり、活動フィールドである企業の森「TOYOTIRES緑のつながり・三重」の管理運営団体であるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	笹尾東小学校 4年生 38名・一般公募 20名
期待する波及効果	学習内容を家庭に持ち帰ることにより、森林保全の大切さを広げることができる。

【公的関与の必要性】

小学校の児童が対象となるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

なし

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施後	児童や保護者及び利用者にパンフレット、チラシを配布
HP掲載	実施後	施工の状況等をHPにて報告

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

参加した児童の反応が好意的であった。

例) 近くにこんなに森があるんだ等

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	東員町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林教育授業
-----	--------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
森林教育授業	笹尾東小学校4年生	式	1	132,825	132,825	
森林教育授業	住民対象	式	1	84,755	84,755	
森林教育授業	城山小学校5年生	式	1	73,370	73,370	
合計					290,950	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林教育授業
-----	--------

7の(1). 写真



写真1  
実施風景



写真2  
実施風景



写真3  
実施風景



写真4  
実施風景



写真5  
実施風景



写真6  
実施風景

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	リニューアル
番号	事業名				
3	公共施設等の備品等購入				
事業費	3,269,420 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,269,000	0	420

1. 事業の目的					
<p>町内の公共施設において木質製品取り入れ、また乳幼児を対象とした木製品の配布を行うことにより、木に触れ合う機会を創出し、木材利用の意義について理解を深めてもらい、関心をもってもらう場をつくり、森林教育を進めていく。</p>					
2. 事業実績概要					
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>町内の施設において木質製品取り入れ、また、乳幼児を対象とした木製品の配布を行うことにより、木に触れ合う機会を創出し、木材利用の意義について理解を深めてもらい、関心をもってもらう場をつくり、森林教育を進めていく。</p> <p><b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b></p> <p>東員町</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>役場庁舎内、子育て支援室、発達支援室</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>木製椅子8脚、木製机2台、木製ベンチ3台、木製パーテーション2台、木製おもちゃ220個、お食い初め用箸220膳、療育用遊具1台、つい立3枚、5連ロッカー1台、棚下収納ロッカー8台、画用紙入れ1台、引きおもちゃ5台</p>					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>児童や利用者が木に触れ合い木のぬくもりやにおいを体感し森林への関心を深めることにより、自然の恵みに対する価値観を広げ、木材利用や森づくりへの理解を深める場として活用する。また、乳幼児へ木製製品を提供することにより、将来に渡り、森林や木材に関心を持ってもらう土台を作成する。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>導入した木製品に「みえ森と緑の県民税」のロゴマークを刻印し、町民等に直接的に周知を図る。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>令和6年度は、乳幼児に木製の箸を導入し、町民全体を対象にした木製製品を導入することにより、前年度以前よりも対象範囲を拡大して、木にふれあえる環境を整える。</p>					

<b>4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】</b>				
<b>【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】</b>				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		
<b>【委託先及び補助対象者等の選定理由】</b>				
県産材木材を使用し、指定する木質製品を加工することのできる業者に随意契約により、請負者を選定。				
<b>【主な経費内訳】</b>				
(別紙のとおり)				
<b>5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】</b>				
<b>【受益者及び、期待する波及効果】</b>				
受益者	母子約220名、町民約25,000人			
期待する波及効果	児童や利用者を通じて、木材利用の意義を伝達することが期待される。			
<b>【公的関与の必要性】</b>				
町立の施設への備品導入であることから、町が実施することが妥当である。				
<b>【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】</b>				
役場において管理を行う。				
<b>6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】</b>				
<b>【情報発信の内容】</b>				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
回覧板・掲示板	実施前	住民への回覧や説明にパンフレット、チラシを活用		
HP掲載	実施後	施工の状況等をHPにて報告		
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中・後	導入する木製品に県民税のロゴマークを掲示		
<b>7. 写真及びその他資料</b>				
別紙のとおり				
<b>8. その他特記事項（受益者の反応等）</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の住民から好意的な声が聞かれた。</li> <li>・お食い初め用箸は、マタニティ教室や親子の面談等の際にお渡しし、好評であった。</li> </ul>				

【様式集②】実施要領第9号様式（その2）（評価委員会資料）

+	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町
---	-------------------	-----	-----

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業（公共施設等の備品等購入）
-----	-------------------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
備品等購入	椅子	台	8.00	67,980	543,840	誠文社
備品等購入	机	台	2.00	149,468	298,936	誠文社
備品等購入	ベンチ	台	3.00	96,426	289,278	誠文社
備品等購入	パーテーション	台	2.00	176,473	352,946	誠文社
備品等購入	お食い初め用箸	本	220.00	831	182,820	えびすや
備品等購入	母子保健事業用玩具	個	220.00	1,430	314,600	中勢森林組合
備品等購入	療育用遊具	台	1.00	99,000	99,000	ウッドベリー
備品等購入	つい立	枚	3.00	33,000	99,000	ウッドベリー
備品等購入	5連ロッカー	台	1.00	197,180	197,180	ウッドベリー
備品等購入	棚下収納ロッカー	台	8.00	101,890	815,120	ウッドベリー
備品等購入	画用紙入れ	台	1.00	63,000	63,000	ウッドベリー
備品等購入	引きおもちゃ	台	5.00	2,740	13,700	ウッドベリー
合計					3,269,420	

第11号様式(その2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	東員町	新規・継続の別	リニューアル
------	-------------------	-----	-----	---------	--------

事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金事業(公共施設等の備品購入)
-----	------------------------------

7の(1). 写真



写真1  
母子保健用おもちゃ



写真2  
子育て支援相談室遊具



写真3  
子育て支援相談室用つい立



写真4  
発達支援室用ロッカー



写真5  
お食い初め用箸



写真6  
お食い初め用箸



# 菰野町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

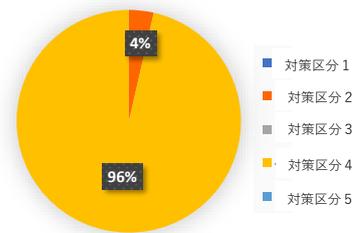
市町名	菰野町	三重県
人口（人）	39,876	1,716,617
年少人口割合（%）*1	13.4%	11.4%
森林面積(ha)	5,313.17	371,680.22
民有林面積(ha)*2	5,237.24	348,212.01
森林率(%)	50%	64%
都市公園面積（㎡/人口）*3	4.5	10.7

\*1：全人口に占める15歳未満の人の割合

\*2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

\*3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額+基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	病虫害被害木伐採搬出事業	319,000	159,000		159,000				
2	4	幼児期から木に親しむ木育推進事業	1,890,337	1,890,337				1,890,337		
3	4	保育所等木製遊具購入補助事業	2,400,000	2,400,000				2,400,000		
計			4,609,337	4,449,337	0	159,000	0	4,290,337	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.08ha13本	1,463,166	731,583	菰野町杉谷地内において事前伐採13本（補償費合）
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

<p><b>事業方針</b></p> <p>菰野町は、鈴鹿山脈の麓に位置する自然豊かな環境に恵まれた場所にあり、湯の山温泉や御在所ロープウェイなど、四季折々の自然を満喫できる観光スポットを有しており、多くの観光客が訪れます。このような中で、みえ森と緑の県民税を活用し、基本方針でもある「災害に強い森林づくり」の推進のため、病虫害や松枯れなど、倒木の恐れがある危険木の除去を進めることで、地域住民の安全な生活環境を守るとともに、「県民全体で森林を支える社会づくり」の推進のため、当町の森林資源を活用して地域住民や当町を訪れる人が地元の森林環境の魅力を感じ、自然環境保全の大切さや森林資源活用の意義について考え、学ぶ場の整備を進めます。</p>
<p><b>事業実施により期待される効果</b></p> <p>病虫害による被害拡散を防止することで地域住民の安全な生活環境の保全に繋がっている。</p> <p>また町内幼児園や子育て支援センターで使用する遊具や家具を購入することにより、施設利用者やその保護者に活用していただいております。菰野町を含めた森林環境の魅力を感じ、木材活用の大切さを学ぶ貴重な場となっている。</p>
<p><b>情報発信への取組</b></p> <p>伐採作業時はのぼり旗を使うことにより、みえ森と緑の県民税を使って作業していることを通行者にPRした。また、町のホームページで事業報告を行う。木育推進事業においては、購入した家具・遊具に対して、焼き印もしくはシールによりロゴを入れて、みえ森と緑の県民税を活用していることを周知している。広報こもりの令和6年12月号において、「山に魅せられて」という特集を組んだ際、みえ森と緑の県民税及び森林環境譲与税に関するPRを行った。</p>

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税（千円）
1	① 意向調査の準備作業	15,114	15,114
2	③ 私有林整備	4,290	4,290
3			
4			
5			
	合計	19,404	19,404

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	リニューアル
番号	事業名					
1	病虫害被害木伐採搬出事業					
事業費	319,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			159,000		160,000	

1. 事業の目的	
<p>菰野町内において、病虫害被害等により公共の道路へ倒木の恐れがある樹木の伐採を行い、住民の生命や財産を守ることを目的とする。</p> <p>また、病虫害被害木を伐採することにより景観を良くし、病虫害被害の拡散防止に努める。</p>	
2. 事業実績概要	
<p><b>【事業内容】</b></p> <p>国道、県道及び町道沿道及び不特定多数が通行する東海自然歩道、登山道等から20m以内の松枯れやナラ枯れ等の病虫害被害木の伐採、搬出、処理に対して助成を行う。</p> <p><b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b></p> <p>個人、区、生産森林組合等</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>町内1箇所</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>病虫害被害木1本</p>	
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】	
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>病虫害被害木の伐採・搬出を行い、公共の道路等への被害を防止することで、地域住民の安全を事前に確保する。また、病虫害被害木の拡散防止を行うことにより、森林景観を保全することで、地域住民の身近な森林に対する森林の必要性や保全に対する理解を深める。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>被害木を伐採した地区については、地区での会議等により事業の内容及び状況を説明していただくとともに、同様な被害木の情報収集を行っていただいている。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>国道・県道・町道だけでなく、東海自然歩道や登山道等、不特定多数が通行する道路へ対象を拡大した。また、各区、生産森林組合、財産区等へ改めて制度の概要及び事業の効果について説明し、事業の周知及び事業個所の掘り起こしを実施。地域の危険木については、区・団体等から所有者へ働きかけを行っていただき、事前伐採の重要性を周知していただいた。</p>	

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	リニューアル
番号	事業名				
1	病虫害被害木伐採搬出事業				
事業費	319,000円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			159,000		160,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	個人	1/2以内	1本あたり100,000円	不特定多数が通行する登山道等の場合、上限200,000円/本

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

申請者の申し出による（業務委託先については申請者による見積合わせ）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民
期待する波及効果	通行者及び地域住民の安全確保、森林の必要性の認知

【公的関与の必要性】

所有者の責ですべきことであるが、地元住民の安全な生活環境に関わる取組であるため公的な関与が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	事業実施中において、施行箇所においてのぼりを設置しPRを実施。
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

倒壊する危険性が目に見えていたため、怖いと感じる方がいたが、当事業により安心感を与えることができた。

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町
------	----------------	-----	-----

事業名	病虫害被害木伐採搬出事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
菰野生産森林組合	病虫害被害木伐採	本	1.00	319,000	319,000	補助額 159,000円
			合計		319,000	159,000

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	リニューアル
------	-----------------	-----	-----	---------	--------

事業名	病虫害被害木伐採搬出事業
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1  
伐採前



写真2  
伐採後&PR状況

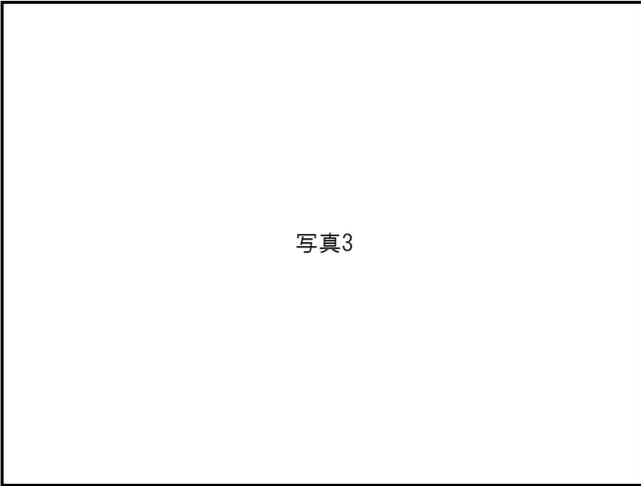


写真3

写真3



写真4

写真4



写真5



写真6

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	幼児期から木に親しむ木育推進事業				
事業費	1,890,337 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,890,337		

1. 事業の目的					
<p>菰野町内の幼保園において、木製遊具を通じ、感性豊かな幼児期から木と触れあう環境を整備し、子どもの豊かな成長を支援するとともに、世代を超えた交流や、地元の森や緑を愛する心を育て、環境を守る人づくりにつなげる。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
木製遊具（大型積み木）及び木製家具を導入・設置。					
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】					
菰野町					
【実施個所及び箇所数】					
町内7幼保園・こども園、北部子育て支援センター					
【事業量】					
木製ハウス、間仕切り棚、積み木、ままごとセット、パーテーション、とびばこ、小型おもちゃ他					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
<p>木のぬくもりや手触り、木の香りに触れることで、子どもの五感を刺激し、心身の豊かな成長を促すことや親子の癒しも期待出来る。電子おもちゃでは難しい遊びの広がりや想像力の向上と、自然や環境に親しみを感じると共に木の文化の伝承につながる。</p>					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
各園に要望を取り、それぞれの幼保・こども園による特色を活かした購入を行うことによって、子供たちが使いやすいものを導入できる。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
<p>幼保園において木製遊具を導入することにより、子どもの豊かな成長を支援するとともに、世代を超えた交流や、地元の森や緑を愛する心を育てることができる。</p>					

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
2	幼児期から木に親しむ木育推進事業				
事業費	1,890,337 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,890,337		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

購入希望の物品の取扱いがある業者との少額随意契約

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	町内7幼保園・こども園、北部子育て支援センター利用者：約1,000人
期待する波及効果	子どもの豊かな成長を支援するとともに、地元の森や緑を愛する心を育てる。

【公的関与の必要性】

公立幼保園・こども園における導入のため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町（各幼保園・こども園）が管理を行うため、目的外使用のおそれはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	導入物品に焼き印もしくはシールによりロゴを掲示
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

木製遊具は他の遊具よりも人気が高く、子どもたちからの要望も増えている。

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町
------	-------------------	-----	-----

事業名	幼児期から木に親しむ木育推進事業
-----	------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
物品購入	間仕切り棚	式	1	426,800	426,800	有限会社坂倉商會
物品購入	木製ままごとセット	式	1	39,600	39,600	株式会社ワークス 三酒店
物品購入	積木	式	1	24,900	24,900	ひかりのくに株式会社 名四営業所
物品購入	木製ハウス（屋根のぼり）	式	1	434,500	434,500	ウッドベリー
物品購入	とびばこ	式	1	92,000	92,000	ウッドベリー
物品購入	木製ままごと用品	式	1	192,500	192,500	株式会社KID'S BOX 三重営業所
物品購入	パーテーション	式	1	198,000	198,000	ウッドベリー
物品購入	木製積木購入	式	1	74,800	74,800	有限会社アイ・ビー・エス
物品購入	木製玩具購入	式	1	116,787	116,787	とりの巣工房
物品購入	木製整理棚購入	式	1	72,600	72,600	ウッドベリー
物品購入	木製玩具等購入	式	1	91,850	91,850	とりの巣工房
物品購入	木製整理ワゴン購入	式	1	126,000	126,000	片岡教材
合計					1,890,337	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	幼児期から木に親しむ木育推進事業
-----	------------------

7の(1). 写真



写真1  
購入品①



写真2  
利用状況①



写真3  
購入品②



写真4  
利用状況②



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	保育所等木製遊具購入補助事業				
事業費	2,400,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,400,000		

1. 事業の目的					
<p>菰野町内の私立保育所において、木製遊具を通じ、感性豊かな幼児期から木と触れあう環境を整備し、子どもの豊かな成長を支援するとともに、世代を超えた交流や、地元の森や緑を愛する心を育て、環境を守る人づくりにつなげる。</p>					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
木製家具・遊具等の導入に対し、1施設当たり800,000円を上限とし、補助金を交付する。					
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】					
菰野町					
【実施個所及び箇所数】					
菰野町内3私立保育所					
【事業量】					
800,000円/1施設×3施設=2,400,000円					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
<p>木のぬくもりや手触り、木の香りに触れることで、子どもの五感を刺激し、心身の豊かな成長を促すことや親子の癒しも期待出来る。電子おもちゃでは難しい遊びの広がりや想像力の向上と、自然や環境に親しみを感じると共に木の文化の伝承につながる。</p>					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
各園に補助することで、園ごとの特色を活かした購入を行うことができるため、子供たちが使いやすいものを導入できる。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
私立保育所において木製遊具を導入することにより、子どもの豊かな成長を支援するとともに、世代を超えた交流や、地元の森や緑を愛する心を育てることができる。					

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
3	保育所等木製遊具購入補助事業					
事業費	2,400,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			2,400,000			

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	その他	定額補助	800,000円/施設	私立保育所
【委託先及び補助対象者等の選定理由】				
菰野町内の認定私立保育所3園				
【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	私立保育所利用者：約300人			
期待する波及効果	子どもの豊かな成長を支援するとともに、地元の森や緑を愛する心を育てる。			
【公的関与の必要性】				
公立幼保園・こども園との均衡を図るため。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
各園で管理を行うため、目的外使用のおそれはない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
ロゴマーク掲示(シール・プレート等)	実施後	導入物品に焼き印もしくはシールによりロゴを掲示		
HP掲載	実施後	当該年度の活動について、HPにて広報を行った。		
広報誌掲載	実施後	広報こもの令和6年12月号に掲載		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
木製遊具は他の遊具よりも人気が高く、子どもたちからの要望も増えている。				



対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	保育所等木製遊具購入補助事業
-----	----------------

7の(1). 写真



写真1  
購入品① 木製家具



写真2  
購入品② 木製家具



写真3  
購入品③ ウッドデッキ

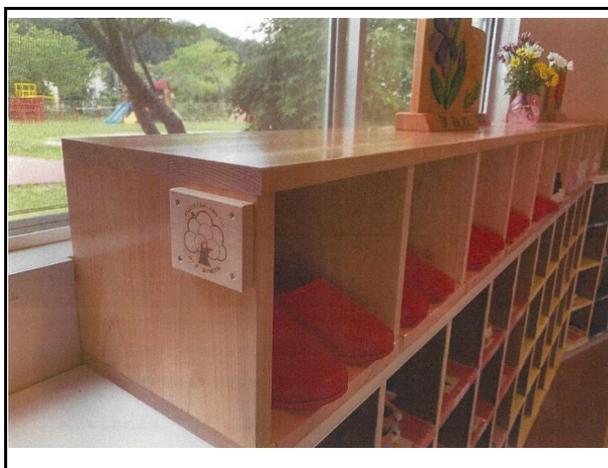


写真4  
購入品④ 木製家具

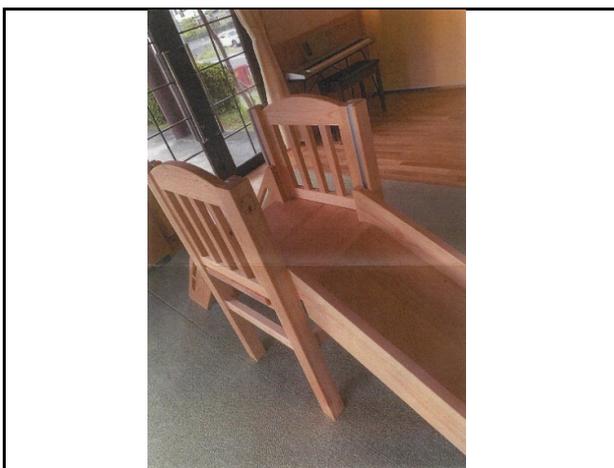


写真5  
購入品⑤ 木製遊具

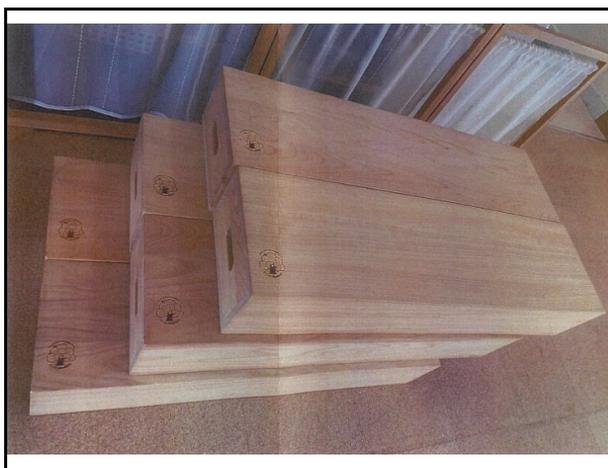


写真6  
購入品⑥ 木製遊具

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	菰野町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	保育所等木製遊具購入補助事業
-----	----------------

7の(2). その他資料



広大な田園風景の先に鈴鹿山脈の稜線が並ぶ。町内どこからでも見えるこの景色に心奪われる方も多いのではないだろうか。



特集  
山に魅せられて  
Discovering the value of mountains

～columnⅠ～  
自然の中で新たなコミュニケーションを

IAOU no MORI は令和6年4月、尾高高原に拡張オープンした森林の中のプライベート空間でアウトドアアサワナが体験できる菰野町初の施設です。現代の働き方や価値観の変化を踏まえて其の場を提供することを目的としており、BBQやサウナ、テントでの集いを楽しむことで心身ともにリラックスした時間を友人や会社の皆さんと過ごすことができ、また、スタートアップ企業やベンチャー企業の新産業を創出するための社会実証の場としても利用が想定されています。



所在地 菰野町杉谷 2302-1  
IAOU no MORI 出稼施設の利用予約や施設の詳細はHPやインスタグラムから問い合わせください。

代表取締役 天野貴文  
中京、関西からもアクセスがよく、山と緑に囲まれた非日常感、プライベート感から杉谷のこの地を選びました。大自然の非日常空間で長時間入りやすいサウナに入って汗を流すことで、心理的負担が軽減され、コミュニケーションが弾けると想います。今後はIAOU no MORIを活用しての新ビジネス創出やサウナの検証実験場としてに展開していければと考えています。



9月末に実施された町職工会青年部・女性部による美化活動  
10月中旬に実施された県建設業協会四日市支部による美化活動

アウトパスを連想される方もいるほどです。菰野町の観光資源としてもこの山々は当初、温泉地、温泉保養所、ブレイク、キャンプ場などを有し、多くの観光客が訪れていました。特に、主婦層が訪れるには、温泉、キャンプ場、登山コース、アウトパス、キャンプ場、入道ヶ岳の7つの山は「鈴鹿セブンマウンテン」と総称され、山の名所として多くの登山客に親しまれています。

登山の名所として親しまれる一方で、この山々をきれいに保つことも大きな課題となっています。山の環境を守るため、鈴鹿スカイラインの整備、菰野町周辺や三重県民の森周辺で町商工会青年部・女性部による美化活動が実施され、パトロールやモニター隊、不法投棄された車のパトロールなどが山の中で回収されています。このような美化活動は毎年実施されているにも関わらず、依然として回収されるごみや不法投棄物は0件にはなっていません。この美しい山々が観光資源として在り続けるために、多くの皆さんが協力によって山の環境を守られています。

Prologue  
序  
山を眺める

山を愛し、山とともに生きる  
山の麓に集落を築き、歴史を重ねてきた菰野町。この山の木々を建て、山脈を採り、山から湧き出る水を飲み、これまでの生活を営んできました。令和の時代となった今でもその根本は変わらず、この山の麓で人々は暮らし、生活を営んでいます。いつ見ても変わらず、この山の麓で人々は暮らし、生活を営んでいます。いつ見ても変わらず、この山の麓で人々は暮らし、生活を営んでいます。



「みえ森と緑の県民税」は、町内でも山の土砂や流木による被害を出さないことを目的にした危険な樹木の除去に活用されています。また、町内幼稚園の木製遊具の整備などにも活用されています。令和6年度から課税を開始した森林環境税も森林整備やその促進のために活用されています。

美しい山で在り続けるために  
菰野町は、町西部のほとんどを山林が占め、割合にすると町全体の5割を山林が占めていることとなります。鈴鹿山脈の地質構造はゆるやかで女性的な姿をしているのに対し、三重県側は切り立った男性的な姿をして、いるといわれています。おおよそ5キロ以上の間に標高が1000メートル上昇している夾から、

みえ森と緑の県民税 課税額	1,000円 県民1人あたり
森林環境税 課税額	1,000円 国民1人あたり

～columnⅡ～  
森林を生かすための財源



「みえ森と緑の県民税」は、町内でも山の土砂や流木による被害を出さないことを目的にした危険な樹木の除去に活用されています。また、町内幼稚園の木製遊具の整備などにも活用されています。令和6年度から課税を開始した森林環境税も森林整備やその促進のために活用されています。

みえ森と緑の県民税 課税額	1,000円 県民1人あたり
森林環境税 課税額	1,000円 国民1人あたり

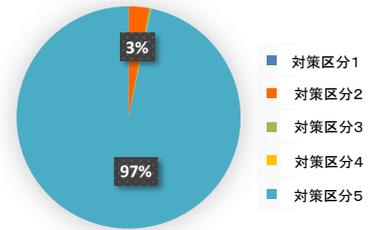
# 朝 日 町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

市町名	朝日町	三重県
人口（人）	11,078	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	16.5%	11.4%
森林面積(ha)	63.06	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	63.06	348,212.01
森林率(%)	11%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	2.1	10.7

対策区別事業費割合



＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費（円）	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	2	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）	600,000	450,000		450,000				
2	3	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）	47,332	47,000			47,000			
3	5	教育文化施設ピオトープ再生整備事業	14,817,000	14,536,000					14,536,000	
計			15,464,332	15,033,000	0	450,000	47,000	0	14,536,000	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費（円）	内交付金充当額（円）	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				
県民参加の植樹祭事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
<p>当町は三重県一小さい自治体であり森林面積も約63haと狭小であるが、63haの25%に当たる約16haが竹林であり、竹林割合の高さでは県内一である。また、人口が増加し続け子どもが多い若い町であり年少人口（15歳未満人口）割合も県内一である。</p> <p>これらの特徴を踏まえ、町と町民により適正に管理された竹林・里山・緑地や、そこから生み出される生産物等を通じ、若年層や親子が森や緑と親しめる取り組みに県民税を活用することで、竹林・里山・水辺が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。</p> <p>その実現のため、あさひ竹プロジェクトの一環として、町民による自主的な竹林・里山整備を支援する「里山・竹林環境保全支援事業」、竹を使った様々な体験・学びの場を創出する「森林環境教育事業」を実施する。また、町民が身近な水辺空間を楽しみ、生物多様性に係る認識を深めることを目指す「教育文化施設ピオトープ再生整備事業」を実施する。</p>
事業実施により期待される効果
<p>これらの活動は、町民の自律的な参加を通じて、竹林・里山の整備を進め、環境に対する意識の向上と持続的な地域づくりを目指しています。具体的には、町内の竹林や里山を交流の場として活用し、安全性を高めることで、若年層や親子が自然と触れ合い、地域とのつながりを深めることが期待されます。また、三重県内で竹林の面積割合が高い朝日町において、竹の魅力を再認識することが、荒廃した竹林の問題意識を高め、住民主体の竹林整備につながる重要なきっかけとなります。さらに、朝日町教育文化施設敷地内にある親水公園兼調整池を再生することで、身近な水辺空間を創出し、環境教育を通じて生物多様性に対する理解を深めることができます。これらの事業を実施することで、町民の生活環境がより豊かで安全なものとなり、持続可能な自然との共生が実現されることが期待されます。</p>
情報発信への取組
<p>町の広報紙等を通じた一般的なPRを実施した。また、パネル展の来場者に対してアンケートを実施し良好なアンケート結果が得られたのと同時に、みえ森と緑の県民税の存在を周知することができた。</p>

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑰ 基金積立（森林整備等）	1,305	1,305
2			
3			
4			
5			
	合計	1,305	1,305

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
1	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）				
事業費	600,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			450,000		150,000

1. 事業の目的
あさひ竹プロジェクトの一環として、町民による自律的な竹林・里山整備に係る活動を支援し、持続的な活動へとつなげることで町内の竹林・里山の安全性を高め、生活環境を向上させる。また、これらを通じ若年層や親子が森や緑と親しむ場として、竹林・里山が地域の中で魅力を発揮している姿を目指す。
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の地域団体が自主的、計画的に里山や竹林を整備する、または里山や竹林への関心を高める取組みに対して事業費の一部を補助する。</li> </ul> <p><b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b></p> <p>埋縄農家組合、小向里山保全会 竹切の翁</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <p>埋縄地区の竹林、小向地区の里山 計2箇所</p> <p><b>【事業量】</b></p> <p>0.6ha</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>町民による自律的な竹林・里山整備に係る活動が持続的な活動へとつながり、町内の竹林・里山の地域における交流拠点としての機能を向上させ、安全性を高める。これらを通じ若年層や親子が森や緑と親しむ場として、活用している姿が期待できる。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>令和4年度にみえ森と緑の県民税を活用し町で購入したチップperを貸し出すことで効率的な整備に繋がっている。整備された竹林でたけのこ掘体験を実施し、参加者から参加費を徴収することで自主財源の一部となっている。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <p>これまで実施してきた「森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）」により、町民の竹林に対する関心を喚起し、自主的な里山・竹林整備団体組成の機運が高まった結果、令和4年度に団体が設立した他、既存団体においても里山保全を目的とした活動がはじまった。当事業は、それらの活動を支援し、継続的な町内の里山整備に繋げることを目的に実施する。</p>

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）					
事業費	600,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			450,000		150,000	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	3/4以内	上限50万円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

- ・町民主体により組成された、規約等を備え、代表者・会計担当者が明確であり、民主的に運営が行われている団体であること。
- ・複数年度に渡る計画的な里山整備を実施する団体であること。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生活環境が向上する2地区 約800戸
期待する波及効果	自主的な里山整備が進み、整備された場所での親子たけのこ掘り体験等の企画に繋がっている。

【公的関与の必要性】

放置された里山・竹林の問題は所有者個人の問題となりがちであるが、放置竹林等への問題意識を持つ住民による自主的な里山整備を行政が支援することで、里山を地域資源として捉え町民全体で解決を図る機運醸成に繋げる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

補助事業により購入された物品等は各団体により適切に管理するものとする。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施中	広報誌にてみえ森と緑の県民税を活用した当事業を紹介

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

補助金により効率的な里山整備に繋がっており、参加者も増加している。

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	朝日町
------	-----------------	-----	-----

事業名	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）
-----	---------------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
埋縄農家組合	竹林整備	団体	1	123,000	123,000	燃料費、替刃等資材費
小向里山保全会 竹切の翁	除伐	団体	1	477,000	477,000	燃料費、替刃等資材費
			合計		600,000	

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）
-----	---------------------------

7の(1). 写真

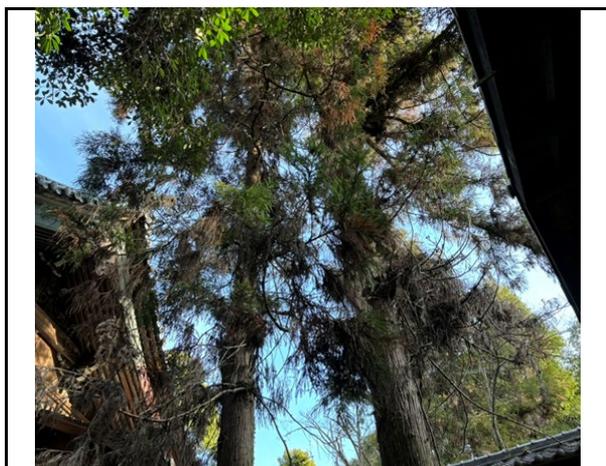


写真1  
小向里山保全会 竹切の翁 枝払い前

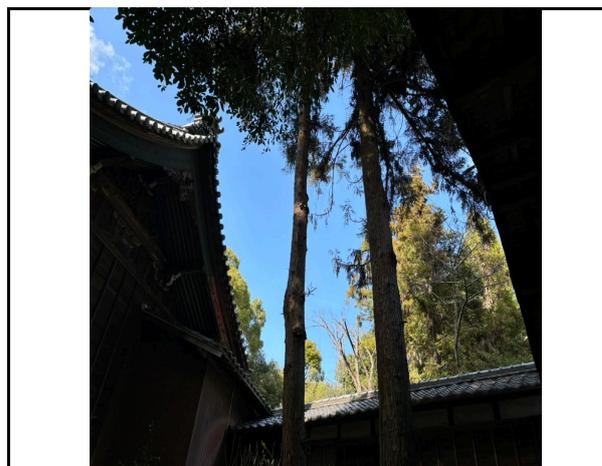


写真2  
小向里山保全会 竹切の翁 枝払い後



写真3  
埋縄農家組合 整備箇所での親子たけのこ堀り体験



写真4  
小向里山保全会 竹切の翁へチッパー貸出



写真5



写真6

写真5

写真6

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山・竹林環境保全支援事業（あさひ竹プロジェクト）
-----	---------------------------

7の(2). その他資料

里山保全会主催のたけのこ掘り体験について（広報あさひ5月号）

**今月の表紙**



みえ森と緑の  
県民税活用事業



PEEK-A-BAMBOO!  
あさひ竹プロジェクト

**あさひ里山保全会主催 たけのこ掘り体験**

4月13日（土）、あさひ里山保全会の主催により、埋縄の竹林にて町内の親子を対象にした、たけのこ掘り体験が開催されました。

晴天に恵まれ爽やかな春の風の中、「たけのこ見つけた!」という声が里山に響き渡り、たくさんのたけのこが掘り起こされました。慣れない作業や急傾斜に苦労しながらも、親子で楽しくたけのこを掘る姿が見られました。




2 広報あさひ/2024/5

チッパーの貸し出し&里山保全活動への補助制度について（広報あさひ11月号）

## 樹木粉碎機（チッパー）の貸し出しを行っています！

役場では令和4年度に樹木粉碎機（チッパー）を購入し、町民主体の団体に貸し出しています。ご関心がある方はご連絡下さい。



**スペック：**

株式会社大橋  
樹木粉碎機GS152GH  
燃料：ガソリン  
最大出力：16.9KW程度  
処理可能径：最大150mm程度

**貸出対象者：**町内に住所を有し、町内の里山等を対象とした計画的な整備活動を実施する団体。ただし営利を目的とした団体には貸し出しをしない

**貸出期間：**7日間

**貸出費用：**無料（ただしチッパーの燃料費や運搬経費等は借用団体が負担）

## 里山保全活動への補助制度が利用可能です

令和4年度より町民による自主的な里山保全活動への補助制度をスタートしています。ご関心がある方はご連絡下さい

**補助対象者：**自主的に保全活動を行う団体で次に掲げる要件を全て満たすもの

- ・継続的に活動を行うことができること。
- ・構成員の過半数が、本町に在住、在勤又は在学していること。
- ・規約等を有し、代表者及び経理について定められていること。
- ・活動の実施につき、土地所有者に説明を行い、同意を得ていること。



**補助対象経費：**里山保全活動に関する機械器具類の購入費、燃料費、消耗品費、保険料等

**補助率：**補助対象経費の75%以内（上限50万円）

**問い合わせ先** 産業建設課 TEL 377-5658

12 広報あさひ/2024/11



令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）					
事業費	47,332 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			47,000		332	

1. 事業の目的
あさひ竹プロジェクトの一環として、竹林面積割合が県内一である特徴を活かし、竹を地域資源として見つめ直し、竹を通じた新旧住民の交流を生み出すことで、町全体で竹・竹林の活用や課題解決に向けた関心を喚起することを目的とする。
2. 事業実績概要
<p>【事業内容】</p> <p>①町民が集う場において竹あかりを展示するイベントを実施した。</p> <p>②町民主体による竹の花挿しを東海道の設置する取組を支援した。</p> <p>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</p> <p>朝日町（一部町民主体により実施）</p> <p>【実施個所及び箇所数】</p> <p>2箇所（朝日町体育館、東海道沿い）</p> <p>【事業量】</p> <p>展示イベント来場者10名、竹の花挿し設置参加者数114名</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p>【事業実施により期待される効果】</p> <p>三重県一竹林面積割合が高い当町において、子ども、親子、地域住民が竹の魅力に触れることをきっかけに、町内の竹林が荒廃しつつある現状への問題意識を高め、住民主体による自律的な竹林整備につなげる。</p> <p>【効果を発揮させるための工夫・取組】</p> <p>町民主体の竹の花挿しは、これまでの活動により例年以上の参加者数となった。</p> <p>【新たな対策・視点及び改善点】</p> <p>これまで実施してきた「森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）」により、町民の竹林に対する問題意識や機運が高まり、竹あかりの作製ワークショップ、竹あかり用の竹の伐採などを町民自らが行うようになった。これらを踏まえ、外部業者への委託により実施してきた竹あかりの展示イベントを、令和6年度は委託せず町民主体で開催した。</p> <p>以上から、令和5年度と比べ事業費は大幅に減少しているが、事業が縮小しているわけではなく、町主催で実施してきた事業が定着し町民の主体的な活動に移行した結果、町はそれらを後方支援する体制となったことによるものであり当初の目的通り進捗している。また、町の他部署において町単費で「竹バームクーヘンづくり教室」や「竹水鉄砲合戦」が実施されていることも附記する。</p>

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
2	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）					
事業費	47,332 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			47,000		332	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営	その他	補助事業ではない		物品購入により実施

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

直営のため該当なし

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	展示イベント来場者数10人 町民等の主催による竹の花挿し設置参加者114軒
期待する波及効果	これまでの取組の結果町民の竹・竹林への関心は確実に高まっており、既に実現した里山整備団体への参加者促進効果や森林環境への関心の向上が期待される。

【公的関与の必要性】

竹林の問題は竹林所有者個人の問題となりがちであるが、竹や竹林の魅力に触れ、関心を持つきっかけを行政が作ることで竹林と無関係である住民も含めて竹林を地域資源としてとらえ、町民全体で解決を図る機運醸成に繋げる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

購入した工具類等については引き続き役場により適切に管理する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施中	竹あかりについて広報紙に掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

町の経費としては減っているが衰退している訳でなく、町民主体により活動は活発化しており当初の目指す姿の通りである。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）
-----	----------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
消耗品費	竹あかりづくり及び竹の花挿し作製等消耗品	式	1	47,332	47,332	
合計					47,332	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）
-----	----------------------

7の(1). 写真



写真1  
竹の花挿し（東海道沿い）



写真2  
竹の花挿し（東海道沿い）



写真3  
竹の花挿し（東海道沿い）



写真4  
竹の花挿し（東海道沿い）

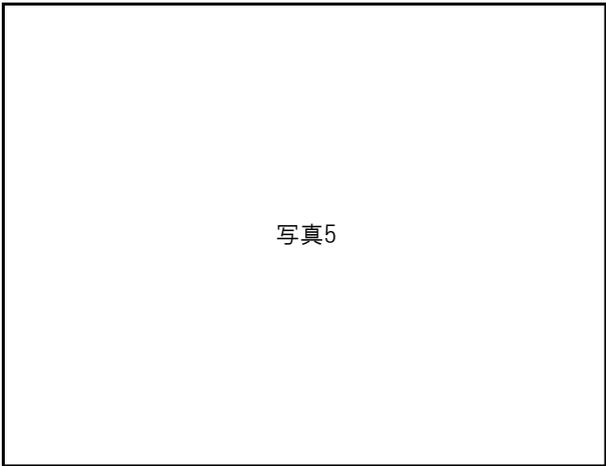


写真5

写真5



写真6

写真6

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育事業（あさひ竹プロジェクト）				

7の(2). その他資料

あさひ竹プロジェクトについて（広報あさひ7月号）



みえ森と緑の県民税活用事業

夏休みの工作にもピッタリ!



## PEEK-A-BAMBOO! あさひ竹プロジェクト

### 「おうちでつくろう、竹あかり!」申込受付中です!

竹あかりとは、竹に穴をあける等の加工をし、光源を入れることで幻想的な光を放つ作品です。例年好評の「おうちでつくろう! 竹あかり」を今年度も実施します! 竹あかりを作るために必要な材料および工具等一式を希望者に貸し出しますので、自分だけの竹あかりづくりにぜひチャレンジして下さい! 完成した作品はご自宅等に飾ってお楽しみ下さい。また、年度内に町内で竹あかりを展示する企画を開催する際、可能であれば完成した作品をお貸しいただきますようお願いいたします（詳細未定。ご協力いただける方には別途ご連絡いたします）。




過去に当事業で作製された作品の展示の様子（竹あかりの展示inふれあいパーク）




**【貸出しセット内容】**  
竹（最大4本まで。完成品は返却不要）、インパクトドライバー、竹用ドリル刃、竹固定用台、デザイン型紙、型紙貼付け用テープ  
※ただし1世帯あたり1セットまでとします。

**【貸出期間】** 最大2週間

**【申込方法】**

- ①産業建設課に設置の申込書により申込  
（即日役場にて受け取り。ただし平日の8時30分～17時15分の間のみ対応）
- ②右のQRコードからフォームにより申込  
（希望日時に役場にて受け取り。休日や時間外でも宿日直者が対応しますが、早朝・深夜はご遠慮下さい。）

**【注意事項】**  
返却日時を厳守してください。予定数をオーバーした場合、貸出ができませんことがあります。使用者の責任により物品を紛失・損傷した場合は弁償していただくことがあります。

**問い合わせ先** 産業建設課 TEL 377-5658





令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	教育文化施設ビオトープ再生整備事業				
事業費	14,817,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			14,536,000		281,000

1. 事業の目的
<p>集客力の高い町所有施設である教育文化施設内の調整池兼親水公園をビオトープとして再生し、町民が身近な水辺空間を楽しみ、生物多様性に係る認識を深めることを目指す。</p>
2. 事業実績概要
<p><b>【事業内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育文化施設内の調整池兼親水公園をビオトープとして再生整備する。</li> </ul> <p><b>【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】</b></p> <p>朝日町</p> <p><b>【実施個所及び箇所数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育文化施設内親水公園兼調整池</li> </ul> <p><b>【事業量】</b></p> <p>ウッドデッキW=3m L=6.2m, ポンプ取替一式, 敷砂利382.8㎡</p>
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
<p><b>【事業実施により期待される効果】</b></p> <p>町内で最も集客力のある公的施設である朝日町教育文化施設敷地内の親水公園兼調整池を再生整備することで町民にとって身近な水辺空間を創出し、環境教育学習を通じて生物多様性への理解深化が期待される。</p> <p><b>【効果を発揮させるための工夫・取組】</b></p> <p>観察デッキ等を整備することで環境教育に適したビオトープとして再生を図る。また、完成後に隣接する教育文化施設内の図書館において生物多様性に関する書籍の紹介コーナー設置などの企画を行う。</p> <p><b>【新たな対策・視点及び改善点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町で別事業として行っている町内の生物調査の結果も踏まえ、投入する生体を検討する。</li> </ul>

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
番号	事業名				
3	教育文化施設ビオトープ再生整備事業				
事業費	14,817,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			14,536,000		281,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

工事について町の基準に則り指名競争入札により実施

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	受益者：身近な水辺空間を楽しむ利用者 のべ約5,000人
期待する波及効果	町民が水辺空間を楽しむことを通じて、町民の生物多様性に対する理解が深まる

【公的関与の必要性】

調整池兼ビオトープは町所有の施設であるため

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町にて適切に管理する

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税を活用した取組としてホームページに掲載する。
広報誌掲載	実施後	完成後の施設の紹介記事にみえ森と緑の県民税を活用していることを記載する。
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	完成後の施設案内看板等にロゴマークを貼り付ける。
のぼり設置	実施中	施工場所がみえ森と緑の県民税を活用していることが分かるようにのぼりを設置する。
パネル展示	実施中	施工場所の隣の教育文化施設にて、みえ森と緑の県民税についてパネル展示を実施する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

パネル展の際にアンケートを実施したところ、みえ森と緑の県民税については半数以上が知らなかったが、災害に強い森林づくりでは96%、県民全体で森林を支える社会づくりでは88%の人が取り組みは必要であると回答が得られた。

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	朝日町
------	--------------------	-----	-----

事業名	教育文化施設ビオトープ再生整備事業
-----	-------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
ビオトープ改修 工事費	工事費合計				14,817,000	
	土工	式	1	871,472	871,472	
	施設工	式	1	3,334,621	3,334,621	
	電気設備工	式	1	588,051	588,051	
	構造物取壊し工	式	1	85,227	85,227	
	仮設工	式	1	35,947	35,947	
	共通仮設費	式	1	637,557	637,557	
	現場管理費	式	1	2,512,045	2,512,045	
	一般管理費	式	1	1,815,065	1,815,065	
	鉄スクラップ	式	1	(320)	(320)	
	ステンレススクラップ	式	1	(5,100)	(5,100)	
	電線スクラップ	式	1	(14,298)	(14,298)	
	製作工	式	1	1,865,883	1,865,883	
	工場管理費	式	1	465,913	465,913	
	据付工	式	1	232,116	232,116	
	共通仮設費	式	1	59,639	59,639	
	現場管理費	式	1	68,916	68,916	
	据付間接費	式	1	49,503	49,503	
	設計技術費	式	1	118,419	118,419	
	一般管理費	式	1	749,344	749,344	
	消費税	式	1	1,347,000	1,347,000	
			合計		14,817,000	

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	教育文化施設ビオトープ再生整備事業
-----	-------------------

7の(1). 写真



写真1  
施工前



写真2  
施工後



写真3  
施行前



写真4  
施工後



写真5  
施行前



写真6  
施工後

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	朝日町	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	教育文化施設ビオトープ再生整備事業
-----	-------------------

7の(1). 写真



写真7  
パネル展示



写真9



写真11

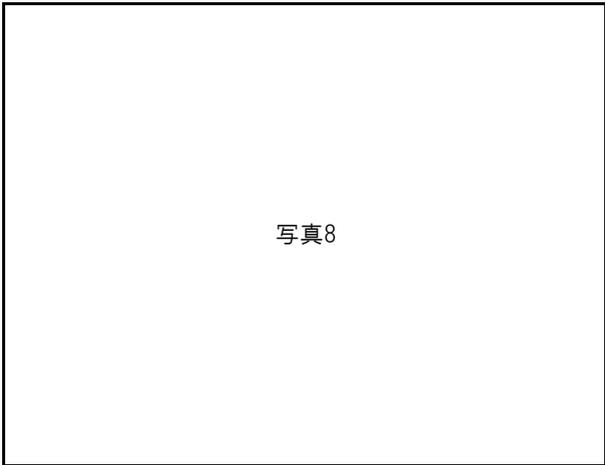


写真8



写真10



写真12



別紙

## 教育文化施設ビオトープ再生整備事業について

朝日町  
産業建設課

1



### 趣旨

**教育文化施設に所在する調整池を、  
みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、  
ウッドデッキを備えたビオトープとして再生し、里山にある水辺  
の風景のような環境創成を目指します。  
地域住民や子どもたち等の自然学習の場、交流の場とします。  
身近な水辺空間を楽しみ、地域在来の生物に係る認識を深め、環境教育学  
習等を通じて生物多様性への理解深化や里山への関心を期待します。**

現況



整備イメージ

2



## 整備箇所

朝日町  
柿2278



3



## 整備内容(案)



4



## 事業スケジュール

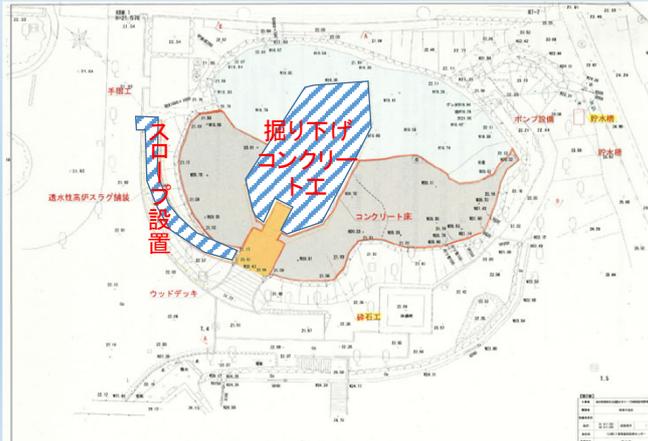
### R5ビオトープ関連工事等

設計費:7,139,000円

工事費:9,050,800円

合計:16,189,800円

池の土砂撤去、掘り下げコンクリート工、スロープ設置等を実施



5

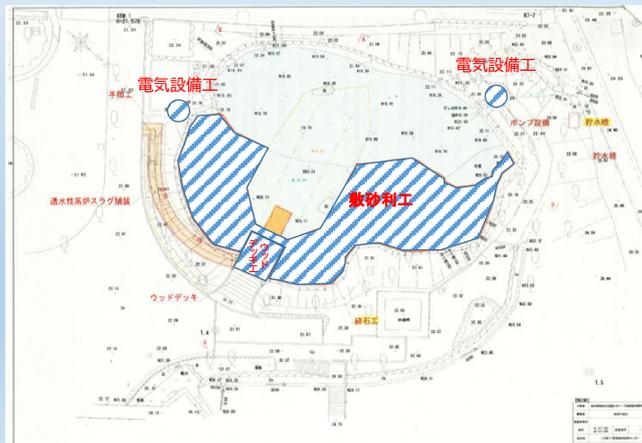


## 事業スケジュール

### R6ビオトープ関連工事

工事費:14,817,000円

敷砂利工、電気設備工、ウッドデッキ工等を実施



6



# 事業スケジュール

## R7交付金額

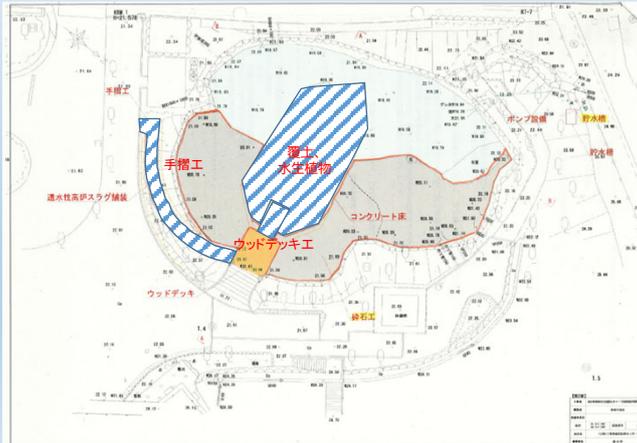
(円)

基本枠交付金の見込額	うち、上限加算分
6,422,000	—

## R7ビオトープ関連工事

工事費:6,800,000円

覆土、水生植物植栽、手摺工、ウッドデッキ工等を実施



7



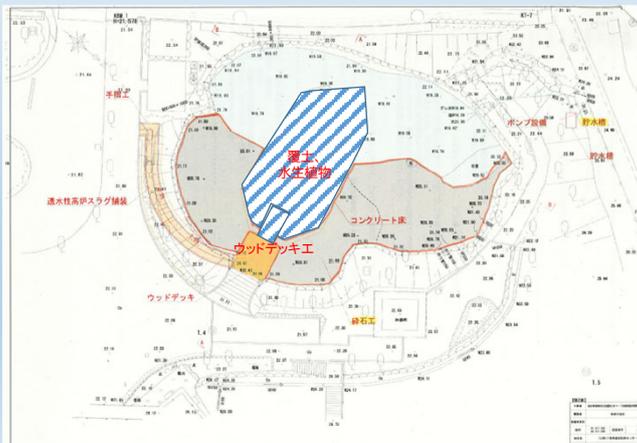
# 事業スケジュール

## R8～R9計画

工事費:12,000,000円

※みえ森と緑の県民税市町交付金を充当予定

覆土、水生植物植栽、ウッドデッキ工等を実施 (R7に施工できなかった分)



8



## 整備後の活用例(案)

### 夏休みピオトープ観察会



### 【小学校】自然観察体験



### 【図書館】水生生物、植物に関する書籍の貸出企画

### 【博物館】自然分野の企画展

### 竹あかりの展示inピオトープ



工事完了後はメダカを放流するなど、町内で最も集客力のある公的施設である朝日町教育文化施設敷地内の親水公園兼調整池を再生整備することで、多くの町民に利用してもらえる、身近な水辺空間を創出します。

施設内に看板等を設置し、来訪者の自然学習の場や交流の場とします。

朝日町教育文化施設の紹介記事の中でピオトープに関するものをホームページや広報に掲載し、広く町民に周知を図ります。



# 川 越 町

令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和6年度版三重県市町要覧及び令和5年度版森林・林業統計書による）

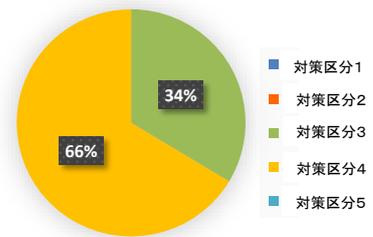
市町名	川越町	三重県
人口（人）	15,546	1,716,617
年少人口割合（％）＊1	14.0%	11.4%
森林面積(ha)	0.00	371,680.22
民有林面積(ha)＊2	0.00	348,212.01
森林率(%)	0.0%	64%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	0.3	10.7

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区別事業費割合



2. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	基金積立
1	3	小中学校自然教室	2,513,526	1,368,000			1,368,000			
2	4	川越南小学校 図工室机・椅子購入	1,775,400	1,610,000				1,610,000		
3	4	川越北小学校多目的用 木製机整備事業	539,000	539,000				539,000		
4	4	川越幼稚園屋外用 木製机整備事業	550,000	550,000				550,000		
計			5,377,926	4,067,000	0	0	1,368,000	2,699,000	0	0

3. 令和6年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）事業実績

事業区分	事業量	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	0	0	0	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	
県民参加の植樹祭事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	<p>当町は三重県の北部に位置し、北は員弁川、東は伊勢湾に臨む地形であり森林を有していない町です。人口は増加しており、年少人口割合は県平均を上回っている状況にあります。この状況において、学校施設への木製備品の設置や自然の中で森林や木材について学ぶ機会をもつことで、森林や緑を大切に思い育む人づくりを進めます。また、公共施設の木質化を通じて、町民が森林や木材について、学びふれあう場を提供することで森林教育を行います。</p>
事業実施により期待される効果	<p>緑豊かな環境の中で、集団生活を通じ学校生活における「仲間づくり」や「信頼関係」の土台を築き、自然と触れ合うことで、身近な木や緑に親しむ機会を増加させることができる。また、身近な公共施設への県産材の使用や、学校で木製品に触れることにより、三重県の森林や木材への関心を深めてもらい木の温もり、肌触りや香りを身近に感じることができ、木材利用に対する理解や関心が深まる。</p>
情報発信への取組	<p>学校だよりや学年通信を活用し、自然教室を通じた子供の成長や取組について、情報を提供した。 また、町HPを活用し、みえ森と緑の県民税市町交付金の活用実績について、情報発信した。</p>

令和6年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑩ 基金積立（木材利用等）	1,695	
2			
3			
4			
5			
	合計	1,695	0

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	小中学校自然教室					
事業費	2,513,526 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,368,000		1,145,526	

1. 事業の目的

野外体験活動を通じて、自然に親しみ自ら自然体験を求めていくきっかけをつくるとともに集団生活の中で人間的なふれあいを深めることで、心身ともに健全で森や緑の大切さを知る青少年の育成を図る。また、集団生活の中で、自分の役割を果たし、互いに協力し合うことで、仲間同士のつながりを深めるとともに、自ら自然を大切に人づくりを進める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

中学1年生と小学5年生を対象に、1泊2日の集団生活を行い、オリエンテーリングや自然観察など自然とふれあう活動を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

川越町

【実施箇所及び箇所数】

川越中学校：1箇所（鈴鹿青少年センター）

川越北小学校：1箇所（四日市市少年自然の家）

川越南小学校：1箇所（四日市市少年自然の家）

【事業量】

自然教室1回（1泊2日）×3校

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

緑豊かな環境の中で、集団生活を通じて、社会性を育むことができ、さらに自然に触れ合うことで身近な木や緑に親しむ習慣が身についた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

屋外活動では、昼間は屋外での体験を中心に学習し、夕方は屋外で体験のふりかえりを行うことで一層の学習効果の向上を図った。

【新たな対策・視点及び改善点】

—

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	川越町	新規・継続の別	継続
番号	事業名					
1	小中学校自然教室					
事業費	2,513,526 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			1,368,000		1,145,526	

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
直営				

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

直営のため該当しない

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生徒135人
期待する波及効果	自然と触れ合う機会を求めらるきっかけとなる。

【公的関与の必要性】

小中学校の授業の一環であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等でなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町民
学校だより等掲載	実施後	生徒、保護者

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町
------	-------------	-----	-----

事業名	小中学校自然教室
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
川越中学校						
交通費	バス代	式	1	620,400	620,400	交付金
宿泊費	宿泊代等	式	1	110,700	110,700	交付金
宿泊費	宿泊代等（キャンセル料金）	式	1	3,280	3,280	交付金対象外
食糧費	センター内食費・野外炊飯等	式	1	403,480	403,480	交付金対象外
活動費	野外施設等使用料等	式	1	8,700	8,700	交付金
活動費	野外施設等使用料等	式	1	75,378	75,378	交付金対象外
その他	振込手数料	式	1	770	770	交付金対象外
川越北小学校						
交通費	バス代	式	1	235,400	235,400	交付金
宿泊費	宿泊代等	式	1	94,530	94,530	交付金
食糧費	センター内食費・野外炊飯等	式	1	142,990	142,990	交付金対象外
活動費	野外施設等使用料	式	1	8,010	8,010	交付金
活動費	野外施設等使用料	式	1	216,843	216,843	交付金対象外
その他	振込手数料	式	1	1,210	1,210	交付金対象外
川越南小学校						
交通費	バス代	式	1	193,600	193,600	交付金
宿泊費	宿泊代等	式	1	73,980	73,980	交付金
食糧費	センター内食費・野外炊飯等	式	1	143,460	143,460	交付金対象外
活動費	野外施設等使用料	式	1	24,973	24,973	交付金
活動費	野外施設等使用料	式	1	155,822	155,822	交付金対象外
				合計	2,513,526	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	小中学校自然教室
-----	----------

7の(1). 写真



写真1  
自然観察



写真2  
自然観察



写真3  
自然観察



写真4  
野外炊事



写真5  
マイ木箸づくり



写真6  
野外炊事（マイ木箸で食事）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	小中学校自然教室
-----	----------

7の(2). その他資料

HP抜粋

【川越中学校】

「自然教室という学びの場」にて一人一人が仲間とともに、1つの行程が終わるたびに少しずつ着実に成果として表れていました。1年生1人1人の頑張りが班全体のチカラとなって、それがクラス全体のチカラとなって、そして学年全体のチカラとなって活動、学習に全力で取り組むことができた1年生の自然教室になりました。なによりも一人一人の『素直さ』、『純粹さ』、『やさしさ』をいっぱい確認することができた自然教室でした。そして安心・安全な学びの場となりました。このように自然教室がこのような充実した学びの場となったのも、1年生の保護者の皆さま、1学年部を中心として引率をしていただいた先生方、2日目の駐車場にかかわる対応をいただいた川越中学校すべての教職員の皆さまのおかげです。本当に感謝の言葉しかありません。ありがとうございました。そして、川越中学校1年生のこどもたちの一生懸命に全力で取り組んできたみなさんに感謝しかありません。本当にありがとうございました。（校長）

【川越北小学校・川越南小学校】

事前の準備がなかなかできなかった中でも、この2日間で仲間と協力してよく活動を充実させてくれました。2日間で本当に成長した5年生でした。





令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	川越南小学校図工室机・椅子購入				
事業費	1,775,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,610,000		165,400

1. 事業の目的					
川越南小学校図工室の机・椅子を整備し、図工室を利用する児童に森林の実情や問題について理解を深めてもらう場をつくり木育学習を進めていく。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 図工室に児童が使用する机・椅子（県産材使用）を整備する。					
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 川越町					
【実施個所及び箇所数】 川越南小学校 1箇所					
【事業量】 机：W1800*D900*H800 1台、W1200*D1200*H700 10台 椅子：W300*D300*H450 41脚					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】  児童が日常的に木材と触れ合える環境を整備することで、木製品に対して親しみを感じ、また木の温もりや木の肌触りや香りを身近に感じることで、森林や木材利用に対する関心が深まった。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】  児童が日常的に授業や休憩時間等で図工室を利用する際に県産材の木製品に触れる機会が増え森林や木材に対しての親しみを感じ理解を深める。 今後、木材利用促進月間や図工の授業などの機会に、森林の状況や当事業について説明を行うとともに、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用して整備された木製品を紹介することで、森林・木材に強い関心をもつような展開をしていく。					
【新たな対策・視点及び改善点】  将来、森林への関心を高めるためにも多くの木製品に触れ合うことが大切であり、学校での継続した森林教育及び木材にふれあえる空間を創出する必要がある。					

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
2	川越南小学校図工室机・椅子購入				
事業費	1,775,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,610,000		165,400

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		指名競争入札による

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

県内登録業者から県民税の契約実績のある業者を選定し、指名競争入札にて実施。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生徒359人
期待する波及効果	県産材利用の促進に寄与する。また、生徒家族への普及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

公共施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

公共施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示（シール・プレート等）	実施中・後	購入設置した備品本体にロゴマーク標示シールを設置。
その他	実施後	図工の授業の際に事業で整備した木製備品を紹介し、木材利用や森林の状況についてを先生より説明した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

先生からの説明や実際に木製製品に触れることで、木製製品への興味や理解を深めることができた。



対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校図工室机・椅子購入
-----	-----------------

7の(1). 写真



写真1  
図工室の机・椅子



写真2  
図工室の机・椅子



写真3  
図工室の机・椅子



写真4  
図工室の机・椅子



写真5  
図工室の机・椅子



写真6

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越南小学校図工室机・椅子購入
-----	-----------------

7の(2). その他資料

HP抜粋

【図工室の机・椅子】

北校舎にある図工室の机と椅子は、長い間使っていたので汚れや傷みがめだってきていました。その状態を何とかしようと町や町教育委員会が考えてくださり、冬休み中に図工室の机と椅子をすべて新しいものに交換していただきました。子どもたちも、図工室で授業をするのが楽しみだと思えます。大切にに使わせていただきます。





令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
3	川越北小学校多目的用木製机整備事業				
事業費	539,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			539,000		

1. 事業の目的					
川越北小学校の多目的用の木製机を整備し、少人数教室、特別支援学級等の特別教室等で利用する児童に森林の 実情や問題について理解を深めてもらう場をつくり木育学習を進めていく。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】					
少人数教室や特別教室等に児童が使用する多目的用の木製机（県産材使用）を整備する。					
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】					
川越町					
【実施個所及び箇所数】					
川越北小学校 1箇所					
【事業量】					
木製机（幕板あり）：W1800×D450×H700 5台					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進める うえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】					
児童が日常的に木材と触れ合える環境を整備することで、木製品に対して親しみを感じ、また材料としての木 材の良さや利用の意義についての取り組みを行うことで、森林や木材利用に対する関心が深まった。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】					
少人数教室、特別支援学級等の特別教室で使用し、木材（県産材）にふれることで木を身近なものとして捉 え、体感してもらう。					
また、木材利用促進月間や図工の授業などの機会に、森林の現状や当事業について説明を行うとともに、み え森と緑の県民税市町交付金事業を活用し、校内に整備された備品を合わせて紹介することで、木材利用の意 義や森林・木材の役割について学ぶ機会を創出する。					
情報発信に関しては、学校だより等を活用し、子どもや保護者に対して県民税を活用した取組を伝え、森と 人をつなぐ、普及啓発を図る。					
【新たな対策・視点及び改善点】					
将来、森林への関心を高めるためにも多くの木製品に触れ合うことが大切であり、 学校での継続した森林教育及び木材にふれあえる空間を創出する必要がある。					

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
3	川越北小学校多目的用木製机整備事業				
事業費	539,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			539,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		随意契約

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

県内登録業者から県民税の契約実績のある業者を選定し、随意契約にて実施。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	生徒510人
期待する波及効果	県産材利用の促進に寄与する。また、生徒家族への普及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

公共施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

公共施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示（シール・プレート等）	実施中・後	購入設置した備品本体にロゴマーク標示シールを設置。
その他	実施後	学校行事や特別支援学級等の特別教室にて使用し、事業で整備した木製備品の紹介等を行った。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

先生からの説明や実際に木製製品に触れることで、木製製品への興味や理解を深めることができた。



対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	川越北小学校多目的用木製机整備事業
-----	-------------------

7の(1). 写真



写真1  
多目的用机



写真2  
多目的用机



写真3

写真4



写真5

写真6

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	川越幼稚園屋外用木製机整備事業				
事業費	550,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			550,000		

1. 事業の目的

川越幼稚園の屋外用の木製机を整備し、屋外活動に利用する園児に木材の良さを感じてもらい、興味をもってもらおう。

2. 事業実績概要

【事業内容】

屋外用の木製机（県産材使用）を整備する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

川越町

【実施箇所及び箇所数】

川越幼稚園 1箇所

【事業量】

木製机（屋外用）：W1500×D900×H520 3台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児が日常的に木材と触れ合える環境を整備することで、木製品に対して親しみを感じ、また材料としての木材の良さを感じることで、将来的に森林への関心が期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

園児が屋外で遊ぶ際、木材（県産材）に直接ふれることで温かみを感じてもらうとともに、保育士から木の良さ、木を使うことの大切さを伝える。

また、回覧板や掲示板等を活用し、保護者に対して県民税を活用した取組を伝え、森林・木材の役割や木材利用の意義について普及啓発を図る。

【新たな対策・視点及び改善点】

将来、森林への関心を高めるためにも多くの木製品に触れ合うことが大切であり、幼稚園での継続した木製品とのふれあいが必要となる。

令和6年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
番号	事業名				
4	川越幼稚園屋外用木製机整備事業				
事業費	550,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			550,000		
4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】					
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】					
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考	
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		随意契約	
【委託先及び補助対象者等の選定理由】					
県内登録業者から県民税の契約実績のある業者を選定し、随意契約にて実施。					
【主な経費内訳】					
(別紙のとおり)					
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】					
【受益者及び、期待する波及効果】					
受益者	園児100人				
期待する波及効果	県産材利用の促進に寄与する。また、園児家族への普及効果も期待できる。				
【公的関与の必要性】					
公共施設であるため。					
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】					
公共施設であるため、転用等が想定されず、該当しない。					
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】					
【情報発信の内容】					
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）			
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施中・後	購入設置した備品本体にロゴマーク標示シールを設置。			
その他	実施後	当事業で整備した木製品に触れてもらい温かみを感じてもらうとともに、森林学習を実施し木の良さや木を大切に使う必要性を伝えた。			
7. 写真及びその他資料					
別紙のとおり					
8. その他特記事項（受益者の反応等）					
屋外で園児が遊ぶ際に整備した木製品を利用しており、木製品への印象が強く残った。					

実施要領第10号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町
------	-------------------	-----	-----

事業名	川越幼稚園屋外用木製机整備事業
-----	-----------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製机（屋外用）	W1500×D900×H520	台	3	155,000	465,000	交付金
送料	運搬・設置	式	1	35,000	35,000	交付金
消費税					50,000	交付金
				合計	550,000	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	川越町	新規・継続の別	新規
事業名	川越幼稚園屋外用木製机整備事業				

7の(2). その他資料

保護者連絡アプリ（コドモン）抜粋

本日、園庭に新しい木製の机を設置していただきました！

この事業は、平成26年度から導入された「みえ森と緑の県民税」を活用して、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を目指す取り組みの一環として行いました。明日から新しい年度が始まります。入園・進級式で子どもたちがこの机を囲んで、たくさん遊んでくれる日を心待ちにしています！来年度もよろしくお願いします。



